



# 伊藤音次郎日記

## 1935(昭和 10)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成 30)年 6 月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール [isan@aero.or.jp](mailto:isan@aero.or.jp)

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼2ページ▲▼ 昭和十年要記

工場能率増進ノ爲メ工場主要員ノ會議ヲ数多ク催スコト  
作業方針ヲ着前ニ確定シ見積ニ違算ナカラシムルコト

軽飛行機ノ注文ヲ取ルコト

グライダー注文ニ対シ善處スルコト

借金ヲ無クシ(合資会社後ノモノ)未拂給料ヲ無クシ年末ニハボーナスヲ出ルコトヲ目的  
トス

右方針ノ爲工場本位制ヲ取り自分自身余リ他ニ出タリ世話ヲシナイ方針

▲▼3ページ▲▼ 1月

一五完成

一〇平松氏分完成

一三大毎機内部検査ヲ終り來月初メ完成ノコト

▲▼4ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月1日(火)

天気 晴

日出ヅル頃ヨリ雨止ミ次第ニ晴レ日本晴レトナル

十数年振りニ不満足ナガラ予定ノ支拂ヲ終ツタノデ残りナカッタガ非常ニヨイ気持ち  
ノ元旦ヲ迎エルコトガ出來タ 安岡、鈴木菊、鈴木伊、等ト二三時間祝杯ヲ上ゲル

幾年振りカデ神棚モ出來スベテ終日ヨイ気持ちデアッタ 今年ハキツト何事カナシ得ル  
ト信ジラレル 但シ今日モ若イモノニ教ヘタガ本業以外ノ事ヲヤルモノデハナイ 本業ノ  
確定ガ先ヅ第一デアル

▲▼5ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月2日(水)

天気 快晴

昨日ハ果樹ニコヤシヲヤッタ 今日ハ昨年来出ソウト思ヒツ、出セナカッタ兄ト恵氏へ手  
紙ヲ書ク

終日在宅 今日ハ上野正人が來タノミ 昨夜豊田ガ來テ今日ユツクリ來ルコトニナツテ  
居タノデ待ツタガツヒニ來ナカッタノデ午後ハヤ、タイクツシタ

元旦以來身体ノ工合モ大變ヨサソウダ。本年ハウント働コウ

清平朝食後帰ル 時計ト万年筆ヲ忘レテ帰ル アワテ者 信太郎成田山へ参詣ニ行ク

▲▼6ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月3日(木)

天気 晴

船橋へノートヲ買ヒニツヒデニ散髪ヲシ明日ノ準備ニ鳥ノ骨ヲ買ツテ帰ル

帰宅後奥山ニ電話シテ來ル様ニ云フ 來ルトノコト 同君昨年未ノ勞苦ヲネギラツテヤリタカッタ爲メ

安岡ヲ陪食ニ呼ビ鳥ト鯉デタ方迄ノム

夜小雨アリ 明日ヲ氣ツカワレタガ予 建報ハ曇リ後晴レトアリタリ

就床後明日ノ予定表ヲノートニツクリ直自分考案ノ防備用駆チク機ニツキ考案ス 十二時頃カナリ大キナ地震アリ

▲▼7ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月4日(金)

天気 晴

朝曇ツテ居タガ予報通り次第二晴レ十一時頃ニハカラリトスル

來客奈良原、上原両閣下 川辺君モ呼ブ 平松氏來 初飛行ハ安岡ノ甲四、サルノ二機 アンリオ発故障ニテ中止 御馳走ガ数ノ子、ゴマメ、カマボコ、スタコノ四色 一ツトシテ手ヲカケタ様ナモノガナイノデ大ニフンガイス 來年カラ魚興ニハタノムマイ

作業会社ヨリ呼バレ上原奈良原両氏同道ス 大変ヨロコンデタ方迄馳走ニナリ後奈良原氏ト長島氏ニ行キ七時ノ自動車ニテ帰ル 酒モ二時間以上ニナルト困ル

▲▼8ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月5日(土)

天気 曇リ 寒

北風強ク日出ズ寒イ日デアッタ

信太郎今日ヨリ清平ノ處へ勉強ニヤル 徳次送ツテ行ク

今日ハ大体予定通り仕事ヲナス 明日恵美子ガ操縦試験ヲ受ケニ行クノデ去年カラ頼マレタ、オーバーヲ買ヒニ浅草松屋へ行ク ツヒデニ觀音塚ニ参詣シ活動ヲ見テ九時帰宅ス 和子ニ二尺位ノ人形ヲ買ツテ帰ル 一寸目ヲサマシテ嬉(ママ)ンデ居タ

▲▼9ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月6日(日)

天気 晴

六時半起床 ラジオ体操

一五式見込書ヲ作り宮崎へフrootノ件照(ママ)介シテヤル 一二月ノ収支予算ヲ作ル  
佐藤今日モ休ム  
今日ハ夜早ク床ニ入ル

▲▼10ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月7日(月)

天気晴

上京 局ヨリ二十一本中央翼ス。パーノ材料試験林氏ト同道工藝學校ニ行キラストノ  
二共ヨケレドモ一ノ方好ク合板、フroot修理ノコト諒解ヲ得テ居ク 五光照会へ買物  
ニ行ツタガ代ガ変ツテ居タ 昨年十月失敗シテ止メテドコニ居ルカ分ラストノコト 氣ノ  
毒ナコトデアル 二三買物シテ帰宅

▲▼11ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月8日(火)

天気晴

奈良原氏來 晝食ヲ共ニス 江戸川ヲ見テ府廳ニモ行カレタル由  
昨年度ノ決算書ヲ作ル  
猪又ヨリ二十五円借ル 明日信太郎へ十円送ル

▲▼12ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月8日(火)

天気晴

天気ヨク暖カナ日

午前四時頃ヨリ胸悪ク上ゲソウデアッタ 七時頃指ヲ入レテ出シタガ、白イ液バカリ  
デ少シヅ、血ガマジツテ居タ 醫者ヲ呼ブ 急(ママ)ガシイト見エテ十一時頃來 ソレ迄  
又二回上ゲル 今度ハ二度目ニ黄イノ少シトアトハ白イツバキノ様ナモノバカリ 午後二  
時迄又数回上ゲル 出ルモノナクテモクルシカッタノデ注射シテ貰ツタガ直ラズ 四  
時頃再ビ注射シテ少シ落ツキ眠リニオチル 其後ハ上ゲナクナツタ 醫師ヲ呼ブ事四回  
上ゲルコト十数回 寒ニクルシカッタ 指先キノカモナクナツタ  
床ノ中ニテソレ、用件ヲ命ズ 今村帰ル

▲▼13ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月9日(水)

天気雨

昨日注射後一回モ上ゲナクナツタノデ今朝ハ氣分モヨクナツタガ終日床ニ入ル  
今日ノ日本飛行クラブ会合ニ安岡出席サセル 作業会社ノ奨励金四百余円通知ガア

ツタ由 之レデタスカッタ 局へ電話サセタガ請求書マダデ今日經理へ廻ストノコト

▲▼14ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月11日(金)

天気 晴

風ナク暖カシ

今日ハ七時半起床シタガ食事ハ三度共カユ、菓ヲノム

作業会社ノ金來ル迄待テナイノデ羽布ヲ引取ル爲メ鈴木菊二、百五十円程融通スル様先日來話シサシテアツタ處今日ダメトノコトニ鈴木伊上京 岡田へ交渉サセル  
臨時女工明日ヨリ三四名頼ム

▲▼15ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月12日(土)

天気 晴

今日モカユバカリ 夜ウドンヲ喰フ

家内ノ母三十八度アリ 夕方ヨリ床ニツク 昨日ハ家内ガ寢タ 此處病人バカリダガ皆ハ風デアッタ

徳次午後ヨリ信太郎ノ衣類ヲ持ッテ行ク 今夜泊ッテ來ル筈

山崎好雄氏ニ電話シテグライダー大量生産ニツキ相談ス 明日來ル由

▲▼16ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月13日(日)

天気 晴

山崎君來ルト云フノデ待ツタガツヒニ來ラズ 午後次ギノ日曜ニ行クト電話アリ

黒沢君來 クラブ會計報告ノ爲メ

終日ラジオヲ聞ク 身体ノ工合悪シク気分晴レズ

七時頃徳次帰宅 信太郎ノ手紙持參 仙台ヲ受ケ日大ハ專問(ママ)部ニシタイトノコトソレモヨカロウ

▲▼17ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月14日(月)

天気 晴

奨励金來ルカト待ツタガツヒニ來ナカッタ 晝食後上京 二時ソラニ行ク 誰レモ居ラズ

四階ニ行キ東日羽太氏ニ電話スル 明日津田沼へ行キ同夜大坂へ立ツトノコト 三時前

ソラニ帰ル 奈良原、木暮、小栗居リ後チ加藤氏出席 競技規定全部ノ原案ヲ終リ七

時過ギタ食ヲ共ニシテ帰ル 自分ハ気分悪シク食事モパントスーパダケニシテ居ク

母今朝ノ寒サニ起キタノガ悪ルカッタカ軽イ肺炎ダトノコト 今日ハ最高卅九度余リア  
ツタ由 夜八度八分位ニナツテ居タ

▲▼18ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月15日(火)

天気 雨

終日ビシヨヽヽ雨 羽太氏ニ會フ爲メ奈良原氏來 羽太氏ニ時頃來 グライダー聯盟  
ニツキ一時間余リ会谈。一三式ノ作業ヲ一寸見テ四時頃帰ル 内部検査後少シマトマ  
ツテ金ノ入ル様タノンデ居ク  
今日モ金來ズ 經理ヘ電話ヲカケサセルト昨日送ツタトノコト  
皆帰ツテカラスグ床ニツク 夕方八度三分ニ昇ル 風葉ヲノンデ居ク 後チ汗ガビツシヨ  
リ出タラ大変氣持チヨクナツタ

▲▼19ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月16日(水)

天気 晴

晝頃漸ク金來 丁度奥山君來 五十円ニシヨウテ思ツテ居ツタノ二百五十円借りニ來  
タトノコト トウヽヽ百円渡ス スグ鈴木ヲ岡田ノ支拂外買物ニ上京サセル  
今日モ一日ユツクリ床ニツク 氣分ヨクナル

▲▼20ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月17日(木)

天気 晴

北西風強ク寒シ

午後金太郎ニフroot補強材ヲ土丹メツキノ爲メ連レテ上京 ツヒデニ買物ヲサセル  
自分ハ真中板材ヲ買ヒ朝日ニ中野君ニ會ヒ三行ク 不在 五時過ギ帰ル迄待ツ 横高ノ  
グライダー四百円ノ處結局三百五十円ニシテ帰ル。待ツ内羽田ノ木下氏來 一時余  
リ色々話シ聞ク。輸送会社ノ仕事モ余リヨクナサソウダ 工賃材料ニ二三割呉レルダケ  
ダトノコト ソレデハ一寸仕事ニナラナイ。七時ノ終自動車ニテ帰宅

▲▼21ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月18日(金)

天気 晴

風静マリ天気ヨシ

午後船橋へ散髪ニ行キ鍼力屋へヨツテ今夜カ明朝來ル様タノンデ帰ル  
平松氏來

吉田君ニ土丹メッキ板ヲ取りニヤル ツヒデニ二買物ヲタノム

▲▼22ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月19日(土)

天気 晴 風寒シ

高川、恵、風ニテ休ム

平松氏來

今日ノ新聞ノ相羽ノ處デタクシーヲ出願シタ由 先シテ越サレテ残念 ツクゞ、金ノナイノガ残念ダ。

午後上京 亜鉛メッキヲ持ツテ行キ柳下デ工具ヲ買物シ義勇ニヨル 竹崎、志鶴同道飛行館ニ行ク。アブロ、十年式ノ見積リ口頭ニテ補助金工場取りアブロ六百円、十年式四百円 外ニアブロ。ペラ新品百円。奈良原氏ノ件ニツキ竹崎ハ何ントモ思ツテ居ラナイトハ云フガ奈良原氏ノ専断ハ自分モ認メラレル 今日奈良原氏ガ彼レ等ノ専断ヲ怒ルノハ一寸筋違ヒカモ知レナイガ、ソレデヨイコトニシテ今日奈良原氏ヲ、ヨケ者ニスルノハ竹崎モ悪イ 今日モ別ニ竹崎カラ奈良原氏ニ挨拶ラシイコトハナカッタ。クラブ会合後田中ガロヲ利キ初メタノデ奈良原氏ハ言下ニコトワツテ居ラレタ  
三月十日競技会ノ件ト準備委員決定ス

▲▼23ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月20日(日)

天気 晴 寒

クラブ生地着陸ノ練習ノ爲メ鴻ノ台ニサル、アンリオ出張 夕方ツヒニ帰ラズ  
正午山崎氏來。プライマリー機價格引下ニツキ改造方針ヲ懇談ス。縣君ノグライダー飛行機実行用ニツキ相談シタガ縣ツヒニ帰ラズマトマラズ  
試作機ソアラニスルカ練習機ニスルカニツイテハ山崎氏ニ任ス  
高川、恵、松坂、風ニテ休ム 醫者ヲヨブ 松坂八度余熱アリ 高川、恵、風呂ニ行キ居ラズ 不都合ナ奴

▲▼24ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月21日(月)

天気 晴

局ニ電話ス 四機体ダケナラ明日行クトノコトニ來テ貰フ事トス  
局山田航空官ヨリ川辺君ヘ事傳ヲ頼マル 同君鉄道省ヘノ陪(ママ)償金廿五円月賦支拂不履行ニツキ鉄道省デ處分シタイトノ話シトノコトデアッタ  
午後急ニ南風強ク鴻ノ台出張中ノ飛行機ヲ心配シタガサル、アンリオ共ニ無事帰着

▲▼25ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月22日(火)

天気 晴

十時頃駒林氏來 晝前東日ヨリ須田氏來 正午過ぎ全部終ル フロートノ修理狀況モ見テ貰フ

午後鳥飼氏來 マグネトーチヤージ器ヲ持參シテ呉レタ 之レノ電池デ出來ルノダソウダ。夕方迄食事ヲ共ニス 四時過ぎ例ニヨツテ自轉車デ帰ル 本年丁度六十才トノコト 実ニ元氣ナノニ驚ク

羽太氏本日大坂發 明日社へ自分ニ來テ呉レトノコト 所沢拂下明後日ノ通知アリ 作業会社へ代金ノ件電話スル 今日金取りニ行ツテ居ルトノコト 毎日ソシナコトヲ云ツテ居ル

▲▼26ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月23日(水)

天気 晴

風ナク暖カシ

十時ノ自動車ニテ上京 局ニ行キ明日ノ拂下品ヲ調べ井上氏ニ行ケナイガ代理ヲヤルコトヲタノミ山田航空官ニ昨日川辺氏ト相談ノ模様ヲ話ス。飛行協会ニ行ク 小野氏不在 井上氏來客。ムナシク日日ニ行ク 羽太氏ヨリ東京ニグライダークラブヲ一ツ作ツテ貰ヒタイトノ希望アリ承認ス。志鶴氏ヲ東京ニオケル聯盟ノ囑託ニシタイトノコトニ義勇へ電話スル 丁度居テスグ來 一應話ス 九大ノ方ト相談ノ上返事スルトノコト。一三内金六百円小切手ニテ貰フ 羽太、志鶴、岡氏ト三越ノグライダー展ヲ見ニ行ク。終ツテ一足先キニ失禮 帰宅 岡田へ電話シ明日百米分金持ツテ行クコトトス 明日ノ拂下鈴木伊ヲヤルコトニス 作業会社金出來ズ同社ノ分モ明日立替テヤルコトトス

▲▼27ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月24日(木)

天気 晴

所沢拂下ニ鈴木ヲ出張サセル 日日ノ六百円ノ小切手東京デ取ツテヤル 岡田羽布代百米分トシテ式百五十円支拂テ居ク 拂下代大分高カッタ由 作業会社ノ分モ立替エタノデ残り少ナクナル 三嘴ノ後援者竹内外一名來 見積書ヲ立テニ取りベンツヲ最(ママ)非完成サセテ呉レトノコトデアッタノデ最後ノ手段トシテ運轉試験ヲ行フコトトス。尚合格ノ上ハ費用ハ出スコトヲ約ス。但シ見積リハ分解組立費デ修理費デナイコト 万一交換部品不足部品ノ注文 注負担ノコトハ飛行界ノ習慣デアルコトヲ話シテ居ク

夜大坂ノ馬淵氏來 初メテデアッタ グライダークラブヲ作ルカラ一台イクラカトノコトデアッタ

◆▼28ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月25日(金)

天気晴

所沢拂下引取りニヤル 運賃不足ノ爲メ鈴木菊ヨリ二十円借りル  
夜業本日ヨリ一部分ダケニス

大蔵ヨリ手紙來 大坂へ一度來ナイカトノコトデアッタ  
拂下品夜到着 自動車ハ大キナモノデアッタ

◆▼29ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月26日(土)

天気晴

終日在所 信太郎晝過ぎ帰宅 一寸ハナラレテ居ルトナツカシイモノダ。夜清平モ來  
大分勉強モ進ンダラシイ

縣君ニ日大グライダー部ノ件ヲ相談ス 朝日ノ中野君カラ縣君ヲ社ニ呼ンデ學生聯盟  
へ這入レバタゞデヤラセルトノコトデ五人モ出來レバ朝日へ行ク予定ダトノコト 之レハ朝  
日ガ積極的ニ出ルモノト見ナケレバナライノデ重大ナコトデアル

山崎君カラ圖面ハ間ニ合セルトノコト スパーハヤハリ十四米位ノ由 ヤルコトヲ答ヘル

◆▼30ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月27日(日)

天気晴

工場休 十年式ラジエタートカバーノ方三人ダケヤラセル

女工ニ麻テープ作ル爲メ今朝ニツイタ麻布三十米突持タセテヤル

奈良原氏來 川辺ヲ呼ビニヤッタカ來タ 義勇へ交渉ノ件川辺ニタノムツモリラシイカッ  
タガ今ノ中ニヤメラレタ方ガヨイト自分ダケノ意見ヲ述ベテ居ク 尚昨日安岡ト相談  
シタ生活問題ノ件モ話シテ居ク

三時ノ自動車ニテ上京 國技館ニ這入リヤット南波氏ヲ見ツケル 駒林、坂本氏モ一  
所デアッタ 五時過ぎ打出シ後モモンジャへ行クベクサソッタガ來ズ 結局南波駒林氏  
ト両国駅ニ階食堂ニテ会食。グライダー聯盟ニツキ話シ意見ヲ聞ク。会長ヲ岡サンダ  
ト云ツタ處ソレハイケナイ 大毎ノ聯盟ニナツテ仕舞カラト理由ニツキ聞クト最モナノデ、  
日大ノ件モアリ最(ママ)非羽太氏ニ注意セネバナライ 今日二度電話シタガ來ナカッ  
タラシイ。

買物ヲシテ九時帰宅

▲▼31ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月28日(月)

天気晴

晝食後上京 東日ニ行キ羽太氏ニ會フ 朝日ノ積極的方針ト会長ニ対スル局ノ意見ナルモノヲ羽太氏ニ話シス 尚東京ノクラブ組織ニ當ツテ聯盟トシテ如何ナル援助ガアルカニヨツテ会費入会金等ヲキメル根本方針トナルノデ其點モ知リタイト申込ム スグ大坂へ電話シテ福知氏ニヨビ其旨話シテ尚同氏ニ即刻上京ヲウナガサレタニ対シ今夜アリ意見決定ノ上上京スルトノコトデアッタ 一三ノ内金六百円ヲ貰ヒ報知ニ浅井君ヲ訪フ 社機製作ニツキ進メテ居ク マダ何等話シナイトノコトデアッタ。朝日ニ行キ中野君ニ會フ 横浜ノ方マダキマラストノコト 五六台作ル様頼ンデ一時余話シテ買物ヲナシ七時半帰宅 夜業ヤツテ居ナカッタ  
夜眠レズ 軽飛行機ノコト工場作業ノコト、グライダーノコト航空輸送ノコト等次ギハト考ヘラル  
午前二時半之レヲ記ス

▲▼32ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月29日(火)

天気晴

霞ヶ浦拂下引取り自動車遅レ八時頃出発 金太郎ノ外猪又、左官屋、魚興ト近所ノ人バカリデ行ク タ方帰ル 九〇スグ猪又へ拂下ニキメル デュラルミンノ支柱シート、滑車ヲ取ツテ居ク

▲▼33ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月30日(水)

天気曇リ

拂下九〇式六十五円 自動車百五十円ニテ猪又ニ拂下ル 今迄ノ借り工場分百十円内分十円 百十円ヲ支拂ヒ現金九十五円受取ルコトトナル 今日五十円置イテ行ク 一〇年式内張り仕上ゲヲナス

▲▼34ページ▲▼ 昭和10(1935)年1月31日(木)

天気晴

昨夜ノ雨晴レテ上天気トナル  
左官屋下水工事終ル 一円五十銭支拂 工賃五円四十銭以テ出来上ル  
工場作業カントク

恵美氏ヨリ一五式完成ヲ聞イテ來ル フロートデオソクナツテ居ル旨返事 十日頃竹内氏來ル様云ツテヤル  
昨日ノ残り四十五円猪又持参シタガ工場員ニイクラカヅ、ヤリタク更ニランブラン三個出シテ外へ借り百円取りソレ、支拂ヲナス 醫者ト硝子屋ガ残ル 又アロ借りネバナラナイ

▲▼35ページ▲▼ 2月

一〇 一五 一三 完成納入ノコト  
作業サル プロペラ グライダー 着手ノコト

▲▼36ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月1日(金)

天気曇

拂下品倉庫ヲ整理ス

奈良原、鳥飼両氏來 晝食ヲ共ニス 三時半頃二人共帰ル

工場長屋自宅全部硝子ヲ入レル 代價十七円余 数百四十三枚 割ニ安カッタ

猪又ヲヨビ昨日出シタランブランノ金ヲ借リルコトス 三十三円五十銭ノ内三十円

置イテ行 アト持参シナカッタ 全部持ツテ呉レバ丁度百円ノ借リニナル

平松十年式胴体羽布新調スルコトニナル 見積リハ七米ダケ新調ノコト

和子ノタバヲ吉ガ、ツバクリヲシテ居ルト、コレカツコノ、ドウモチユミマチエント云ツタノ

デ大笑ヒシタガイッ、ソシナコトバヲ覺エルノカ 此頃ハホトンド毎日新ラシイ言葉ヲ出

シテビツクリサセル

▲▼37ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月2日(土)

天気晴

山田航空官ヨリ電話アリ 四日以後ノ試験ノ件

十時四十分ノ自動車ニテ羽田ニ行ク 丁度二時間デ行ケル 飛行場長ニ會ヒ試験ノ件

ヲ依頼シ木暮君ニ會ヒ平松氏ノ車輪ノ金延期ヲタノミ、三月十日競技会延期ノ件ニツ

キ打合せ次会会合ニ計ルコトトシテ東日ニ行キ試験ニ格納庫借リ入レ方タノミ釣リ上

ガ装置ノ棒ノ見本ヲ見セテ貰ヒ金具一組借用シテ本社ニ行キ羽太氏ニ會ヒ、佐藤ニテ

割ビンヲ買ヒ大急ギニテ帰所 途中作業会社ニ一寸ヨル

▲▼38ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月3日(日)

天気 雪

此冬初メテノ大雪 昨夜來ノ雨ガ夜ガ明ケテカラ雪トナル 夕方迄降りツゞク  
鳥飼氏外一名來 自動車。バツカードグレイニ二台ニテ弍百七十五円也 鳥飼氏ニ、三十  
五円ヤルコトニス 晝食後三時頃帰ル  
平松氏來場

▲▼439ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月4日(月)

天気 晴

山田江口両氏來場 場内飛行終了  
サルムソソ調子悪ク夕方漸ク直ル 羽田へノ空輸明朝ノコトトス

▲▼440ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月5日(火)

天気 晴

絶好ノ飛行日和 長谷川アンリオニテ無事終了 鈴木ノ金田同ジク 第一菅原往航不  
時着シテ時間遅レル。洲崎飛行場一時ヨリ五時迄飛行禁止トノコトニ太田原へ同地止  
メ居キヲ打電セシモ間ニ合ワズ四時過ぎ帰還 羽田へ行ケト文字ニテ地上へ信号セシモ  
洲崎ニ着陸ス

サルムソソ九時過ぎ安岡羽田へ空輸 飯田無事飛行終了 鈴木ノサル坂東飛行場へ不  
時着 状況不明

鳥飼氏ヨリ自動車明日取りニ行ク 金内金廿五円受取ツタ 明日金取りニ來テ呉レト  
アリシモ引取人ニ持参サセル様話ス

▲▼441ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月6日(水)

天気 晴風

西風強シ 太田原方面雪模様不通トノ通知ニ飛行中止 川辺君來 山田氏江口氏ト  
碁会ガ初マル 三時過ぎ迄

奈良原氏來 一月十五日付ニテ内務省ヨリ江戸川飛行場許可ニナツタト東京府ヨリ  
通知アリ

鳥飼氏來 自動車ノ金弍百四十円受取ル 外三三十五円鳥飼氏口銭アリ 内猪又へ  
三百円渡ス 二十円返シテ來タ。一五作業ハカドラズ

▲▼442ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月7日(木)

天気晴

朝平松十年式ノカバーヲ一寸ヤツテ居イテ仕事ヲ命ジ十時半船橋ニ行ク 洲崎風強クアンリオ出発セズトノコト クラブサル今朝洲崎へ一度着陸 晝頃船橋ニ來ル シリンダーノ頭ヨリ水漏ルトノコトニ津田沼へ帰ス

試験日明日今一日延期シテ出來ナイ時ハ三月迄延期スルコトナル

第一テ晝食ノ馳走ニナリサンパツヲシテ四時前帰宅 仕事ヲ見ル。サンパツ中モ仕事氣ニナリアセル

大坂ノ中山氏上京 電話カゝツテ來タ由

本記事ハ八日ノ分ナリ

▲▼43ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月8日(金)

天気晴

今日モ風ノ爲メ延期 明日ヨリ船橋ニテ実施スルコトナル

七時頃藤原延君來 元自轉車屋ノ光野君ノ關係デ百万円ノ飛行機ノ会社ガ出來ルノデ藤原君ニ入社ラス、メラレタガ僕ニ最(ママ)非關係シテハドウカトノコト 今日三時ニ神戸へ帰ルノデ其前ニ光野君ニ會ツテ見テ呉レトノコトニスグ同道 小傳馬町デマネキン人形屋ノ支配人ヲ今ヤツテ居ル 店へキキ同道シテ東京駅地下室ノ莊司デ話シヲ聞ク 光野氏ノ人形屋ニ主人公片桐氏ノ友人デ東京?モーターボート製作所ノ千葉四郎氏ガ軍部ト關係アリ陸海軍ヨリ飛行機ノ製作ヲ進メラレテ居ルガ何等智識ガナイノデトノコトデアッタノデ自分ハ突然聞イタノデ全然白紙デアアルガ經驗ダケハアルカラ關係スルト否ヤニカ、ワラス御相談相手ニナル旨ヲノベ向ツテモ一回ハカツテ返事スルトノコトデ分レニ三買物ヲシテ大急ギデ帰宅ス

本記事ハ七日ノ分ナリ

▲▼44ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月9日(土)

天気晴

最後ノ一日延期シテ貰ツタラ大變ヨイ天候トナリクラブノモノハ全部終了ス。鈴木ノ處ハ二台共太田原ニ發動機故障デ中止トナル 昨日パッカート本日グレイ式台共引渡シ終了

▲▼45ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月10日(日)

天気 雨

朝ハラ、降ツタリ止ンダリ 午後ヨリ夕方へ本降りトナル  
鈴木ノ方今日モ試験續行スルトノコトデアッタガ、サル部品ヲ飛行機デ持ッテ來テ呉レ  
ト電話アリ出発シタノガ十時過ギ 其内ニ九時三十分三型出発 十一時二十分サル  
出発ノ報アリシモ三型ハ柏競馬場へサルハ砂町へ不時着 サルハ破損 サル部品ヲ持ッ  
テ出タ 一型ハトンデモナイ 東金へ行ッテ不時着ス。カワイソウデアッタガ今度ハ少シ  
六(ママ)理ヲシスギタ

矢野昨日ヨリ居ラズ 今日午後佐藤ニラジエターヲヤラセル

黒沢來 昨日朝日へ出デ奈良原氏義勇ヲ止メタ事件ノ記事カラ厚木デハ大分サワイ  
デ居ルラシイ

▲▼46ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月11日(月)

天気 曇リ

薄日サス暖イ日デアッタ

八時頃小林氏外一名來 九時過ギ平松氏 十一時頃王子ノ役員三名 十一時半写  
眞屋來 十年式写真眞ニ取ッテ皆揃ッテスグ帰ル。後チ一時晝食後船橋へ月桂樹ノカイ  
ガラ虫ヲ退治ル薬ヲ買ヒニ行ク 建国祭ノ旗行列ニ會フ 小国民ガタクサン楽隊ニツレ  
テ行クノヲ見ルト涙ガ出デ困ッタ

帰りニ第一へ過日ノ禮ニヨリ小供ニ菓子ヲ買ッテ行ク 青木君ニアッテスグ作業会社ニ行  
ク。明日役所ノ方會計ヲ持チ廻ッテ金ニシテ夜遅クナッテモ持ッテ行クトノコトデヤ、  
安心シテ帰ル 黒沢待ッテ居タ 昨日帰ッたら解職ノ辞令ガ下宿ニ居イテアッタト來  
タノデアッタ 自分トシテハ荒ラ立ズニ止メルコトダガ奈良原氏ニナニカ考ヘガアルカモ知  
レヌカラ帰りニ立寄ル様ニ云フ

▲▼47ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月12日(火)

天気 雪

予報ハツレテ終日雪降ル ツモラナカッタ

十時半頃ヨリ上京 局ニ行キ明日ノ拂下ニツキ井上氏ニ模様ヲ聞キ尚横浜高工卒業  
生雇入ノ件ヲ頼ンデ居ク。局預リノ不良高度計一個持参ス 奈良原氏局へ來 今日江  
戸川区役所へ行キ許可書ヲ貰ッテ來タ由。小栗、飯沼、田中、遠藤ト局デ會フ 銀坐  
裏へ晝食ニ行ク 席上飯沼遠藤君來カラ協会、ブツブツ案ガ出タガ自分ハ合法的ニ先  
ヅ理事中ニ民間側ヨリ一名乃至三名程入レルコトヲ主張シ其ノコトニ決シ明後日ノ會  
合ニ其案ヲ出スコト。局予算ノ都合上年度内競技会不可能ニナッタノデ延期ツヒデニ  
大キクヤッタラトノ説出ル。ソレハ局ノ予算ノ都合ヲ木暮君ニ聞イタ上キメルコトトス

日日ニ寄ル 羽太氏津田沼へ行ツタトノコト。シマツタト思ツタノデ、スグ電話シタガ來ナイトノコト 時四時デアツタノデ雪ノ爲メ行カナイト分カッタガスグ帰宅ス  
作業会社ヨリ金出來ヌトノ電話アリタル由 猪又ヲ呼び五十円借りル

◆▼48ページ◆▼ 昭和10(1935)年2月13日(水)

天気 晴

メーコン號墜落破損ス

昨夜眠レズ一時頃無理ニ眠ル

昨夜ノ雪晴レテ上天気 七時半ノ一番自動車ニテ所沢ニ行ク 計器類全額四百九十円 約二十人ニ分ケル 広島恵美ノ分引取ツテ居ク。羽太氏ト同道 社ニ行キ聯盟ノ役員推撰ノ手紙ヲ奈良原氏ト自分ノ分トヲ貰ツテ帰りニ二三材料ヲ求メ丁度六時帰宅 入浴 丁度ヨイエ合ニ腹ガ空イテ居タノデ酒ガウマカッタ 拂下ノ割當テモスコブル満足デアツタ 金モ作業会社カラ五十余円呉レタノデ猪又デ借りタノトデ宮島ノ分 辻拂フコトガ出來タ

◆▼49ページ◆▼ 昭和10(1935)年2月14日(木)

天気 晴

熱カイ日デアツタ

晝食後上京 恵美子ノ件英和ノ入學願書ヲ出シ局ニヨリ小西正弘三等免状証明ノ件デ森サンノ承認ヲ得テ斎藤明日頭席ノコトヲ話シ日ニヨリ羽太氏ニ樫材見積リノ件ニテ一寸會ヒ虎ノ門ノ阿部ニ行ク クランクケースマダ着イテ居ナカッタノデ、ツキ次第シラセテ貰フコトヲタノンデ居ク

協会ニ行ク 小野閣下不在 寺師少将ノ自宅ヲ聞イテ控エ居ク 羽太氏ニ電話シテ志鶴君囑託ヲ承知シナイ時ハ代リヲ心當リアルカラ、タノムト申込ンデ居ク。岡田氏ヲ來テ貰ヒ羽布月末拂シテ百五十米送ツテ貰フコトナル。六時ヨリクラブ開會。奈良原、木暮、田中、飯沼、川辺、小栗、梶原、大野、相羽來 競技會ヲ四月三日ト決定 協会へ理事ヲ入レル件モ決定 クラブノ總會ノ決裁トスルコトニ申合ヌ 九時帰宅 拂下引取り埴山出張サセル

◆▼50ページ◆▼ 昭和10(1935)年2月15日(金)

天気 晴

晝食後タクシーデ安岡ト奈良原氏宅ヲ訪問 同道シテ江戸川ノ新飛行場ヲ見ニ行ク スグデモ飛行出來ル程ヨイ場所モアツタ 格納庫ノ位置モ一寸物色スル 大体ニヶ所予

定シテ小岩ヨリ上京 東日ニヨリ三百円羽太氏ヨリ受取り、同氏モ同道シテソラニ行ク  
高崎、奈良原、安岡、アトヨリ安満、山崎、木村、清平、衣笠氏ト合同 大ニ話シガ進  
ミ九時半終ツテ銀坐ヲ散歩 羽太氏ノ案内デオデンヤニヨリ十二時過ギ迫ノム 安岡  
ヲ最(マ)非貸シテ呉レトノ羽太氏ノタノミデ居イテ帰ル 漸ク終電車ニ間ニ合フ 清  
平ノ學費ヲヤル

クラブ会合

九年度報告

理事改撰

江戸川飛行場ノ報告

グライダー部新設

▲▼51ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月16日(土)

天気 晴

今日モアタ、カイヨイ天気デアッタ

終日在所

夜食後家内ハ船橋ノ齒醫者へ行ツタノデ一人日曜報知ヲ讀ミカケタラ、タチマチ眠ク  
ナツテ寢ル

九時頃鈴木菊來 池本ト高川ガ來テ金ヲ呉レトノコトデアッタトノコト 鈴木モ出シギ  
タナイカライケナイノデ明朝話シラツケテヤルコトニス

▲▼52ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月17日(日)

天気 曇リ

今朝ハマダ眠カッタ

一昨バンビールヲ沢山ノンデカラ腹ガ洗滌サレタ様ニ氣持チヨクナッタ

十時頃矢野周一君來 川辺君ニタノマレタコトデ來タノダソウダガ不在 一時間程話  
シテ急グカラト帰ル

午後金太郎ト倉庫ヲ整理ス 眞黒ニナッタ

夕方加藤氏來 鉄道ノ金取レタガ入レル程ニナラナイノデトコトワリニ來タノデアッタ  
朝池本ヲ呼ビ無法ヲ要求シテハイケナイコトヲ話シテ居ク 鈴木菊來 結局包ミ金デ  
三十円出スコトニナリ夕方池本ニ渡ス

▲▼53ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月18日(月)

天気 晴

思ヒガケナイ上天気デアタ、カカッタ  
今日ハ終日倉庫方付ケ

昨夜恵美氏カラ確定ノ日シラセトノ入電アリ 明日検査日ヲタシカメテ返スル旨返電  
ス

夕方奈良原氏來 江戸川飛行場建設後援会ヲ組織スルコトトシ江戸川区青年団長在  
軍會長ニ會見。後中島守利代議士ノコ分野口府會議員ニ會見 右後援会ニテ約一万  
円作ツテ呉レルトノコトデアッタ由。二三日中ニ格納庫地所見ニ行クコトニ決ス

▲▼54ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月19日(火)

天気 晴

今日モ上天気。三時頃迄ニ倉庫内ノ掃除ヲ終ル 後チ今夜カラノ夜業ノ準備ノ電燈  
設備ヲナス

呉君高知ヨリ帰ル 貸金全部入金ス

夜業八時頃 今日ヤ、ハカドル

十年式發動機昨日カラ廻シ初メタガ今日ハ少シ廻ツタガマダ充分デナカッタ

▲▼55ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月20日(水)

天気 晴

鈴木伊四郎ヲ東京へ特種ガラスノ注文 児玉氏見舞、亜細亜ノ助教黒崎君ノ告別式、  
寺師少将へ鈴木正憲ノ件タノミニヤル

平松十年式ヨク廻ル

第一南波氏見エタノデ來テ貰テフロート見テ貰フ リベットモット数ヲ多クスルコト

今夜モ八時迄

▲▼56ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月21日(木)

天気 晴

今朝竹内君へ一五來月早々完成ノ返事ヲ出ス

奈良原氏來場 明日格納庫ノ位置決定ニ出張スルコトナル。東日へ電話シタラ福知  
氏來テ居タ 明バン帰ル由 一三式三月十日ニ入用トノコト 大急ギデヤラネバナラナ  
イ 今夜カラ夜業ヲ九時迄行フ

平松氏來 金ノ件話シテ準備シテ貰フコトヲタノム。駒林氏ヨリ電話シテ廿三日ノ驗  
査廿五日ニシテ貰ヒタイガドウカトノコト 差支ナキ旨返事ス

▲▼57ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月22日(金)

天気 曇後雨

作業会社加藤氏ト奈良原氏同道江戸川ノ格納庫敷地ヲ見ニ行ク 予定地ノ一部借  
リラレナイ處モアツテ決定シ兼ネタガ廿六日地上ゲノ方ノ交渉ナナドシ今一度行クコ  
トトス。大野資君モ來 最(ママ)非借リタイトノコトデアッタ

二時帰宅 自動車デ矢野周一君ト一所ニナル

今夜モ九時迄夜業 作業大分ハカドル 平松氏來ラズ 金ノ目當ツカズ

今日ハ非常ニツカレテ朝モ起キニクカッタ 夜モ眠ク早ク床ニツク。ソレデモ九時過ギタ  
信太郎名儀(ママ)デ注文シタ應用航空力學電気鎔接到着ス

▲▼58ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月23日(土)

天気 晴風

西風強ク今日モ平松機試飛行出來ナカッタ

平松氏來 金ノ件タノム スグ電話シタラ小林氏式百円持ッテ來テ呉レタノハ嬉シカッ  
タ 夜計算書ヲ作ル 明日平松氏ト会ッテ計算書ヲ書ク予定デアッタガ夕方羽太氏ヨ  
リ電話アリ筑波ノグライダーニ行カナイカトノコトニ行クコトニシタノデ平松氏ニハ手紙  
ヲ書イテ居ク

岡田サンへ羽布ノ件電話シタガ不在 明日使ヲヤルコトニス。明日奈良原氏同道スベク  
打電ス

▲▼59ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月24日(日)

天気 晴

風静カ 六時前起床 六時半出ル 七時半金町着 奈良原氏スデニ居ラレル 八時五  
分ニ乗ル 羽太氏モ丁度同乗 十時半頃頂上ニツク。局カラ南波氏、山田、森、早川氏  
協会カラ四王天、小野、藤原博士其他 日本飛行少年團長出田氏ヨリ挨拶ヲ受ケル  
見タコトノアル人ダガ思ヒ出セナカッタ。第一回一時頃鵜飼君飛行 第二回吉原君  
第三回同ジク 但一二回ダケ見テ三四回目ハ遅クテ見ラレナカッタ 四時ノケーブル  
カーニテ帰ル 土浦ニテ晝食兼夕食ヲ取ル 志鶴君、(局ノ)長村君同伴ス 十時過ギ  
帰宅 非常ニツカレタ

筑波號ハヨク出來テ居タ 山デ山崎君ニ會フ

操縦士ハ皆ダメダ 上昇気流ヲ利用シナイ。アレナラ砂袋ヲ積ンデ飛バシテモヨイワケ  
ダ

◆▼60ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月25日(月)

天気 曇後晴

木目田齋藤両氏來 野呂平松両十年式完成検査ト一五フroot川辺。バラシユート全部終了 六時近ク帰ル 奈良原氏來  
王子ヨリモ五六名見エタ 皆嬉(ママ)ンデ帰ツタ 一同ニ茶菓料五円 安岡へ十円置イテ行ツタ

◆▼61ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月26日(火)

天気 雨

昨夜恵美氏ヨリ完成期確答ヲ乞フトノ電報アリ 工場ノ主ナルモノヲ集メ協議ノ上五日検査予定ト打電ス 局へ電話シテ駒林氏ニモ五日検査ノ件タノム 急(ママ)ガシノデ決定ハ出來ナイガ急グ様ダカラ何ントカシヨウトノコトデアツタ  
鈴木局へ平松氏ノ願書提出ノ爲メ上京 ツヒデニ奨ケンノ件ニツキ協会ト寺師少将へヤル。雨ハゲシク平松氏來ラズ。銀行ヨリ佐野ノ 手形小切手請求アリ 今明日中ニ持参スルコトト返ス

午後加藤氏同道江戸川ニ行き大貫氏宅ニテ地主側ニ名大貫氏伊藤氏立会 コチラ奈良原氏ト三名ニテ協議 地代ヲ四錢月末支拂ヒノコト 仮契約ヲシテ地上ゲ後実測ノ上本契約ヲナスコトトス 土木請負者モ來 地上ゲ坪一尺八寸上ゲテ八十錢トノコト 六時半頃帰宅

◆▼62ページ▲▼ 昭和10(1935)年2月27日(水)

天気 雨

平松機同乗席グラツクカラ堪航証出セヌトノコト 局へ電話スル ソレダケノコトナラ、スグ直ルカラ証明書ヲ出サレタイトタノム ソレデハ今日見ニ行クトノコトデ午後齋藤氏來 四時頃明日証明書出ストテ帰ヘタ。慣レナイ検査官ニハ困ル  
午後松原海軍大佐引率ノ下ニ學生航空聯盟海洋部員六名來場 一時間余話シテ帰ル

今日ハ一五ノ内張り自分デ行フ 夜九時迄皆ト共ニ夜業ス  
夕方上仲來 色々説諭ス自分ノ云フ通りニスルカラ最(ママ)非免(ママ)倒ヲ見テ貫ヒタイトノコト。固ク自分ノ命令ニソムカナイコトヲ約サセテ許ス

銀行小切手ノ金入金出來ズ明朝迄延期ス

ライジングサン代理辨護士來 支拂方法毎月廿円ヅ、十月以後毎月十円ヅ、入レル

コト ソレ迄ニ入会者アレバマトメテ入レルコトヲ返事ス 先方ニテキメル由

◆▼63ページ◆▼ 昭和10(1935)年2月28日(木)

天気晴

鈴木局ト恵美子ノ學校ヘヤル

平松氏ツヒニ來ラズ 金ナク困 今日ハドコモ全部支拂ヒヲ延バス

奈良原氏來 電車賃ダケシカ上ゲラレナカッタ

大蔵ブレダニテ上京 電話アリ 來月中ニ最(ママ)非下坂セラレタイ 自分ノ二十周年ヲ在坂出身者デ祝福スルカラトノコトデアッタ。ソウ云ワレレバ二十年ニナルラシイ

◆▼64ページ◆▼ 3月

一〇 先月完

一三 一五 十日迄完

サル一台 グライダー 日経アンリオ 完成ノコト

◆▼65ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月1日(金)

天気晴

東日須田大毎関両機関士來 大蔵ガ最(ママ)非來テ呉レトノコトデアッタ由 夕方ヨリ行ク

銀坐裏ノ野菜鍋ニ同道 日空ノ井上君モ來 ソレニ岡、関、両君ト五人 思ワズ過ゴシテ帰ツタラ一時ニ近カッタ

◆▼66ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月2日(土)

天気晴

平松氏今日モ金ダメ 止ムニヤマレズ第一ハ月曜日迄ヲ條件トシテ鈴木ニヤッタガダメ

鈴木三時間余ニヤツテ帰ラズ。平松氏ハ第一ダメゼヒタノムト打電ス

尚東日ヘ借りニヤツタガ羽太氏羽田ヨリ帰ラズダメノ由

代引ノ品ハ續々到着スルガ引取り出來ズ

◆▼67ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月3日(日)

天気 雨後晴

雨ノ爲江戸川飛行場へノ飛行ハ中止ス 夜ノ講演ト活動写真ノ爲メ会長、安岡、黒沢三名出張 加藤氏モ行ク 昨夜上仲會長宅ニ行ク 今朝手紙持参 飛行場後援会ニテ格納庫ヲ建テテヤルカラ急グナトノコトデアッタ由

平松氏金持参セズ塗料又引取レズ 鈴木上京 羽太氏ニ昨日話シテ居イタ金三百円借リルコトニス 社へ五百円トシ忒百円羽太氏個人借用シタシトノコト 承認ス

六時過ギ代引ノ品全部引取り終ル

夜業九時迄 自分ハ風ノ爲腰痛 家内ガ二日程寝タノト同ジ状態トナリ気分悪シク夜アンマヲ取り風薬リヲノンデ早ク床ニツク

▲▼68ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月4日(月)

天気 晴

今朝ハ昨夜汗ヲ出シタノデ大変氣持チヨカッタガ晝頃カラ又昨日ノ輕イ状態ニナル 夜酒ヲ少シ過クノンデ夜業ヲ見ル 割合ニヨカッタ 十一時迄

東日ノ金デ足ラズ平松氏又持参セズ 送金シテ來ルトノコトデアッタガ夕方迄マツテモ來ズ 今日ハナンデモ七八居イテモメッキ屋ノ品引取ラネバナライノデヤキ、シタガ四時過ギ電爲替デ五百円來 平松氏マダ居タ 早速近所デソレを七十円借り、メッキヲ取りニヤル

▲▼69ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月5日(火)

天気 晴

一三三全カヲソ、グ。マダ翼ガ出來テナイノデ塗料塗リト標式記入ニツヒニ徹夜ス 夜食ニ石原君ノ支那ソバヲ出ス

▲▼70ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月6日(水)

天気 晴

昨夜ハ朝四時半ヨリ床ニツイタガツヒニ眠レナカッタ 今日ハ大格ニテ翼ヲノセタノガ午後ニナツタノデツヒニ又徹夜トキマル

▲▼71ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月7日(木)

天気 晴

昨夜モツヒニ夜ヲ徹シタガハカドラズ、午後漸ク引出シテ地上検査ヲ受ケル ガソリンガ

モルヤラ水ガモルヤラ発動機モツヒニカ、ラズ中止トナル 一五夕方引出シタガ之レモ地上デ見タダケデ運轉ニ到ラズ  
東日ヨリ須田羽太両氏來場

▲▼72ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月8日(金)

天気晴

一三式試験飛行ナク試運轉後ラジエターヲ降シ修理ニカ、ル  
一五式マグネットタイム間違ヒ直シタルモツヒニカ、ラズ。ラジエターノ漏リモ池本ノ仕事  
デ実ニ困ツタヤツダ  
気分悪ルカッタガタ方辻ガマンテテ(ママ)早ク床ニ入り薬ヲノム 汗ガ随分タクサン出タ  
菅沼君十円ヤツテ本日ヨリ帰郷ス 入営ノ爲メ 五ヶ月間居タ証明ヲヤル  
正午京都航空協会清水松三郎外数名來場 夕方江戸川飛行場ヲ見テ帰ル  
平松氏王子機ニテ羽田ヘ行ク 梅川同乗

▲▼73ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月9日(土)

天気晴

南風暖カク春暖トモ云フベキデアッタ  
十時頃恵美氏ヘ七ヒチジョウケンサオワリホンヒヒコウシケント返電ス  
一五カーブレター針辨動キ少ク直シタラスグカ、ル 三四回テストノ上プラグダケ  
ヤ、不良。明朝試飛行スルコトス  
一三式全部手入レヲ終了  
奈良原氏來場 明日足利へ川辺氏飛行ニ講演ノ爲メ出張ス

▲▼74ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月10日(日)

天気晴

昨日ノ風ノ爲メ一五道ノ下迄來ル 一部ダケ出テアト休ム 正午頃ヨリ王子機ノ名命  
(ママ)式参列ノ爲メ上京ス 行ツテ見タ處ハ元ノ岸サンノ飛行場デアッタ 附近ノ變タ  
ノニ驚ク 式ハ盛大デアッタ 平松君モ自重シテ飛ンデ居タ  
終ツテスグ帰ルト一五ノ底ニ大穴ガアイテ居タ 昨夜ノ風デ、繫留ノ杭デヤツタモノラ  
シイ 大口ガ來テ居タノデツヒニ今夜マタ徹夜デ直スコトニナル  
大口中島工藤矢野四名徹夜ス

▲▼75ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月11日(月)

天気晴

午前須田氏午後岡氏來場 検査官南波斎藤両氏午後三時頃來 東日機地上運轉中  
發動機焼ケツク 原因調査ノ結果オイルコックニボロガツマツテ居タ。実ニ恐縮ニ堪エズ  
一五式朝試飛行セシテ離水ト同時ニ發動機調子悪シク更ニ沖ニテヤル カケタガ杭ガ  
アツタ爲メ發動機停止セシ爲メ始動困難ニテ午後二時 午後工場全員ニテ沖ニ出シ検査  
官來タ頃海ニウカベタガ北風強ク滑走ハセシモ中止ス スデニ日ボツニ近シ  
今日ハ二名負傷シ一名ハ今少シデ一五ノプロペラノ中へ這入ル處デアツタガ先ヅヨカッタ

▲▼76ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月12日(火)

天気晴

午後ヨリ須田梅本両君來 發動機故障シ分解ス 右一番ピストン焼ケツキタルノミデ  
ト、シリンドーモ使用差支ナキ由 ベアリングモ異状ナシトノコトニホツト安心ス  
今朝東日ニアヤマリニ出カケル予定ノ處羽太氏不在トノコトニ三時半頃電話シテ見ル  
帰ツテ居ラレタノデ電話デ取アエズ詫ビテ居ク 和田氏モ見エテ居ルトノコトデアツタ  
奈良原氏來 夕方帰ル  
一五式上部タンクサルノモノト取替作業ヲ大口ニヤラセル  
今日ハ昨日ノ爲メニ欠勤者多シ  
恵美氏ヨリ検査如何トノ電報アリ 昨日検査官見エシモ風浪ノ爲メ出來ズアトフトト  
返電ス

▲▼77ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月13日(水)

天気晴

暖イ日デアツタ 芝ハドシ、青クナツテ居ル 今年ハ植木ヲ、カマツテ居ラレナカッタ  
廢材ヲ出シテ小遣ヲ作り別ニ横須賀ノ拂下代金七十五円猪又ヨリ借ル。之レデ猪又ハ  
三百円位ニナツタ 十一時ヨリ上京 協会ニヨリ井上氏ニ會フ 正憲ノ件出ルコトニナツ  
テ居ルガ四五十円ヅ、何回ニモ出ソウトノコトデアツタ由。小買物ヲナシ阿部ニ行ク  
荷造リノマ、デマダヤツテナカッタ。主人不在デ何(マ)ルベク早くト云フコトニ頼ンデ東  
日ニ行キ羽太氏ニ今般ノ御詫ヒラシテ、和田氏ニ會フベク待ツタガ局へ行ク時間ガ來タ  
ノデ局ニ行キ拂下代金ヲ納入 サルトベンツノコト、ソレカラ一五水上ノ件 十八日呉へ  
行クツヒデニ竹内君ニ會フカラトノコトニ事情ヲ話シテ奨励金問題ナド井上氏ニタノム  
五時帰宅

羽太氏二百円カエサレタガ差支ナイカラトテ百円ダケ受取ル

▲▼78ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月15日(金)

天気 晴

税務署へ出ズ 九年度決算下書キヲ作ル

鈴木千葉ノ觀(マコ)業銀行へ交渉ニヤツタガダメデアッタ

夕方ヨリ上京 東日デ和田氏ニ會ヒ挨拶ヲナス

五時十分前飛行館ニ行ク 飛行競技会問題新聞記者ノ都合上四月一日ニスルコトトナル 場所問題ニツキ洲崎ト羽田デ又イガミ合ツタガ結局羽田ニ決定ス

◆▼79ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月15日(金)

天気 晴

奈良原氏來場セラレタガ和田氏ツヒニ來ラズ

五ヶ年ヲ省ミテノ原稿ヲ書ク

鈴木休ム

藤原ヨリ五百円電報爲替ニテツク 和田氏ニ明日來ル様打電ス

◆▼80ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月16日(土)

天気 風雨

鈴木伊四郎手紙デ今日月給全部ト三月分モ前借リシタイト申込デ來タガ夕方二十円ダケ持タセテヤル。ソレデモ藤原ノ金五百円ノ内二百円ガ出タ 猿田君來ラズソレ以上手ヲ付ケルコトハバカラレタ

夕方一三ノ發動機來 須田氏來ル

朝奈良原氏來場 羽太氏横浜カラ乗車スルノデ一時四十分ニ乗ツテ呉レトノ電報デアツタノデ又旅費十円渡ス

今日会報ノ原稿五ヶ年間ヲ省ミテヲ書キ直シ後チソアラノ材料調査ヲナス

◆▼81ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月17日(日)

天気 晴

猿田氏ツヒニ來ラズ 明朝來ル由 江波氏來 事傳アリ 同人明日ヨリ來ル 八日市場ノ出身 本年十七才

清平午後二時半ニテ帰京ス 信太郎勉強ノ爲メ骨折ツテ呉レタ 川口、小林両氏ヲ廿三日幸樂へ招待スルコトニキメル 尚工場ノコト輕飛行機ノ件等自分ノ意見デアル今ノ五十一号ヲ八十馬力ソレカラ百三十馬力トダン、改造シテ行クコト話ス 清平モ大ニ賛成シタ

一三發動機取付終ル 左側シリンダージャケットヨリ水漏リアリ 明日パッキンヲ羽田

ヨリ持参ノコト

◆▼82ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月18日(月)

天気 曇リ

降ルカト心配シタガツヒニ降ラナカッタ

晝過ぎ猿田氏來 四百円ニテ藤原へハンザー買ヒ下妻飛行大會ニ同ハンザーヲ弍百円  
デ貸スコトニシ内金トシテ百五十円受取ルコトトシ差引弍百五十円ヲ渡ス 藤原へ賣ッ  
タ謝禮トシテ廿五円呉レル由 辞退スベキデアルガ児供ノ入學ニ金ノ入ル時トテ受ケル  
コトトス。但シ金ハ今月末迄ニトノコト ハンザー明後日引取りニ行クコトニ決ス

拂下サルヲ猪又ニ出シ三十三円六十錢トナル 内十円鈴木伊へヤル 電話料拂へズニ  
十日迄延期ス

黒沢ヲ局へ奨励金ト検査ノコトデ出張サセル

鈴木伊今日モ休ム 夕方太田ニ金事傳ケツヒデニ様子ヲ聞カセル

◆▼83ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月19日(火)

天気 晴

田中不二雄ヨリ電話ニテ猿田ノ金モ一  
百円渡シテヤツテ呉レトノコト申出アリシモスデ  
ニ金ハ出デナイカラ出來ナイ相談デアッタ

鈴木伊今日モ休ミ

◆▼84ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月20日(水)

天気 晴 温シ

朝新聞ヲ見ルト日本飛行クラブノ分列(ママ)ト大キナ見出シデ出テ居タ。午後一時半  
ヨリ第一、青木、作業奥山、鈴木、川辺ヲ集メ右ニ対スル意見ヲ聞ク 今日トナツテハ  
洲崎組ノヤリ方ガヨクナイトノコトデ全部クラブ支持スルコトトナル 三時半自動車ヲ  
ヤトツテ上京 五時十分前飛行館ニ着 競技会ノ審査委員会ヲ開ク 局ヨリ森、協会  
ヨリ小野 東京飛行場ヨリ場長代理トシテ松本氏出席 審査規定ヲ終リ会食ス、其  
節今日ノ記事ニツイテ総務理事ノ意見ナリトシテ小野氏ヨリ分列(ママ)ノマ、競技会  
ヲ行フコトハ協会トシテハ困ルカラ、マトメテハドウカトノ話シアリ。主意ニ添フ旨ヲコタエ  
ル。今局監理課長ヨリ同様話シアリシモ事情ヲ話シ飯沼ヲ呼ンデ課長ガ意見ヲ聞ク由  
後チ仕事ノ分担ヲキメテ散会

一三式羽太氏飛ブ 左へ少シカタムク由

驗査ハ廿二日トキマル

ハンザー銚子へ取りニヤル

◆▼85ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月21日(木)

天気 曇り雪

庭ノ梅ヤ菜種ガ昨今花ザカリデアルノニ今日ハ雪ガ降り出シ夜ニ入ッテ大分積ツタ  
晝前信太郎帰ル 夜清平來 明朝十時上野發デ仙台へ受檢ニ行ク準備フトノエル 恵  
美子ノ方ハ明日千葉高女デ七時ニ停留所へ集合ニテ先生ガ、ツイテ行ッテ呉レルソウダ  
高知ヨリ三谷君來 高知国防会ノ人ヲ連レテサルカ十年式ヲ欲シイトノコトデアッタ

◆▼86ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月22日(金)

天気 雪

大雪 晝前迄降ッテ居タ 三寸位積ツタ 午後ヤム 次第ニ晴レル  
木目田氏來 三時頃二三羽太氏飛行シテ合格 一五發動機ダケ地上運轉 機体ノ  
方ノ人來ラズ クラブノ会合ガアルノデ四時半ノ自動車デ出ル  
信州ノ松下カラ長勇一君ニ嫁ヲ貰フノデ廿六日結婚式來テ呉レトノコトデアッタ 尚  
拾八匁印送ッテ貰ヒタイトノコトデ船橋デ買ヒ客車便デ發送  
六時飛行館着 安満、高崎、木村、山崎、奈良原、自分 外ニ帝都国空協会ヨリ清水、  
和泉、井門ノ三氏來 理事中山本林平氏ノ代リニ山崎氏 中山氏ノカワリニ佐藤氏  
道永二代テ渡辺又ハ協会ノ北尾君ト云フコトニナル  
山崎氏ヨリトイフェルノ圖面全部受取ル

◆▼87ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月23日(土)

天気 晴後曇リ

今日ハツカレタノデ終日寢ルコトニキメタ  
一三完備サセ、一五油圧計取替エル  
エミ子試験 今日モウマク行ッタトノコト 明日發表ノ由 大抵大丈夫ラシイガマダド  
ウカト思ワレル  
信太郎今日ノ成績デ、アトナゲ出ス様ナコトガアツテハト思ッテ最後迄努力スル様打電  
ス  
アンリオ江戸川へ午後二時飛行 スグ帰ル 不時着ニス

◆▼88ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月24日(日)

天気 雨

八時カラ発表ガアルト云フノデ恵美子ト家内ガ行ク 九時頃帰ッテ無事合格 ヤット  
一安心 津田沼カラ十人行ッタノハ皆通ッタ由 先生モ大嬉(ママ)ビデアロウ 午後礼  
ニヤル

晝食後上京 雨ハゲシク自動車デ家内ヤ恵美子ノ船橋行ヲ一所ニ行フ。クラブヨリ三  
十円借り作業ヘ十円タノンデ居イタノニ弍円シカヨコサズ少シ足りナイト思ッタガ東日  
ニ行キ羽太氏ヨリ弍百円借りル 日、朝、日、報知ニ一日競技会ノ賞品ヲタノミ讀賣ニ  
行ッタガ、誰レモ居ラズ 靴ガモウスツカリヌレタノデ有楽町駅デソコヲ直サセ四時半幸  
樂ニ行ク 五時十分清平小林川口氏來 川口氏初対面デアッタガ頭ガ薄ク、廿五トハ  
見エナカッタガ中々愉快デ信チヤン、、、テ大分懸命ニナッテ居タ 九時頃終ッテ佐藤  
ニヨリケーブルヲ買ヒ帰宅 十一時

▲▼89ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月25日(月)

天気 晴風強

朝日川崎五型南京飛行ヲ終リ本日上海ヨリ大坂ヘ一氣ニ帰ル

北西ノ風強ク東日機明日ニ延期

鈴木上京 局奨励金、ヤ検査ノコトヲ調べ讀賣ニヨラセル

信太郎昨日迄体格検査デ之レニ合格 萬歳ト昨夜電報ヲヨコシタ 今日カラ學科試験  
ハタシテドウカ 萬歳ハ少シ早カッタ

▲▼90ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月26日(火)

天気 晴

奈良原氏ト上京 局ニ行キ先ヅ競技会ニツキ洲崎ガ参加シナイ場合ノ監理課長ノ意  
見ヲ聞ク 賞金ハ勿論出ストノコト 協会へ行キノコデモ右ノ諒解ヲ得 木暮氏來。洲崎  
組ノ連中ヲ調べタガ結局今日ハ田中ダケニシカ会エズ

七宝ニ行キ夕食 田中八時頃來 十一時過ぎ迄話シ且ツノム 結局大會ノ帰リニ東京  
市ノ上空ヲ市ノ爲メ洲崎組ノ爲メ飛行シテ呉レルナラ話シガツコウトノコト。ソレナラ  
何ントカ出來ルト、コニ話シハ出來タガ他ガ應ジルカドーウカ

▲▼91ページ▲▼ 昭和10(1935)年3月27日(水)

天気 晴

昨夜ノミ過ギデ朝遅クオキル

オハマガ五年間病氣ヲシナイノデ保健課カラ今日表奨(ママ)サレルノデ休ム 鈴木行ク

時間中ツヒニ帰ラズ  
信太郎仙台ヨリ帰ル ヤ、出來タラシイ話シデアルガサテドウカシラ  
宮島へ写真送ル

◆▼92ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月28日(木)

天気 曇後雨

奈良原氏來 青木川辺君ヲ呼ブ 鈴木加藤不在 昨日迄ノ経過報告アリ 一昨日夜  
迄ハヤ、良好ナ経過ヲタドツテ居タガ昨夜洲崎組四名ト会见 何ニモカモ又メチ  
ヤ、ニナツテ物分レシタ由

晝食後上京 奈良原氏ハスグ帝防へ 自分ハ途中買物ヲナシ局ニヨル ダレモ居ラズ 駒  
林氏弟サンノ葬式トノコトニ香奠ハ持タナカッタガ、タクシーヲ飛バシ会葬ス。三時帝防  
ニ行ク。帝防ノ更生策協議アリ 五時十分頃終ツテ東日ニヨル 金明日ニシテ呉レトノコ  
ト 今迄ニナイコトデアッタ 飛行館ニ行ク 奈良原木暮君ノ常任理事辞退アッタガ競  
技会終了迄待ツコトトシ役員其他ヲ取キメル 八時半ヨリ記者クラブニテ二三記者ト  
会见 今迄ノ状況ヲ話ス 結局石尾君ガ中ニ立チ此際復帰ト云フコトデナク、オトナシ  
ク退会ト云フ位ニシ、止ムヲ得ザル爲メ不参加ヲ局へ手紙ヲ出サセルコトニナル 明日二  
時迄ニ返事スルトノコトデー一任シテ十一時散会

◆▼93ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月29日(金)

天気 晴

終日在所 今日ハ奈良原氏ガ上京サレタノデ自分ハ宅ニ居ル 一五ノ改造方針ヲキメ  
辻本氏ニ聞ク 其マ、借用方懇願ノ願書ヲ書ク

◆▼94ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月30日(土)

天気 雨

夕方ヨリ審査員会アリ少シ早く出テ東日ト報知ニヨル 朝日ニヨロウト思ツタガ一日ハ  
タシテヤレルノカ、ハッキリシナイデ協会ニ行ク 警視廳ノ許可書出タ由。昨日洲崎ノ  
連中四名局へ呼バレ局長カラシカラレタトノコト 石尾君ノ予定通りニ行ツタ由  
審査方法ノ取キメヲ終リ十一時頃帰宅

◆▼95ページ◆▼ 昭和10(1935)年3月31日(日)

天気 雨雪

雨ノ中ヲ上京 東京駅前デ買物シテ浅川先生ヲ自宅ニ訪問 移轉シタアトデ丁度郵便屋ガヨク知ツテ居テ移轉先キニ行キ会見ヲ申込ンダガ風デ引籠ツテ居ルカラ本人ノ名ト受験番号ヲ書イテ居テ呉レトノコトニ名刺ニ書イテ土産物ヲ居イテ出ル 思ヒガケナク有望ニ感ジタノデ此勢ヒデ辻本氏ヲ訪問ス 此頃ヨリ雨ニ雪マヅル  
サンザン、サガシタガツヒニ分ラズ 七時羽田ノ小川君ニツク 大須面白カラズ 明日ハ延期ノ外アルマイ

◆◆96ページ◆◆ 4月

厚木中グライダー セコンダリー 完成

◆◆97ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月1日(月)

天気晴

朝マダアヤシカッタガ飛行場ニ行クトダン、ヨクナル

イヨ、ヤルコトニキメタノガ七時半頃 ソレカラ準備ニカ、ツタノデ少シオクレタ 八時半ヨリ競技開始 予定通ニ進行シテ五時頃全部終了 無事故カツ好成绩デアッタ 直チニ審査ヲナス 発表ハ明日午前中トシテ小川屋ニ引上ゲ審査員ノ慰労会ヲ開キ十一時頃散会ス

鈴木明日一二貸スコトニス ヤット重荷ガオリタガクラブハ黒沢ガ野外ノ二等ニナツタダケデアトハ全滅 最モアンリオハ発動機悪ルク高川ガ漸ク野外ヲヤツタダケデ其他ハ全部棄権 賞ハ帝国ノ飛行機ヲ借りタノダカラ、クラブハ何ニモナラナイ訳。埴山ノ江戸川不時着ハシユウタイ

◆◆98ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月2日(火)

天気晴

電話ヲ駒林氏ト検査ノ

賞品授與式ノ爲メ上京 局ニヨル 駒林氏ト一五検査ニツキ協議 パイピングノコト辻本氏ニ聞合セテ返スルトノコトニ協会へ行ク。

局課長出席 式後茶會ヲ催シ打トケテ種話シガ出タ 木暮君ガ非常ニ嬉シデ大分メートルヲ上ゲテ居タ。田中館博士、丸山代議士モ出席 盛会デアッタ 新聞屋ガ一人モ來ナカッタ

◆◆99ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月3日(水)

天気 晴

沢柳君ノ結婚式ノ爲メ夕方ヨリ上京 東日ニヨル 羽太氏汽車ニ乗レズ今夜立ツ由デアッタガ會エナカッタ 大蔵ニ會フ  
五時万平ホテルニ行ク 早大ノ伊原教授、野村男 沢柳猛郎三人シカ知ツタ人が居ナカッタ

▲▼100ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月4日(木)

天気 晴曇リ

朝局へ電話シテ今日検査ヲ受ケルコトニナル  
竹内君広島ヨリ來テ居ルトノコト

三時頃木目田斎藤氏來 四時二十分ヨリ飛行 一時間 竹内君同乗ス 検査漸ク終了

日本サンソへ圧縮空気ヲ注文ス

恵美子千葉高女本日入學 本ガ相當多カッタ 靴ガ二足 傘迄買ツテ來テ二十五円一寸カケタ 一ノ組ノ級長ニナツタトノコト

▲▼101ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月5日(金)

天気 雨

大雨デアッタ

奈良原氏來 十円入用トノコトデアッタガクラブデ漸ク五円出來ル。今村父來ルトテ金入用トノコトデアッタガドウニモナラズ宗里デ五円余程取ルモノアリ今村ニヤル  
竹内君來 追加ニツイテ種々話シアリ 結局計器ヤハントマグネトーハ品物ヲ返シテ貰フコト ガラズダケマケルコト 操縦器改造費ニハタシクヲ貰フコトニ話シキメル  
今朝局へ電話スル 辻本氏帰局シテ居テパイピングハ其マ、デヨイコトトナル 空気罐取付タラ証明書出ストノコト

東日羽太氏ヨリ電話ニテ、トイフェルヲ今月中ニ作ツテ呉レトノコト

▲▼102ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月6日(土)

天気 雨

満州国皇帝陛下御入京

トイフェルノ見積リヲナス 材料二百八十円 工賃二百五十円 計五百三十円余 五割デ八百円 三割デ七百円ニナル 両方見セタ上デ決定スルコトトス

竹内君局へ出頭 登録申請書提出

奈良原氏ヨリ電話アリ 午後五円持タセテヤル  
九〇トイス。パノ四百五十デ式百円デ猪又ニヤル三百円ノ内へ入レル 後チ五十円借り

夕方羽太氏ヨリ電話ニテ明日カ明後日大坂へ一台式百五十円カ三百円デ行く飛行機  
ナイカトノコトデ平松君ニ交渉スル旨返事ス アトデ野呂君ガヨイト思ッテ信太郎ノ手  
紙持タセテヤル 行クトノコトデアッタ

▲▼103ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月7日(日)

天気 曇後晴

竹内、國粹ノ安井氏來。尚久シ振りニ高橋英治君來 右二川辺ヲ加エテ晝食ヲ共ニス  
三時頃ヨリ上京 東日ニ羽太氏ト會見 トイフェル相談ノ上見積書六百九十五円ニテ  
提出。野呂君ノ方八明日式百五十円トキメ新興キネマノ方ハ三百円トシ事業部へ五十  
円提供ス 六時帰宅

▲▼104ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月8日(月)

天気 曇リ

局へ検査ノ日取りキメニ寄ル 御原氏ト會フ 飛行館ニ帰り會食シテ、クラブニ対スル御  
原氏ノ意見ヲ聞ク

協会賞金ト参加手當ヲ分配シ帰途東日ニヨル  
五時過ギニナツタノデ金又アスニナル  
買物ヲシテ帰宅

▲▼105ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月9日(火)

天気 曇リ

作業見ル爲メ上京ヲ中止シ鈴木ヲヤル  
夜オソク迄待ツタガツヒニ來ラズ  
セコンダリー圖面局へ持参ス

▲▼106ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月10日(水)

天気 雨

終日雨

所沢ノ拂下鈴木ヲヤル

工場作業六カドラズ 今村太田休 発動機部六一五ニホトンド手ヲ取ラレル  
昨日東日ヨリ借りタ式百円ナクナツテ材料マダトレズ工場員ニモヤレズホト、困ル 恵  
美ノ金來テモ誠ニ少々 如何トモナラズ

▲▼107ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月11日(木)

天気 曇リ小雨

夕方ヨリ上京 佐藤ニヨリ飛行館ニ行ク  
來会者少ナク木暮、川辺、奈良原、自分ノ四名 何事モキメラレス次回十八日ニ通知  
ヲ出スコトニシテ散会 尚記者クラブヲ招待スルコトヲキメ申込ム  
所沢拂下引取り

▲▼108ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月12日(金)

天気 雨

午後ヨリ漸ク上ル  
奈良原氏來 明日警視廳へ行ツテ貫ヒタイトノコトデアツタガ検査ガアルノデ氏ニ御願  
ヒス

流山ヨリ來 明後日ノ飛行ヲ頼ミニ來ル  
今日ハグライダーノ翼カーブヲ書イテヤル  
信太郎東京高等工学校へ申込ミニヤル 帰ツテ來テ學校ヲ見テイヤニナツタトノコトデ  
アツタガ學校ヤ資格ナドニトラワレナイデ実用ニナリサエスレバヨイカラ氣ヲクサラセナ  
イ様ニ云ヒ聞カセル  
竹内君ノ一五拡張試験 山田航空官來場

▲▼109ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月13日(土)

天気 晴

木目田齋藤両氏來 クラブアンリオ 作業六一〇号サル完成 川辺アンリオ内部検査  
ヲ終ル 作業ノサル グライダー内部出來ズ  
終日セコンダリーノ翼カーブヲ書ク  
今村本日ヨリ出勤

▲▼110ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月14日(日)

天気 晴

上天気 一五出發ニ際シ皆出テ來タガ、ガソリン代其デ百円ヨリ持參セズ、皆帰ツテ、シマツタリシテ話マトマラズ 内ニ通信省經理局ノ上桐氏(恵美氏ノ妻君ノ弟)來場 同氏ガガソリン代ヲ今日中ニ支拂フコト 殘金五百七十余ノ内補助金ヲカリニ四百円出ルトシテアト百七十余ハ飛行機到着次第明日中ニモ送金セシムルコト 金ハ上桐氏宅ヘ送金 同氏ハ貰ヒニ行クコトトノ話シニテ決定 晝頃トナリ引出シ一時十分出發ス。水浅ク離水ニ困難ス。夜四時四十分新舞子ヘアストラ故障ノ爲メ不時着ストノ入電アリ。遺憾(ママ)ノ意ヲ表シ尚イサイ知ラサレタシト返電ス。百円ノ金ニ五円足シテ全員二分ケル金ハ頭ヲナヤマシタ

◆◆111ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月15日(月)

天気 雨

十時半藏前工業會館ニ高見氏ト會ヒ共ニ局ニ行キ森航空官ニ會ヒ金州飛行場ノ書類ヲ提出 飛行場トシテ考慮ヲ乞フ 森氏個人トシテ関東廳ヘ照介(ママ)シテ見ルトノコトデアッタ。帰りニ佐藤デ買物ヲス 尚久シ振りニ主人ニ會ヒタノデクラブ理事トシテノ承認ヲ求メ快諾ヲ得 次回出席ヲ得ルコトトス 意外ニオラレ四時ノ自動車デ帰宅ス

◆◆112ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月16日(火)

天気 曇少雨

今日ハセコンダリー胴体現圖ヲ書ク

竹内君ヨリ手紙來 中ニアストラノ皮ノサケタノガ這入ツテ居タ 佐藤休ンデ居タノデ見セラレナカッタガ取替ナイ前ノ方ガハルカニヨイ品デアッタ

夜業八時迄

齋藤ノ父來 貳百円這入ル 内九十円工場ヘクラブヨリ入レル 之レデ貳三支拂ヒヲナスコトヲ得

◆◆113ページ◆◆ 昭和10(1935)年4月17日(水)

天気 雨

セコンダリー胴体現圖畫キ終リ後チ所要ボールトヲ調べル

安岡ニ一五委任状デ金作ル方法ヲ相談 齋藤ヘトノコトハ自分ノ考ヘト同ジデアッタガ廿五日迄ニ間ニ合ヒ兼ネルノデ極力クラブノ練習費ヲ集メルコトトシ其上山形へ行ツテ齋藤ヘ話シスルコトトス

今夜カラ夜業一名増シテ九時迄ヤルコトニス

猪股ヨリ四十円入。イスパノシンダリー式ケツヒニヤルコトニス ソレデモ尚十円不足ナ

ニカ出シテヤルコトトス 之レデ電話料ト徳次ノ月謝ヲ作ル

▲▼114ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月18日(木)

天気晴

午後八雨デアッタガ日本晴レ 夜迄ヨイ月デアッタ

午前中グライダーノボルト調査ヲヤラセ検査官ヲ待ツタガ來ラズ 一時ノ自動車ニテ上京 局ニ行キアンリオノ堪航証ヲ貰フ。行き違ヒニ駒林氏津田沼へ行ツタトノコトデアッタ 佐藤ニヨリ東日ニヨル 箱根ノ格納庫ノ設設(マモ)ヲタノマレル 五時十分前飛行館ニ行ク 二三分デ木暮君來 アトオソクナル 高橋、鈴木、青木、奈良原、大野、加藤、相羽、梶原ノ順ニ來 結局理事再撰トナル 自分ダケ止メルコトヲ主張シタガ入レラレス

江戸川飛行場今日カラ同乗会ヲヤル 十七八人乗ツタ由

▲▼115ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月19日(金)

天気晴

十一時頃ヨリ江戸川ニ行ク 警官ノ同乗飛行多シ 其内尾樫柱折レUDヲ取りニ行クコトニシ自分ハ警視廳ニ急行 UDノ追加願書ヲ出ス。日日ニヨリ式百円貰フ

クラブ会合出席者少ナカッタ。奈良原、自分、清平、安満、衣笠ノ諸氏 散会后山崎氏來 銀坐ノ千鳥屋ニ行キ十一時過頃迄話シス。昨夜一時半頃目ガ醒メテカラ眠レズ 今日ハ終日眠ク変デアッタ

▲▼116ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月20日(土)

天気晴

終日在所

猿田銚子ヨリ電話アリ見ニ來テ呉レトノコトデアッタガ駒林氏ノ意見デ胴体モ使用出來ナイカラ相談シタイニ対シ今日帰リニ見ルトノコトデアッタガツヒニ來ラズ

鈴木午後ヨリ一五ノ残金取りニ上桐氏ヘヤル 一昨日無事到着シテ居ルノダカラ一時居イテ今日ハヨイ筈デアッタ

木暮君ニ電話デハンザー三百円デ約束ス 少シ買ヒカブツタカト思ツタガ發動機ハ別ニシテ呉レトノコトデアッタ。

藤原ヨリ手紙ニテ猿田ノ金還シテ貰ツテ呉レトノコトデアッタ

安岡昨日クラブノ会合ニ行ク爲メ正午出タマ、ツヒニ帰ラズ不明。埴山行衛不明 心配シテ手配中午後若松ヨリ許可シタト入電アリ

今井仁小名浜へノ野外飛行、帰りガ遅イノデ心配シタガ、ガソリン不足デ霞ヶ浦ニ降  
リタトノコトデアッタ

▲▼117ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月21日(日)

天気 晴風

朝静カデアッタガ晝前カラ烈風トナル

木工部作業ヲナス

江戸川本日ヲ以テ打限りノ處風ノ爲メ飛行六回ノミ 明日午前中ニテ終ルコトトス。  
夕方作業会社ニ行クト江戸川へ見ニ行キタイトノコトニ同道ス

若松ヨリ明日出發出來ルカト答合セアリ 安岡今日モ帰ラザリシモ右來旨返事ス。

下志津ノ下士二名來 ビールヲ出ス

縣君谷津へ飛行ス ツヒデニ江戸川ト流山へ飛ンデ貫フ

▲▼118ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月22日(月)

天気 晴

十時頃ヨリ江戸川ニ行ク 晝食後風出ル 河川内へヨシツ張りノ仮格納庫ヲ作ル位置  
ヲキメタイトテ、サガス

一時ヨリ上京 奈良原氏今夜若松へ出發シテ貰フコト 金帝防ヨリ五十円貰ツテ、オバ  
ーヲ御買ヒニナル様進メル 航空局ニヨリ日日ニ羽太氏ト會ヒ格納庫(函根)予定圖ヲ  
提出。蔵前會館ニテ高見氏ト會見 金州ヨリ返送シテ來タ書類ヲ更ニ返送スルコトニキ  
メル

五時過ギ東京飛行クラブニ行ク 田中教、小川太、山本、木村、瓦斯電ノ川口氏ノ試  
作機ノ話シアリ。スパン廿八米 航續七十五時間 一万三千七キロヲ飛ビ得ル由 委  
シク計算シタノヲ控エル。アク适性能本意ノモノデアラシイ 第一柱ノ由  
九時過ギ散會

▲▼119ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月23日(火)

天気 晴

終日在所 セコンダリーヲ急ガセル

明日検査官來ル由

▲▼120ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月24日(水)

天気 晴

今日検査日ノ處明日ニ延期トナル 丁度都合ヨクッタ セコンダリー機ハカドラズ 自分モ夜九時迄手傳フ  
信太郎入學明日ニ迫ツタノデ猪又ニ話シ現金デ返ス約束ニテ七十円借り五十円ヲ信太郎ノ月謝ト本代ニ 二十円ヲ佐藤ノ買物ニ上京サセル。帰ツテノ話シニ本代ハ半分シカ足りナクッタ由 然シアトハ今月中デヨイトノコト 昨日入學式デ今日カラ授業ガ初マツテ居タトノコト

▲▼121ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月25日(木)

天気 晴

正午南波辻本両氏來場 グライダーセコンダリート、サル發動機内田奈良原分 内田通ル 奈良原分シヤフト交換セシシヤフトピンストンノバランス不揃ヒノ爲メ次回ニソレダケ見ルトノコト  
佐藤今日モ休ム  
セコンダリー中々ハカドラズ 今村中島ナドノヤツテ居ルコトガモドカシク問題ニナラナイ 主翼ダケ終リ尾翼等ハ型ニナツテ居ナクッタノデ次回トノコト  
羽太氏來 一寸見テスグ帰ル 一日發送ノコト 検査間ニ合ワネバ大坂デ受ケルコトニ打合せス

▲▼122ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月26日(金)

天気 晴

作業ヲ急ガセル 今日ハカラダガクタク、ニクタブレタ  
夕方羽太氏ヨリ發会式十二日ニ延ビタカラトノコトニ夜來テ八時ニテ終ル

▲▼123ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月27日(土)

天気 晴

恵美へ金電送方打電サセタガ返ナシ  
猪又昨日又サル式台分出シタガ三十円ばかり半分返ス予定ニシタガ皆取ツテモ清算シタラ式百廿円借りテル外二八円余シカ取り分ガナクッタ  
安岡ヨリ夕方福島へ無事着イタトノ入電アリ 金ハダメラシ  
辻本氏午後來 支柱一本ダケシカ通ラズ 方向舵ノ主桁モ取替エテ呉レ尾翼ノ支柱モト皆ダメ 主翼ノ支柱ハパイプノ方ガヨイトノコト。ソレハ自分モソウ思フ

▲▼124ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月28日(日)

天気 晴

宗里ノ一週忌二十一時行ク  
帰りニ作業ニヨリ四時帰宅

山崎君ガ來テ居タ 夕食ヲ共ニシ八時頃帰ル

▲▼125ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月29日(月)

天気 雨

天長節 午後カラ雨トナル

奈良原氏來 昨朝若松カラ帰ツタ由 福島ニモ寄ツテ來タトノコトデアッタ 晝食ヲ共ニス

朝玉宮サンヘグライダー注文方依頼ス

▲▼126ページ▲▼ 昭和10(1935)年4月30日(火)

天気 曇後晴

風強シ 安岡アンリオツヒニ帰ラズ

今日晦日ダガ五錢ノ金モナク鈴木伊作業ニテ旅費ヲ都合サセテ平松、上桐、帝防ヘヤル

鈴木菊ヲ呼び五十円貸ス様話シタガ出來ズ

▲▼127ページ▲▼ 5月

グライダー注文取りニ努力スルコト

▲▼128ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月1日(水)

天気 晴

風強シ 後ヤ、ヨクナリ久シ振リデ練習アリ

安岡天候悪シク明朝帰ルト入電アリ

鈴木昨日帝防ニテ十円 平松ニテ十円受取りタル由

信太郎本買エズ旅費ダケ持ツテ登校セシム 電話料納金セシムル予定ノ處朝電話ヲカケルトスデニ停止シテ居テ交換手出ストノコト。シヤクニサワッタノデ納金ヲ中止シ五

円ヲ黒沢ニ旅費トシテ神崎ニ出張セシメ今村妹病氣デ上京スルトノコト二十円渡ス  
工場懇話会ニテ佐藤ノ十年勤続表章(ママ)アリ五十銭旅費渡ス 鈴木作業ト懇話会ニ  
出席セシム 作業ニテ朝五円受取り今村持ツテ行ツタトノコト 帰リ二十円貰ツテ來ル  
保俣(ママ)署モ來タガ、電話ガ止ツテ居ル位デハト思ツタガアキラメテ帰ル  
齋藤文人ナル人來 後藤勇吉トフライイングボートデ來リヒックリ返ツタ時ニ同乗シタ  
畫家デアツタ

◆▼129ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月2日(木)

天気晴

奈良原氏來 同道シテ上京 帝防ニテ江戸川同乗会ノ残金受取り全額ノ領収書ヲ出  
ス。清水氏和泉氏井門氏奈良原氏同乗 品川駅ニテ山崎氏ト會ヒタクシーニテ羽田ノ  
朝日格納庫ニ至リ、ソアラヲ見學ス 中々ヨク出來テ居タ。日本飛行學校へ寄ツタガ  
木暮君不在 山崎氏ト日日ニ寄ル 羽太氏不在 塩瀬ニテ茶ヲノミ山崎氏ノ用件ヲ聞  
キ、コーケンエナメルト釘ヲ買ツテ帰宅 五時半

鈴木菊へ話シタ五十円ニテ、ベニヤ板ト米ヲ支拂ヒアトノ二十円ヲ鈴木ト佐藤デ分ケテ  
居タ、電話ノ金支拂フ 今夜オキンガ電話ヲ懸ケテ來ル事ニナツテ居ル爲メ  
角等九時迄夜業

◆▼130ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月3日(金)

天気晴

高見氏へ金送ル處デナイノデ申訳ノ手紙ト同時ニ金州飛行場處置ニ関スル返書ヲ同付  
シタ處へ同氏ヨリ電話アリ。明日ノ競賣ニ今日中ニ手配セネバナライノデ二十円最  
(ママ)非作ツテ呉レトノコト 昨日電話ガ漸ク支拂タバカリデ今日ハ銀行ノ五十円デド  
ウシヨウカト心配シテ居ル矢先ナノデトモ出來ナイトコトワツタガ最(ママ)非上京シ  
テ呉レトノコトニ、作業会社へ話シタガ之レ又一文モ出來ズ 止ムナク日本飛行學校行  
ニ木暮君ヲ訪問。プロペラ内金トシテ五十円受取り高見氏二十五円渡ス

羽田デ羽太氏ニ會ヒ社ニ同道ス 和田氏ニ會フ 大坂行旅費現金支給ノコト 山崎君  
行クコトヲキメル  
グライダーノゴムヲ買フノデ骨ヲ折ツタ

◆▼131ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月4日(土)

天気晴

午後奈良原氏來場 神崎ヨリ町長其他二名來 黒沢同道縣廳へ神崎着陸許可ノ件ニ

ツキ行ク

羽太、和田両氏來場 奈良原氏モ共三田浜へ夕食ニ行ク 十一時迄ノム 羽太氏ヨリ  
一三式整備不良トノコト大坂ヨリ知ラセアリタル由 ドウモ脚ガ三寸モ違ツテ居タリ  
翼ノ入射角ハ左右正反對ニナツテ居タトノコト。ソシテ飛ベル訳ガナイ 然シソウモ  
云エナイノデ謝意ヲ表シテ居ク

作業へ金取リニヤツタ處呉レズ 鈴木ト加藤ト、ケンカシタトノコトデアッタ。少シズルイ  
様ダ

十二時頃帰宅 マダ夜業ヲヤツテ居タ

▲▼132ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月5日(日)

天気晴

八時前迄寢ル 昨夜少シノミ過ギタ

グライダーノ方作業夜業モナス 支柱ニ全カヲソ、グ

今日モ又金ニ苦シム 毎日々々之レデハヤリキレナイ

▲▼133ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月6日(月)

天気晴

グライダー作業ニ全カヲソ、グ ツヒニ徹夜ス

奈良原氏終日來場

▲▼134ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月7日(火)

天気 曇リ後晴

グライダー完成検査ヲ受ケルコトニナル 船橋準備悪ルク試験出來ナカッタ由 坂本

齋藤両氏來場

厚木中學ヨリ校長外一名 帝防ヨリ清水、和泉、其他大勢

厚中ノヲ先キニ セコンダリーヲアトニヤル ヤハリセコンダリーハ、サスガニヨク延ビル

帝防ヨリ清酒一樽ヲ貰ヒ皆ニ出ス

羽太氏來 十二日ノ照(ママ)待状ト旅費金五十円ヲ貰ツタ 奈良原山崎氏ノモ預ル

食後床ニ入り恵美子ニスコンアンマヲサセスグ眠ニ入ル

▲▼135ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月8日(水)

天気 晴雨風出ル

グライダー発送荷造り總ガ、リニテヤル  
十一時半ヨリ上京 局へグライダー二台ノ登録申請ヲナス 井上氏ト拂下打合セ。日  
日ニ行キ殘金受取り各務ケ原拂下委任ヲ受ケ金預ル 帝防ノガソリン三十罐買ツテ貫  
ツタ代九十四円五十錢モ受取り帝防へ持参ス 百円札ニテ渡シツリハ明日貫フコト 和  
泉氏不在ノ爲メ拂下代金明日午後四時行クコトニス  
佐々木泰助ニ會ヒニ行ク 中田モ居タ 握木飛行結局百円デ機体ヲ貸スコト 行キノガ  
ソリンダケ持ツ 其他滞在費ガソリン代安岡手當一切向フ持チ 尚一日三回以上飛  
行シタル場合ハ割増ヲ出スコトニシ代ハキメズ  
八時ノ自動車ニテ帰宅 ムネガ悪クメシガ喰エナカッタ

◆▼136ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月9日(木)

天気晴

鈴木今村ニ万事不在中ノ事ヲ申フクメ晝食後上京 局ニヨル 堪航書津田沼へ送ツタト  
ノコト 夜信太郎ニ會ツタ時明日東日へ持参 原稿便ニテ送ルコトニ手續キヲ取ル 東日  
ニテ明日拂下ノ委任状ヲ受取り、帝防ニ寄ル 三百五十円ノ予定ノ處三百円ダケシカ  
出來ナイトテ五十円少ナク其上ガソリン代ノツリ錢五円五十錢モ貸シテ居イテ呉レト  
ノコトニ旅費ニ大ニサシツカエタガ止ムヲ得ズ。市役所へ地図二枚提出 飛行館ニ行キク  
ラブノ會合ニ出ル 出席者少ナク、次回競技準備委員ノ顔振(ママ)レダケ原案ヲ作り  
外ニ自分ヨリ鉄道省ノ計畫ヲ機會ニ純民間出身者ノ就職運動ヲヤルコトヲ提案ス  
山崎清水君ニ會フ 猿田氏ニ會フ 相原ノハンサー 猿田直接買ヒ取りヨコストノコトデア  
ツタ

信太郎來 清平ニ會ワレナカッタ ツヒニ來ラズ  
竹中大坂へ同道ス 十一時二十分ニ乗ル 加藤直介氏同行

◆▼137ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月10日(金)

天気晴

八時半ギフ着 直チニ支部ニ到ル 全部ノ手續キヲ終了シタノガ十二時半 一時ノ電  
車ニ乗りオクレニ時ニテ出發ス  
拂下代金八七三八 イ式四五〇 三六ヅ、二台 同。ペラ五円デ二本 計百十八円也  
東日ノ分イ式三〇〇 三〇円 四五〇 三六 計六六円支拂フ 運送店へマカセル  
三時十二分ギフ發ニノル 加藤氏京都ニ下車 七時半大坂着 竹中ヲ宅迄オクリ帰宅。  
新世界ヨリ姉トキヌ來 色々家庭ノ話アリ 後新世界ニ行キ帰宅 十一時床ニ入ル

◆▼138ページ◆▼ 昭和10(1935)年5月11日(土)

天気 晴

午前中新世界ニ居リ晝食ヲ鯛ノスキデ馳走ニナル 丁度魚島時デヨカッタ  
食後大毎ニ行ク 奈良原氏モ二時頃來ラレル  
グライダー一時半ニツカズ夜七時ニ着ク予定 夕方奈良原氏同道新世界へ帰り、何年  
振りカデ温泉ニ行ク 今夜八男ト共ニ新世界ニ泊ル 食後万歳ヲ聞キニ行ク

▲▼139ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月12日(日)

天気 曇リ少雨

昨日ノ予報ガ面白クナカッタガドウヤラ飛行後少雨ダケデヨカッタ  
六時半出テ榎津飛行場ニ行ク 七時半グライダー飛行場ニ着 八時半山崎清水君來  
組立ニ着手 十時過ギヨリ二回試飛行シテ居ル内時刻オクレ十一時四十五分聯盟結  
成式場ニツク スデニ終リニ近カッタ。晝食後再ビ飛行場ニ行キ各機ノ飛行アリテ三時  
頃終ル 一度帰宅 清水君同道夕食後大毎ニ行キ、講演ト映畫ヲ見テ十一時過ギ帰  
宅 十二時就眠  
來坂ノ主目的終ル

▲▼140ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月13日(月)

天気 曇リ晴

朝先生ト動物園ヲ見テ生駒ニ行ク アマリヨクハナイガソアリングノ出發ダケハ出來ル  
場所ヲ見テ帰ル 大毎ニ行ク セコンダリー名古屋送り急グトノコトニ三時デアッタガス  
グ分解ニ行ク 竹中來 一時間半デスツカリ出來運送屋ニ引渡ス。自動車待タセテ居  
イタノデ其處カラスグ南浦園ニ行ク。マダ誰レモ來テ居ナカッタガ間モナク張、大蔵、  
中トダンダン來テ福知氏戸川氏來 坂東氏ハ明日海軍大臣ガ來ルノデ差支ガ出來テ  
來ラレナカッタガ話シガ、ハヅミ十一時過ギ漸ク散會。大蔵宅ニ行キ先生ト共ニ泊ル

▲▼141ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月14日(火)

天気 曇リ

大蔵宅ヨリ井上事務所ニ行キ十時張君ノ操縦デ木津川発 十一時過ギ白浜着 湯淺  
カラ先キワザト低空ヲヤツテ呉レタノデ非常ニヨカッタ。千疊敷ト云フノヲ見テ温泉ホ  
テルニ行キ入浴 何年振りカデノビ、ト湯ニツカリ晝食ニカ、ル 中々御馳走デ四時過  
迄ノム。四郎平君ノ妻君ガ万事ヤツテ呉レタ 五時四良平君宅ニ行キ少シ横ニナリ後  
千夜又フランス料理ニ行ク 十二時帰宅就眠

▲▼142ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月15日(水)

天気 曇り雨後晴

六時起床 八時朝食後元志ノ案内デ臨海研究所ヲ見テ帰り晝食後帰途ニツク。一雨アツタガ出発ノ頃ヨリ青空トナル  
一時五十分白浜発 和歌山ニテ乗替エ五時半帰宅 後大毎ニ行キ羽太、福知、和田君ニ會ヒ今後ノ事ヲ打合セル ソアラ来年ノコトニシタイトノコト プライマリー三機作ルコト、決定。箱根練習ノコト、指導者練習ノコト、用語統一ノコトヲタノム 竹中宅ニヨリ井上へ使ツテ貰ヒタイトノコトニ同道シテ井上ニタノミ奈良原氏ヲ道頓堀附近ノ見物ヲシテ帰宅 明朝七時出発トキメル

▲▼143ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月16日(木)

天気 晴

加藤道助氏ヨリ電話アリ 共ニ六時五十分ニ乗ルコトニナリ梅田駅ニ到ル 急行券賣リ切レテナク次ギノ八時発サクラニ乗ル 名古屋十一時着 東日支局へ行キ持田氏、西野、矢下氏ニ會フ 來月二日名古屋ニテ発會式ヲヤル由。ソレヨリワンダーホーゲルノ展覽会ニ行キ今朝組立タト云フセコンダリーヲ見テ、マダ時間ガアツタノデ名古屋城外廓ヲ見物シ駅ニ行ク 一時十六分発ツバメニ間ニ合フ。静岡ニテ加藤氏再ビ同車ス 七時四十五分東京着 九時五分前帰宅。信太郎徳次仁三郎三人デ停留所迄迎ヘニ行ツテ居ルトノコト 船橋カラ自動車デ來タノデ行違ニナツタ 十一時就寝

▲▼144ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月17日(金)

天気 晴

クタブレガ出タカ起キニクカッタ 八時頃起床  
鈴木ヨリ不在中ノ報告ヲ聞ク  
奈良原氏來 川辺君不在。東京へ行カレル 中々元氣ニ驚ク  
正憲母來 丁度協会カラ前回同様金ヲダスカラ願書ヲ出セトノコトデアッタノデ書類ヲ作り持ツテ帰ラセル  
九二式機体中々ヨカッタ。八七マダツカズ電報デ照介(ママ)ス 昨日發送 十九日到着ノ由

▲▼145ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月18日(土)

天気 曇後雨

上京 局へ寄り九二飯沼ガホシガルトノコトデアッタガ事ワル 課長ニモ其旨話スアト  
一台アルノヲ飯沼ニヤレトハ井上氏ノ話シ。民間専用ニ飛行場ヲ作ルトノコト話シモア  
ツタノデ課長ニ津田沼埋立計畫書ノアルコトヲ話ス 最(ママ)非見セテ呉レトノコトデア  
ツタ

東日ニ行キ羽太氏ニグライダー内金ノコトヲ話シカケタガマダ一台ダケハ確定シテ居ル  
ガアトノ式台ハソゴ道行ツテ居ラナイトノコトニイツレ決定ハスルガトノコトニ金ノコト云  
ワズニ帰ル。帝防ニヨラス奈良原氏ニヨリ拂下代金ノ件ヲ打合セテ帰ル 氏ハ栃木へ講演  
ニ行ク

夜清平來

▲▼146ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月19日(日)

天気 曇晴

清平活動写真機ヲ持ツテ來タノデ江戸川ニ行キ現場ヲ写ス アシハ大分長クナツテ居  
タ 青田ノ中ヲドライブシテ帰宅 後清平ノ將來ニツキ大坂ノ希望ヲ話ス 安月給取  
リデ居ルコトヤルコトハ考ヘテナライラシイ。信太郎ガ機体ヲヤリ自分デ發動機ヲヤリ  
タク工場ヲ大資本化シテハドウカト云ツテ居タ 自分ノ意見モ話シテ居ク

▲▼147ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月20日(月)

天気 雨

金ナク終日在所 午後ニナルト非常ニツカレテイケナイ 清平早朝帰ヘス  
奈良原氏ヨリ電話アリ 運賃明日夕方ニハ出來ルトノコト  
八時床ニツクトスグ眠ル  
ハイガヒドイノデ今日カラカヤツル

▲▼148ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月21日(火)

天気 晴雨

午後ヒドイ大雨アリ 雷ヲトモナウ  
奈良原氏今日見エルダロウト思ツタガ見エナカッタ  
プライマリーノ材料調査ヲナシ檜材ノ見積ヲ取ル  
津田沼海岸埋立仕様書写シ終ル 明日局へ持参ノ予定  
今日ノ新聞ニモ明年度以後ノ予算計畫ガ出テ居タ 兎三角飛行界多事トナルノデ、之  
ガ対策ヲ昨日カラ頭ヲハナレナイガマダヨイ考ヘガ出デナイ ソレニ第一ノ問題ハ金ダガ  
之レガ一寸困ル問題ダ

▲▼149ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月22日(水)

天気晴

八七引取ル 式百円現金渡 残り八卅一日附小切手ニテ清水君ノグライダー引取ル  
運賃六円同時ニ助手二名本日ヨリ本所員トシテ入所  
グライダー計算ヲナス プライマリーハ一台ニツイテ五十円位ヨリヌケズトテモモウケニ  
ハナラナイ

▲▼150ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月23日(木)

天気晴

朝カヲ八分間敷ク去フ タ方作業終ツカヲ漸ク八七到着ス 三時頃降シ終ル 式百  
円現金ヲ支拂ヒオート卅一日附小切手ヲ支拂イ

▲▼151ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月24日(金)

天気晴

伊セ崎ヨリノ送金來ラズ 待チキレズ上京  
東日ニヨリ飛行館ニ行ク グライダー奨励金受領書提出 厚木ノ分マダ書類ツカザル  
由

今夜ハ上原清平、山崎、高崎、衣笠、奈良原、渡辺ノ外ニ奈良原氏が帝防ノ清水仁、  
和泉、井門ノ外ニ清水録迄連レテ來タ。金ガナクテ今日ハ借リテ帰ル外ナイト思ツタガ  
和泉氏カラ十円貰ヒ上原氏ニ二円高崎氏一円呉レタノデ丁度廿二円支拂ヒ帰リノ旅  
費ダケ残ツタ

▲▼152ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月25日(土)

天気晴

晝前ヨリ松ノ手入レヲナシ食後終ル 大分サツパリト形モヨクナツタ  
東日羽太氏ヨリ電話アリ上京 四時社ニ行ク 検査ノ東方氏來 事業部長等会见  
六月九日ノ相(ママ)根飛行ノ件検査トシテハ余リ進マナカッタガ結局ヤルコトナリ、  
グライダー部員十式名(キリガ峯五名、東京七名)分ノ宿泊トバスヲ検査デ出スコト  
旅費ハ聯盟ト云フコトニキマル

朝日ノソアラ本日本日試飛行 ワツカニ四米ヨリ上ラズトノコト

黒沢八ノ戸へ飛行場見テ契約ニ行ク。伊セ崎ノ帰り埴山大宮附近ニ不時着 機体破損

ス 玉子號同乗飛行ヲ行フ 小林氏ヨリプライマリー一機注文ヲ受ク

▲▼153ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月26日(日)

天気 晴

奈良原、清水、外二名、高橋來

奈良原氏明日長崎へ出發ノ由

二時頃昨夜不時着ノアンリオ到着ス 大破シテ居タガペラガ助カツテ居タ 早朝飯田ヲ出張サセタ

▲▼154ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月27日(月)

天気 晴

鈴木上京 奨励金取りニヤル 七時頃帰ル 皆二分ケル 電燈会社へ拂フトアト四十二

円残り銀行ノ一口ダケモ入金出來ズ

上仲國ヨリ帰ル

▲▼155ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月28日(火)

天気 曇リ

終日無事過ギテ午後眠クナル

黒沢八ノ戸ヨリ帰ル

クラブ本日ヨリアンリオ整備ニ着手ス

昨日霞ヶ浦ニ不時着ノアンリオ十一時少シ前帰着ス

和子上仲ガ連レテ久シ振リデ船橋へ行ク 自動車ノ中デ寢タ爲メカムヅカッテツヒニ舞

ヲヤラズニ帰ツテ來タ

▲▼156ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月29日(水)

天気 曇リ雨

協会へ電話スル 厚中奨励金ニ対スル書類漸ク到着シタル由

午後ヨリ古イ硝子戸棚ヲ洗ツテ居ク

八七羽布ハガサナイツモリデアッタガ結局胴体ハハガサネバナライナイコトニナル

昨夜々中二八ノ戸ヨリアス金持ツテタツサルタノムトノ入電アリ 安岡、黒沢ト打合せヲナス

▲▼157ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月30日(木)

天気 晴

五時半起床 オジヤヲタベテ六時半出ル 八時六分ニ乗ル 荒川沖ニツイタガ井上居ラズ 次ギノ汽車迄軍需部前ニテ待ツ 晝前下見ヲ終リ荒川沖駅前ニテ入札高ヲ定メ晝食後ユツクリ一寝入りシテ二時十分ノ汽車デ帰ル 四時船橋着 第一二一寸ヨリ四時四十分ノ自動車ニテ帰ル

夕方奥山君來 奨励金八百八十余円出タカラ五百円ダケ取ツテアト皆呉レロトノコト 実ハ電話ガ抵當流レニナツテ今日ハツシニ來タトノコト 結果試験ノガソリン代ヲ奥山君ノ方デ持ツテ二百円返スコトヲ約ス

今日旅行中特ニ毎月一日位静養シテ必要ナル計畫ヲ立テ実行力ヲ養フコトヲ必要ト認ム

▲▼158ページ▲▼ 昭和10(1935)年5月31日(金)

天気 晴

鈴木ヲ入札ニ出張ツヒデ二局ノ奨励金ヲ督促サセル。協会千葉支部へ電話シタガ奨励金三日ニシテ呉レトノコト 不都合千万ナコトデアル

渡辺一英君來 広告料五十円ト分ツテ八居ルカ同人モ困ツテ居ルラシイノデダマツテ七十円渡ス。グライダーノ記事ヲ書イテ呉レルトノコトデ圖面ヲ渡シ原稿ハ山崎君ヨリ送ラセルコトニシ同氏へ電話スル

今日ハ不拂日トシテドコモ支拂出來ズ

鈴木又帰ラズ

作業カラ数回電話アリシモ鈴木帰ラズ 他(ママ)分金明日ノコトト思ワル

八ノ戸飛行ノ件昨日菅本來 二百円ノ内百円入金受取ツタトノコト アト貳百円今日送金シ來ルトノコト サルハ田端君四百円分行ク由 黒沢函館ヨリ反対アリ安岡出張サセルコトトス

▲▼159ページ▲▼ 6月

グライダー三台 八七、クラブサル完成  
グライダーアト注文取ルコト

▲▼160ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月1日(土)

天気 晴

鈴木ヲ局ヘヤリ協会ノ金ハ千葉ヘ電話デ聞ク ドチラモ間ニ合スイヨ、三日トナル  
小林氏來 百円グライダーノ内金受取ル ヤット米屋ヘ五十円ヲヤリ白鳥ヘ四五月分  
ヲ支拂ヒ鈴木ニヤスリノ目立代ヲヤッタラナクナツテ仕舞フ 鈴木ノ旅費少シ多過ギテ  
イケナイ

平松君今日モ同乗飛行アリ 三四十名ヲ乗セル 一台デ間ニ合ワズ作業ノサルトアン  
リオデ助ケル  
作業ノサル内田ノ分試運轉シタガ調子出ズ明日ノコト

▲▼161ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月2日(日)

天気 晴

ステキナ日曜日日和

発動機部ト組立ノ一部出勤 作業ヨリ二名來 発動機試運轉 内田ノ分ハシヤフト曲  
リ居リ取替 作業ノ分ハカーブレーター悪ルク取替 以上夜業トナル  
名古屋グライダー研究会発会式ニ祝電ヲ発ス  
支拂シ予算ヲヤツタリ事業計畫ヲ立テニカ、ツタガ、ウマク行カナカッタ。ドウモ頭ガ悪  
イ様ナ氣ガスル 少シモ根氣ガナクナツタノニハ自分ナガラアキレル

▲▼162ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月3日(月)

天気 曇リ

齋藤木目田両氏來場 内田用奈良原名儀(ママ)サル 作業サルニ台共飛行試験終了  
多少不備ノ點直シテ報告スルコト

明日ヨリ操縦士試験ノ爲メ山田氏角田氏來場 鈴木上京 作業サルノ奨励金八百八  
十余円受取ル 内作業ノガソリン代ヲ石井へ 外ニ貳百円現金ニテ作業会社ヘ返ス  
松葉君夕方一寸來場

上仲長唄ヲナラヒニヤツテ呉レトノコトニ工場ニ出ナイデ行ケト云フ  
今日ハ自分ノ誕生日 皆ニ赤飯ヲ出ス

▲▼163ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月4日(火)

天気 雨

目ガ醒メルト雨ノ音ガシテ居タ 五時二十分起床 食事ハ取ラズ六時過ギ小供達トタ  
クシード出カケル 途中鈴木ヘ寄ツタガアトカラ行クトノコトニ先キへ行ク 信太郎徳次  
ニコモリヲ買ヒ與ヘ所沢ニ行ク 八時半丁度着 木暮君ト安藤ノ使、井上氏、梶原ダ

ケデアツタ 十時頃入札 八百五十五円トナル 機体ハワヅカニ三台 発動機ナシデ皆  
安ク見テ居タガ安(ママ)外ニ多額ニナツタコトニ計算ノ決(ママ)果自分ノ處ハ八七ノ器  
具ガ來タ 之レハ大シタモノデ、トテモトラツクデハ運ベナイノデ八頓車ヲ一半買切ルコ  
トニス 代全部デ百五十二円三十銭 金六七十円カラ持ツテ居ナカッタガヤリ繰リシテ  
結局二十五円梶原ニ借りテ支拂ヒフスマセテ帰ル 帰途帝防ニヨリ奈良原清水君同乗  
東日ニ行キ箱根飛行ノ切(ママ)合セシテ帰宅後夕食 九時

◆◆164ページ◆◆ 昭和10(1935)年6月5日(水)

天気 晴

本日野外飛行 一等ノ桂林十時四十分發 十一時過ギヨリ青木、帝国第一ノ順ニテ  
出發 同時ニ田端ノサル安岡ノ甲四仙台へ向へ出發ス 晝食後上京 作業ト奈良原(内  
田ノ分)サルノ手直シ報告書持參 作業ノ方不充分 奈良原ノダケ堪航証出ルコトト  
ナル 東日ニ行ク、奈良原、清水來 金ノ話シ出來ズ。三島行ノ旅費四名分二十円  
外ニ奈良原、清水、山崎、自分ハ各十円ヅ、貰フ  
清水氏(帝防)福士氏ニ照(ママ)介 東京飛行クラブニテ会見サセル。三菱ノ人ノデイ  
ーゼルノ話シヲ聞キ九時終ル 羽太氏ニグライダー内金ノ話シシ明日式百円貰フコトニ  
キメテ帰ル

◆◆165ページ◆◆ 昭和10(1935)年6月6日(木)

天気 薄曇

晝前ヨリ場内飛行アリ一時半終ル

第一ノ陳君ハ昨日不時着(針路ヲアヤマル)本日ハ受ケズ 田端機昨日仙台ニテ発動機  
故障ノ爲メ昨夜池本出發ス

黒沢本日仙台へ向ケ出發 昨日池本へ四十円 外二百十円本日受取ル 奈良原氏ノ旅  
費モ一所ニ

二時半ヨリ上京 局ニ奈良原奨励金願書 甲四定期ノ願書ヲ出ス。東日ニ行キ二百円  
受取ル

山崎君來ルトノコトニ待ツタガ來ラズ 速度計ハ間ニ合ワズ行ク時ニ持參スルトノコト。  
十数年振りデ伊勢社ニ行キ材料代ヲ支拂ヒ佐藤デ買物シテ帰宅 八時半

明日出發 留都(ママ)中ノコトヲトノエル

仙台ヨリ報告ナシ

帝国ノ一型川辺ノスグ上ニ墜落大破 負傷輕微

◆◆166ページ◆◆ 昭和10(1935)年6月7日(金)

天気 晴曇り小雨

五時半起床 八時十分東京発 羽太氏途中ヨリ乗車同行 十時三島着 一度宿ニツキ晝食後練習兵場ニ行ク 一時過ギヨリ飛行 三回ニテ終リ分解ノ頃ヨリ雨降ル 夕方引上ゲル 羽太氏夜帰京ス

▲▼167ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月8日(土)

天気 晴

角外二名ニ機体ノ手入レト荷造リヲサセ自分奈良原、清水、今井ト山ノ状況ヲ見ニ行ク。ヌストー厩ヨリ出発ノ予定トノコトニ同所ニ昇ル 西風六七米アリ 今日ノ風デアレバ丹那ノ上へ行ッテソワリングスルコトニキメ尚箱根方面ニ行キ元箱根ニテ晝食ヲシ三時頃帰宿

夜羽太氏外三名來

▲▼168ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月9日(日)

天気 晴

一點ノ雲ナク風ナシ モット吹ケバヨイノニ  
五時起床 若イモノヲ起シ自分モ共ニ行キ自動車へ積ミ込ミヲ終ル 大坂ヨリ和田氏來場 自分ハ熱海へ局ノ人達ヲ向ヘニ行ク 九時五十二分ニテ着 帝防ノ人々モ來 共ニ場ニ行ク。風ナク待ツ 二時近ク漸ク三四米吹ク 二十五米デ引カセタガ離陸セズ 更ニ横ノ山ニ上ゲ百米デ引キ飛行ス スク左ニ廻ッテ、日金山ノ高压線近ク迄ハ順潮ニソワリングシ高度ハムシロ昇ル位デアッタノデ一同大嬉(ママ)ビ 右廻リシタガ之レガ大キカッタ爲メ上昇気流圈内ヲ出テ次第第三下降シ坊子山ノ近ク迄來タ頃ハヨホト下ッテ居タノデ、ガツカリシタ ツヒニ田代ノ岳ニ着陸 時間僅カニ六分二十三秒 皆ガツカリシタガ、マー無事デアッタコト 弱風デモソワリングガ出來タコト 場所トシテ好適ナルコト等ヲタシカメ得タノデマツ収穫ハアッタ。宿ヲ引上ヨク研究ス 八時半三島発ニテ帰宅十二時

▲▼169ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月10日(月)

天気 晴

午後ヨリ上京 局ニ行き検査ノ打合せヲナシ協会ニ行ク 七月六日防空演習ノ打合せ会ニ出席

終ッテ東日ニ奈良原清水君ト行き、帝防ニヨリ十三日式三百円余ヲ持ッテ來テ貰フコトヲタノム

午前中安岡ノ報告ヲ聞き不在中ノ書面ヲ見工場ヲ見ル

▲▼170ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月11日(火)

天気 晴

安岡ヲ上京サセル 昨夜斎藤ノ母ヨリ満州飛行出來ルヤトノ答合セ電報アリ局へ相談ニヤル

所沢拂下品到着 整備理ス

大格横ノ土堤ホゞ完成 自分モ手傳フ

▲▼171ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月12日(水)

天気 晴

終日在所 小鳥ノ小屋ヲ作ツタリ、土堤ヲ手傳ツタリス

今ノ仕事ガ終ルトアト何ニモナイノデ少シ心細イ

三島ノ町長、東日支局、東方へ禮状ヲ出ス

▲▼172ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月13日(木)

天気 晴

協会カラ厚中ノ金受取ル 東日へ返ス

八七ノ検査本日延期トナル イツクルカ未定 帝防へ知ラス

平松機小千谷着ノ際尾部破損 來テクレトノコト 金太郎ヲヤルコトニ決メテ上京

夜使來 向フデ修理出來レバヤリタイトノコト 角ヲツケテヤルコトニス 十時三十五分

ニ來ルコトニキメテアッタノデ上野駅ニ行キ待ツタガツヒニ來ラズ 十二時帰宅 聞ケバ

松坂ト角十一時半ノ汽車デ行ツタトノコト 金太郎行カズ 不都合ナ奴

帝防へヨル 井門氏一人。東日ニ行キグライダー三島ヨリノ運賃ヲ貰フ。ソラニ行ク 出

席者少ナシ タゞ会食

藤原ト會フ 猿田電報シタノニ來ラズ ハンザーガー一三ニヤメテ藤原帰ル

▲▼173ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月14日(金)

天気 晴

午前中在所 晝食後上京 帝防ニヨル 不在 協会ニ行ク 昨年度決算報告ノ評議員

会ニ出席 今日ハ理事会ガナイノデユックリシタ会デアッタ 大分エライ人バカリデ話シ

相手ガナカッタガ最後ニ昨年度事業費ガ三万八千円モ金ガ残ツテ居ルコトニツキ自分

ノ希望ヲ述ベル 思フコトヲ云フト云フコトハ氣持ノヨイモノデアル 後長山君ノ就職ニツキ井上、小野、北尾君ニ相談ス 兎ニ角履歴書ヲ出スコトニナル 帰り帝防ニヨリ清水和泉氏ニ會フ 和泉氏帝防ノ第一線ヨリ引キ下ノ方へ別ノ会社ヲ作ツタ由 金ハ今日間ニ會ヒソウモナク明日持タセテヤルトノコトデアッタ  
七時頃帰宅 清水緑君ノ十六円ダケ和泉氏ヨリ渡シテ貰フコトトス

▲▼174ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月15日(土)

天気 晴風

今日ハ出ナイツモリノ處羽太氏ヨリ夕方來テ呉レトノコトニ四時過ギヨリ上京 社ニ行ク 六時十分羽太氏羽田ヨリ帰ル(ロックヒードノ到着ヲ見テ來夕) 上ノ原キヤンプトグライダー練習ニツイテノ相談デ清水君モ來 終ッテ東洋軒デ夕食後九時帰宅 月ガヨカツタノデ久シ振りデ停留所カラ歩ム  
義勇飛行ノ竹崎氏ヨリ會ヒタイトノ申入レアリ 十七日午前中ニ行クコトヲ約ス

▲▼175ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月16日(日)

天気 晴風

終日在宅 午前徳治ト二人血脈検査ニ行ク 信太郎ハ學校ガアルノデ次回ニス 午後少シ眠ル 四時頃ヨリ庭ノ手入レヲシ菊ト月桂樹ヲ試ミニ益目ス

▲▼176ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月17日(月)

天気 晴南風少雨

坂本齋藤両氏八七ノ内部検査ニ來場

正午頃ヨリ上京 大日本義勇ニ行ク 見ルト處大分活氣ガアル様ダ 竹崎ニ會フ アブリ整備ヲタノミタイトノコト 二三日中ニ金ガ來ルカラ入レル由 發動機ペラ別デ補助金取リノ六百円也

軍人會館ニ防空演習ノ打合せ會ニ行ク 四時半頃終ッテ茶會 五時帝防ニ行ク 今日モ金出來ナイトノコト。サア困ツタ 材料モ間ニ合ワナクナルシ電話モ明日拂フコトニシテ居イタノデ明日午前中ニ半分ダケデモ頼ンデ居ク 尚今月末試験ニガソリンモ入ルシ、金ノコトモ井門君ニ話シテ居ク  
和泉ニ會ワズ

▲▼177ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月18日(火)

天気 晴曇風後止ム

午後一時ヨリ防空演習打合セヲナス 会スルモノ青木、桂林、安岡、鈴木、野呂。特ニ飛行ヲ確ニスルコトヲ希望シテ居ク  
夕方井門君來 五十円ダケ持參ス  
帯ニミジカシタスキニ長シ 倉庫ノ中へ入レテ居ク  
鈴木伊午後休ム

平松機ニツキ航空局ヨリ答ヒ合セアリ 今後電話デ打合セテ明日返事スルコトス 其旨角ニ打電ス。返電アリ 完成 松坂明朝七時着クトノコト

◆▼178ページ◆▼ 昭和10(1935)年6月19日(水)

天気 晴

松坂帰場 昨日試飛行ヲ出來ル迄ニナツタ處縣保安課ヨリ航空局ノ指示アル迄待テトノコトデアッタノデ局へウマク云ツテ呉レトノコトナリシモ、スグ上京シタガ車中結局正直ニ話スルコトトス 西川氏ハ津田沼迄帰還飛行ダケ許可仕様ト云フ答へニナツテ居タガ課長ト相談ノ結果汽車輸送セトノコトニ其旨打電ス

帝防ニヨリ羽田へ新ロッキヒートヲ見ニ行ク 四時過ぎ見テ東日本社へ金ノ相談ニ行ツタガ羽太氏不在 更ニ帝防ニ行ク 東京駅ニテ井門君ニ會フ。今日モダメトノコトニガツカリシタ 支拂ガノツピキナラヌヤツガ皆二十日ニナツテ居ルノデ明日ガ心配ダガドウスルコトモ出來ナイ

夕方ハ久シ振リデ皆ト共ニス。兄ト徳次キキャンプニ連レニ行ク相談ヲス

◆▼179ページ◆▼ 昭和10(1935)年6月20日(木)

天気 曇リ

朝奈良原氏ヲ待ツ 旅行ノ話ヲ聞キ不在中ノ出來事ヲ話シ九時四十分ノ自動車ニテ共ニ上京ス 氏ハ帝防ニ自分ハ羽太氏ノホテルニ行ク 不在 日日ニ行ク マダ來ナイトノコト 協会ニ行キ井上氏ト輕飛行機(自分ノ處デ製作中ノモノ)ニ千円程度ノ奨励金ヲ出シテ貰ヒタイコトヲタノミニニ話シ合ツテ羽太氏ニ電話スル 出社シテ居タノデ行ク奈良原、清水君同席。グライダーノ名儀(ママ)人ヲ極メテ貰フコトニシ内金貳百五十円借リル 夕方婦リニ船橋ノ丸岡へヨリ明日ノ自動車ヲタノミ帰宅ス。東日依頼ノ。バラシユーターノ事ニツキ中田へ今夜電話スルコトニ打電ス

厚中グライダー取りニ來ル 渡シ松坂自動車ニ同乗シテ出張ス  
大毎ヨリゴムコート着ス

◆▼180ページ◆▼ 昭和10(1935)年6月21日(金)

天気 曇雨

黒沢ノ帰還飛行ノ爲メ仙台へ氣象通報ヲ発ス。青森ヨリ仙台到着  
午後ヨリ上京 局ニヨリ不在操縦士ノ免状写シヲ取り拂弁日ヨリニ寄ル 奈良原清水  
氏モ居ル。パラシュート廿五日決行ノ事ヲ定メ報告 飛行館ニ行ク 本日ノ出席者安  
満、奈良原、清水録、清水仁、佐藤喜、高崎、清平、山崎、渡辺 以上 外ニ帝防ヨリ  
一名 終ッテ夏期講習ノ打合セラナス。山崎氏ヨリ清水君ノ報酬問題ニツキ話シアリ  
考慮中ヲ返事ス  
十一時半帰宅 霞ヶ浦拂下引取り

▲▼181ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月22日(土)

天気 曇リ

終日在所 昨日奈良原氏ヨリ明日午後一時頃帝防ノ金出來ルトノコト電話ヲシテ貫  
フ様タノシデ居タガ今日ハツヒニカ、ラナカツタ  
黒沢四時無事帰着  
飯田入隊(海軍員へ)ニツキ餞別ヲ送ル  
平松氏來場  
厚中へシヨックコード代引ニテ發送ス  
久々田醫院ヨリ此ノ日曜日取ツタ血ノ試験成績來ル 自分モ徳モ一バカリ 村田氏ワ  
ツセルマン、サセックス全部蔭性ノ報告ニ祈(ママ)喜ス 明日信太郎血清ヲ受ケサセル

▲▼182ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月23日(日)

天気 曇小雨

日曜ナレドモ作業ス  
清平ニ軽飛五二型ノ圖面ヲ渡シタ食後帰京ス  
午前散髪ニ行ク  
午後二三手紙ヲ書イテ居ル内ニ兼ネテ注文中ノ生垣ニスル苗ガ來タトノコト 信太郎  
ヲ相手ニ植付ケヲナシタ方五時半終ル 六時夕食  
鈴木菊來 廿五日。パラシュートノ件  
鈴木伊來 明日ノ打合セラナス

▲▼183ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月24日(月)

天気 雨

終日大雨 六時ヨリ所沢へ出張

九二発外数點五十九円九十五銭ノ拂下ヲ受ケ引取りハ作業第一ト共同デ自動車一台タノム

晝食後遠藤君ヨリ鈴木菊ガ北海道ヨリアブロヲ買ツタガアレニ遠藤ガ先キニ五十円手金ヲ打ツテアツタノデアルノヲ横取りシタ ケシカラントノコトニ困ツタ問題デアルガ何分ノ挨拶ヲサセルコトヲ約ス

帰途飯沼ニヨル 一昨日約束シタニモカ、ワラズ留都(ママ)ニ申居キナク見積書ヲ居イテ帰ル

東日ニヨル 大蔵大坂ヨリ來テ居タ 清水奈良原氏來 鈴木伊防空演習ノ飛行許可ヲ警視廳へ出シタ帰りニ帝防へ金ヲ貰ヒニヨラセタガ今日モ出來ズ明日トノコト イヨ、ハアテニナラナクナツタ

東日ニテ明日ノパラシユートノ打合セシテ帰ル

▲▼184ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月25日(火)

天気 曇晴

午前中明日ノ飛行ノ打合セ会中東日ヨリ羽太氏外写真部品來ル

中田來ラズ 一時頃漸ク東京ヨリ今カラ行クトノ電話アリ安心ス 汝ノ引方オソク四時頃大蔵十年式ニテ來場 打合セラシテ五時過ギ実施 野呂機ニパラシユーター安岡サルニテ写真眞師 大蔵機ニテ活動写真眞三浦氏 處ガ好機ヲ逸シヤリ直シト思フ中パラシユーター飛ビ降りツヒニ失敗シ終ル イヅレヤリ直スコトニナルダローガ一先ヅ引上ゲル。奈良原氏來場

鈴木警視廳許可証取りニ行キ帝防へ金受取りニ寄ラセル

野呂機入庫前逆立シテラジエターヲコワス

▲▼185ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月26日(水)

天気 曇リ晴

防空演習

鈴木伊出勤セシモ金昨日取レズ。銀行今日午前中ニ入レネバナライノデ鈴木菊ニ遠藤件話シノツヒデニ五十円程ニ三日立替ヲ話シタガダメ。猪又ニ話シ漸ク間ニ合セ入金サセル

作業会社機ガソリンナク石井ニ話シ十カントカストル一融通ス 野呂機ヨリ三カン入レル手配シテ上京 協会ニ行キゴムマリノ爆彈ヲ受取り洲崎ニ行ク 十一時三機共スデニ着 田中飯沼各隊長漸ク二時過ギニ來ル

二時半丁度ヨリ始動 二時三十一分出発 三十分余 第二回八十分オクラセテ準備丁度三十分ノ飛行 内作業機平松君ノ依頼ニテ王子ニ飛行 二十分遅レテ無事帰ル

六時過ぎ東日ニ行ク。パラシユート明後日ヤリ直スコトニ決定。中田君トモ打合せ終ル。奈良原清水氏居ル。清水君、東日聯盟機ノ件本日福知部長ト相談。ホヰマトマリタル由。

▲▼186ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月27日(木)

天気 曇リ小雨

終日在所。昨日ノ報告書ヲ作り協会、警備司令部森サンヘ送ル。午後一時頃ヨリ鈴木上京サセ帝防ダメニテ東日ニテ二百円借り買物ヲサセルコトトス。夜八時過ぎ加藤氏來。何事カト思ツタラ妻君ト安岡ノ件ドーニモ我慢ガナラナクナツタトノコトデアッタ。ソレデハドウスルカト聞イテ見ルト安岡ノ意見ヲ聞イテ見テ呉レトノコト。ソシテナマヌルイ話シハナイガ、コレナラ大シタコトハナイト安心シタガムシロ此際今後カ、ル事ノナイ様大ゲサニオドカシテ大改造ヲシタ方ガヨカロウト注(ママ)告ス。

▲▼187ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月28日(金)

天気 晴

北九州大出水

東京ノ方雨ノ爲メパラシユート明日ニ延期トナル。午後ヨリ風強クナル。鈴木上京サセル。東日ニテ三〇〇。帝防デ五〇受取り買物シテ帰ル。朝奈良原氏來。クラブヨリ五円渡ス。猿田氏待ツタガツヒニ來ラズ。

▲▼188ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月29日(土)

天気 曇晴風

京都方面大出水

風ノ爲メ中田君來タガ中止ス。関西方面風雨ノ爲大出水トノコト。社ノ自動車ニ同乗シテ上京。一三三買物シテ社ニ行ク。清水山崎氏來。福知氏ニモ会フ。キヤンプヤ其他ノ打合せス。中田ノ方ハ飛ビ込ミモヤルコトニナツタガ報酬ノ點ヲ明日夕方決定スルコトニナル。帰宅後晝夕食ヲ一所ニヤル。

▲▼189ページ▲▼ 昭和10(1935)年6月30日(日)

天気 晴曇南風強

今日モマダ風強シ

工場無休

吉田重雄君來 夕食後帰ル 鳥二羽ヲツブシクラブ員ト共ニ  
午後帝防ノ和泉榊両氏來 午前ガソリン四十カン(ソコテ)ベンゾール四箱、カストル二  
箱來 金三十円受取ル

四時過ギヨリ御寺ニ区ノ役員ガ集合シテ自分ニ会ヒタイトノコトニ行ク 区所有地ノ海  
面ヲ賣ルニツキ差支ナイカトノコトデアッタ。民間飛行ノ現状ト通信省ノ方針ヲ話シ最  
後ニ自分仕事ニ支障ヲ來サセナイト云フコトヲ契約書ニ書キ入レテ貰ヒタイコト ソレガ  
出來ナケレバ帝国ノ前カラ東ヲ自分ニ分譲シテ貰ヒタイコトヲ述ベテ帰ル

▲▼1911ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月1日(月)

天気 曇リ

船橋千葉間省線電化ス

奈良原氏來。平松氏來

駒林木目田両氏來 八七、サル地上點檢終ル 八七發動機運轉モ行フ 良 平松十年  
式内部檢査終ル

中田ノ代鈴木來 金借リタイトノコトデアルガ明日ノ飛行終ッテカラニサセル 万一明  
日天候不良ノ際ハ別ニ考慮シテヤルコトトス

桂林千葉へ祝賀飛行ヲナス

▲▼1922ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月2日(火)

天気 晴

飛行機カラ海中へ飛ビ込ミ撮影ノ爲メ東日ヨリ写真部員來場 谷津海岸デ行フ 午  
後風強クナリ舟ガ出セス干潟カラ写スコトニナル 連絡ノ爲メ電話ヲカケルノデ、久シ  
振リニ走ッタノデクタブレタ 高度ニ米デヤッタガアマリ低クテアッケナカッタ。ハタシテ  
写真ニ水煙ダケシカウツテナカッタ、ノデ明日。パラシユートヲ又ヤリ直スコトニナル  
奈良原氏來場

▲▼1933ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月3日(水)

天気 晴

緑丸沈ム 七十名行違不明

大蔵十年式ニテ來 今日モ風ツヨクッタガパラシユートウマク開ク。タゞ予定ヨリ東ノ方  
ヲ飛行シタノデ丁度太陽ノ處カラ飛ビ降タコトニナリ地上写真ハ写ラナカッタガ機上

カラノ活動ハウマク行ツタ 着陸ニ際シ線路ワキノ電話線ニヒツカ、リソウニナツタノデ飛  
ビ降り土堤ニムネヲ強打シタガ大シタコトナク無事ニ終ル 丁度醫者ガ居タノデ手當ヲ  
加ヘタ方辻家デ寢カシタ方東日ノ自動車デ送ラセル。自分ハ上京 羽太氏ト金ノコト  
ヲ取キメ五十円受取り計式百円トシ全部ヤルコトニス

▲▼194ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月4日(木)

天気 曇後雨

曇リ 次第ニ悪クナリ颱風警報出ル

木目田堀井両氏來 八七、平松十年式、クラブサル三台共雨ノ中ヲ飛行シテ終了  
外ニグライダーノ内部検査終ル

安岡東日へ中田ノ金受取りニヤリ持参サセル

▲▼195ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月5日(金)

天気 晴

安岡帰ラズシヤクニサワル 十時出ル 局ニ登録申請ヲナシ八七ガソリン消費量ノ報告  
ヲシテ東日ニ行キ式百円借りテ警視廳へ明日飛行ノ手續キニ立寄り芝浦ニ高橋氏ヲ訪  
問 発動機ヲ見學スル トテモ改造シテ飛行機ニ使ヘソウニナカッタ ヤハリ別ニ設計セ  
ネバダメダ。ソレヨリグライダーノ羽布、操縦線等買物シテ、帝防ニ寄ル。愛国グライ  
ダー聯盟ノ元会員ノ東京グライダーへ合併願ツナギ会ニ出ル 奈良原氏ヨリ一場ノ挨  
拶アリ 八時過ぎ先キニ出テ附近デ夕食ヲ取り十時半帰宅。夜業ノモノニ土産ヲ買ッ  
テ帰ル

▲▼196ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月6日(土)

天気 曇後雨

安岡ニ準備ヲ命ジ鈴木ニ大坂ノ竹中ノ父宛本人出津ノ事ヲ手紙出サセル 九時ヨリ上  
京 局ニ行キ三台分ノ堪航証ヲ貰ヒ東京市街地圖ヲ小川町辻買ヒニ行キ協会デ爆弾  
(ゴムマリ)ヲ受取りタクシーニテ十一時過ぎ洲崎ニ行ク マダ誰レモ來ラズ 飛行機ハ十  
二時過ぎヨリ飛行 内田機ダケ不参加 アト七機ソロウ 此頃ヨリ天候悪シク、ツヒニ  
雨トナル 森航空官來場 一次飛行ハ中止ス 二次飛行少シヤ止ミタレドモ雲低クシ出  
発準備中バラ、降ル。本隊ハ五時四十分出發サセタガ五十分間ノ間非常ナ心配シタ  
ガ先ヅ無事ニ歸ツタノデ、夜宿ヲ取り一杯ノマセル 半数ハ格納庫へ

▲▼197ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月7日(日)

天気 曇後晴

昨年ト変テ夜ハヨク眠レタ 四時半皆ヲ起シ飛行場ニ行ク 森航空官來場 雲低ク飛行困難ニツキ各隊ヨリ一機ツ、飛行セシタルコトトシ本隊ヨリハ鈴木機飛行シ本演習ヲ終ル。朝食ヲ、イナリスシニテスマセ皆ヲ遊ビニヤル 一人番人ヲツトメル 猿田氏ヨリ晝頃電話アリ 明朝津田沼へ來ルトノ約束ヲナス 二時過ギ飛行機ニテ津田沼ニ帰ル

▲▼1988ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月8日(月)

天気 晴

皮肉ニ今日ハ上天氣デアッタ

鈴木午後ヨリ局ノ奨励金帝防ノ金協会へ報告書 航空時代へ会報原稿持参サセル

奈良原氏來 愛国ノグライダー初練習ヲ行フ 作業会社ヨリ八七二台來 内一台ス

グセイビニカ、ル由

猿田氏朝來ルトノコトデ待ツタガツヒニ來ラズ 藤原ヨリ請求來 スグ手紙出ス

矢野帰國ス

▲▼1999ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月9日(火)

天気 晴

終日工場 発動機全部ニ金物ヲ作ラセル

奈良原清水両氏夕方來 帝防ハ明日呉レルトノコトデアッタ由

今日ハ何ントナク急(ママ)ガシイ日デアッタ

▲▼2000ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月10日(水)

天気 晴夜曇リ

午前中金具ヲ急ガセ晝食後上京 局ニ行ツタガ誰レモ居ラズ課長ト少時話シス 伊勢谷氏熊本へ榮轉ノ挨拶ニ來ラレルノニ會フ

飛行館ニ行ク 猿田氏待ツタガ又來ラズ 田中不二雄代理ダトノコトニ一三式ヲ渡スコトヲ話ス 田中ヨリハンザーヲ式百円デ賣レルカラ金ヲ返ストノコト ソレデモヨイカラ早急ニ運ブ様話ス 尚時間ガ來タノデ尚後チニトノコトデ其マニナル 帰リニサガシタガ居ラズ

防空演習参加慰勞宴後九時頃迄雑談アリ 田中奈良原梶原氏最モ多ク語ル

川辺ト同行セリト云フ菊岡氏ニソラニテ會フ 京城迄飛行競技ノ件、猿田、九州日報大演習飛行ノ件 イヅレモヨイコトデアル 参加ヲ賛成ス。柏崎飛行場設置 日滿飛行

ノ件話シアリ 之レハ大變ナ「インチキ」ラシク今日モ丁度出ガケニ東日ヨリ聞合セアリ

タルニツキ注意シテ居ク

帝防今日モ出來ズ明後日トノコト トテモダメ。アスノ米ニ困ル

▲▼201ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月11日(木)

天気 曇リ寒シ

今日ハドウニモ仕様ガナクナッタノデイ式四百五十ト三百ヲ猪又ニ賣ルコトニシ米屋へ五十円 材料代二十円 其他所員へ分配ス 作業会奥山君ヲ呼ンデ金ノ話シヲスルベク待ツタガ來ラズ 十時四十分ニテ上京 伊勢谷氏ノ送別会ニ出ル 散会ニ時半ニナル時代社ヘヨリ渡辺氏ニ会報ト八月号ノ原稿ヲ渡シ協会ニ行ク。奈良原氏ニ電話スル 四時頃清水氏帰ツテ來ルトノコトニ一時間位ナラトソラデ待ツ 四時ガ五時ニナツテモツヒニ來ラズ 奈良原氏一人來 明日百円タノンデ、イソキ帰宅ス 明後日十時迄ニ貨車積込ミヲ要スル由

▲▼202ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月12日(金)

天気 曇リ

明日ノ拂下ト外ニガソリン屋ナドニヤリタク帝防へ百円ダケ最(ママ)非今日中ニ作ツテ貰フ様奈良原氏ニ電話ス 数回 六時頃迄電話ヲ交換シテツヒニ出來ス。作業会社加藤氏來 之レ又出來ズ 止ムナク井門ニ依頼スルコトトシテ明日ノコトヲ任カセル 開發ノ父來 本人ニヨツテ生活シナケレバナナイトノコト 遂ヒニ退イテ朝鮮ニ歸ルコトトナル

グライダー十六日津田沼へ貨車廻ストノコトニ大ニユツクリ出來ルコトトナル

▲▼203ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月13日(土)

天気 曇リ

終日在所 作業ヲ急ガセル 明日写真ヲ取りニ來ル様社へ電話シタラ三台一所ニ飛バシテ呉レトノコトニツヒニ夜業ヲスルコトニナル

▲▼204ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月14日(日)

天気 晴

一時頃迄ニ漸ク完成 三台同時ニ飛行ヲヤル ウマク行ツタ 上ゲルトスグ汐ガ一杯ニナル

奈良原、清水來 社カラハセメテ市川ノ通信員來 三時過ぎ仕事ヲ仕舞フ 明日休

業トス

▲▼205ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月15日(月)

天気 晴

工場ヲ休マセル

自分ハ信太郎ヲ相手グライダーノ手落ちヲ直シタリナドスル  
角早川デ出發準備ヲサセル

▲▼206ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月16日(火)

グライダー積出シ

奈良原氏來場

晝食後上京 東日ニテ上ノ原ノ打合せヲナシ明日講習費ヲ貰ニ來ルコトトス  
ソラニテ猿田氏ニ會ヒ二三引取ルコトニ話シキメ明日現品横浜へ見ニ行ク約束ヲナス  
帝防電話カケタガ誰レモ出ナイトノコトデアッタ

▲▼207ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月17日(水)

天気 晴

横浜磯子ノ猿田格納庫ニ行ク 佐々木ニ會フ 一三式見タガ余リヨクナカッタ 翼ノ羽  
布ハ使用出來ソウデアッタ。東日ニヨル 羽太君イソガシソウデアッタ 夕方漸ク出張  
員ノ旅費ダケ貰フ。ソレモ上野カラノ分ダケシカ呉レナカッタ。帝防ニ寄ル 根本的立  
直シニツキ山カラ帰ツテ会谈スルコトニナル。帰途奈良原氏ト夕食ヲ共ニシ色々帝防策  
ニツキ話シ會フ 十時帰宅

▲▼208ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月18日(木)

天気 曇リ

寒イ日デアッタ 山カラ雨ノ爲メコマル○オクレト來タ 羽太氏ニ電話シテ明日清水君  
ニ持参サセル様ニ云フ 藤原へ一三ベツ整備スル旨返電ス。三嘴夕方來場 旅費三円  
渡ス。クワシク話シヲ聞ク 最初ノ鈴木氏ニハ三嘴個人千七百円ノ借用証ヲ入レ飛行  
機ヲ貰ツタコトニナリ鎌倉ノ方ノ人ニハ工場へ入レタ内金ダケトノコト ソレヲ上岡ガ返  
シタトスレバ上岡ニ其金ヲヤレバヨイトノコトデ、ソレダケヲ上岡ガ自由ニ出來ナイトノコ  
トデアッタノデ藤原ノコトヲ話シ一切ヲ自分ニ任カセルトノコトニ水上トシテ整備スルコ  
トトス。ソレニ対シ委任状ヲ取ルコトトス

▲▼209ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月19日(金)

天気 曇後晴夜雨

留都(ママ)中ノ事ソレ、指令シテ九時過ぎ出発 竹中同行 十一時五分二丁度間ニ合フ 四時二十何分湯檜曾着 本家旅館カラ迎エニ來テ居タノデスク宿ニ行ク 夕方清水君山ヨリ帰ル 六時ノ汽車デ南波氏來 驛迄迎エニ行ク

▲▼210ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月20日(土)

天気 晴

五時起床 湯ニ行クト奈良原氏今朝來タトテ會フ 九時自動車ニテ登山 山口ニテ下車 大分登リガアツタガ四十分位デ原ニツク 白ノ三台ノ組立ガ終テ居タノデスクニ台ノ試飛行ヲ行フ 内ニ台ハ南波氏搭乘 一台ハ清水君行ク 之レデ堪航試験ヲ終了シテント村ニ行ク オソイ晝食ヲ取ル 食堂ヤ賣店モ出來テ居タ 皆ハ再ビ練習場ニ行ク 奈良原、南波氏ト東日ノ渡辺君ノ案内デ宝川温泉ニ行ク 大体二下リデアツタガ一人通ルダケノ道シカナカッタ

営林署ノ軌道迄出ルトアトハ樂デアツタ 奥利根橋附近ハ風光ヨカッタ 宝川ニ五時頃ツク 宿ノ主人ガ下ルトノコトニ迎ヘノ自動車ヲ返スコトニシ羽太氏ニ名刺ヲ事傳ル。湯殿ハキタナカッタガ湯ガ自分ニ丁度ヨカッタノデ、ユックリシタルコトガ出來タ 久シ振リデ温泉氣分ヲ味フコトガ出來タ

▲▼211ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月21日(日)

天気 曇リ

朝ユックリ湯ニツカリ支拂ヲスマセ九時頃出発 宿ノ主人學校迄道案内ヲシテ呉レタ 今日ハ馬鹿ニ道ガ近ク思ワレタ 藤原ノ學校ニテ休息 ソレカラハ校長サンノ息子サンガ送ツテ呉レテ登山 黄色イノヲ組立中デアツタ 二時半ニナツテ縣、信太郎、徳次三人ガ一番早く登ツテ來タ アトノ人ハ十分以上オクレタ 羽太氏ハ更ニ一時間以上オクレテ來 一三三回飛行ヲ見セテ、テントニ行ク グライダーノ方ハ十八人 ハイキングノ方ハ僅カニ三人ノ参加者ダトノコト 今日カラ食堂ガ開カレタノデ食事ハソコデ取ルコトトス 一日朝十五錢 晝二十錢 夜二十五錢 計六十錢

テントノ割當ガ終リタ食ガスムトタキ火ノ前テ山崎君ノ講演アリ 終ツテ山ノ話シカラ余興(各自ノカクシ藝)アリ十時頃終ツタラシイ 自分ハ八時過ぎ床ニ入ル

協会ヨリ小野少將來場 柳原先生ノグライダー氣象ノ話等アリ

南波氏羽太氏奈良原氏山崎氏皆テントニ泊ル

▲▼212ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月22日(月)

天気晴

五時起床 テント生活モヨイモノデナイ モウ沢山ダ 山崎君ナドモソウラシカッタ  
参加者ヲ初心者ト経験者ノ二班ニ分チ初心者ノ方ヲ清水君ニ 他ヲ今井君ヲ主任ト  
ス 出発サセテ自分山崎南波氏ト三人湯ノ小屋温泉迄ハイキングス 帰りモミジヲ一  
本取ル ソコハキレイナ水ガ出テ居タノデ休ム。中ニ南波氏ト色々懇談 飛行場津田沼  
ニ設置ノ件モ尽力ヲタノム。軽飛行機製作ノベニヤ板買代金三百円位立替テヤルトノ  
話シモアッタ 十時半頃テントニ帰り休息後羽太氏ヲ加ヘ練習場ヘ行ク 丁度徳次ガ初  
カラ滑走スル處ヲ見ル。磯部氏ノ黄色ノヤツテ今井操縦ウマク着陸シタガ少シノ草ニ引  
カハッタラタチマチ右翼ガ中央カラ折レテシマッタトノコト 先日ノ埴山ノコトニイタンデ  
居タノデアロウ

午後ノ練習ノ初マルノヲ見テ式時ヨリ下山。湯檜曾ノ宿ニテ羽太君ヨリアト五十円受  
取り奈良原氏ニ明日黒沢ニ渡ス様依頼シ羽太氏大坂行キニ當リソアラ補助ノ件 片  
岡文三郎、清水君等人事ニツキ依頼シ七時五分水上発ニテ山崎君ト帰ル 十二時帰  
宅

▲▼213ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月23日(火)

天気晴

風ハアツタガ暑イ日デアッタ  
帰ルトスグ金ノ苦勞デ閉口

菊岡ノ件ニツキ大久保駐在所迄來テ呉レトノコトニ午後三時ヨリ自動車デ行ク 永ク  
ナリソウナノデ車ヲカエシ五時頃終ル 今月十一日飛行館デアッタコト柄ヲ話ス 大分  
大風呂敷ヲ廣ゲテ居ルラシイ 帰りハ徒歩デ帰ル

扇島ニテ中田ノ飛ビ込ミ無事終了ノ報アリ 夜八時頃野呂君ヨリカーブレーターヲ持  
チ來テ呉レトノコト 十一時二十分ニテ池本ヲヤル

▲▼214ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月24日(水)

天気晴

終日在所 散髪ヲス

帝防ヘ電話シタラ奈良原氏行ツテ居ラレタ 明日行クカラ先日ノ話シシタイコトト金ノ  
件タノンデ居ク

夕方野呂君ヨリマグネット二個ト電ランヲ持チ佐藤スグイトノコト 出張サセル

飛行協会ヨリクラブへ三十円 自分へ二十円呉レル旨通知アリ 午後東京ヲ中心トスル  
銚子水戸宇都ノ宮高崎ノ順還(ママ)飛行路ノ調査ヲナシ各郵便局長へ照介(ママ)状ヲ  
出ス

▲▼215ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月25日(木)

天気 晴

局ニ行ク 南波氏ニ二三ベツ内部検査ヲ依頼ス 月曜日行クトノコト 奨励金六内田  
ノ分ダケシカアトハマダ査定出来テナカッタ  
東日ニヨリグライダー奨励金願書三通ヲ渡ス シヨックコードヤハリ百五十円トノコト  
デアッタ

帝防ニ行ク 丁度東京駅デ奈良原氏ニ會 夕方榊、清水井門奈良原自分會談 例ニヨ  
リ奈良原氏最モ多クシヤベツタガ根本精神ニフレズ 清水氏モ又マトマラズ 最後ニ自分  
ノ案ヲ提出ス 即チ帝國防空ヲ標榜スル以上東京警備司令部ト聯合防護團ト聯携ヲ  
取ラネバナラヌガ防護團ニハスデニ一定ノ仕事ガアツテ割込ム余地ガナイカラ帝防トシ  
テハ地上ノ防護ヨリ一步進ンデ空中ニ於ケル積極的防護ニ當ルコトヲ立前トスベキデア  
ルト主張ス 皆タチマチ名案ナリトテ之レニ一決 其方法手段ヲ自分ノ書タモノヲ井門  
君ニ渡シテ居ク  
夕食デ料亭ニ行キオソク帰ル

▲▼216ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月26日(金)

天気 晴

午前九時井門君奈良原氏ト約束ニヨリ市川駅ニテ會ヒ水口氏ノヘリコプターヲ見ニ行  
ク 高島トカ云フ人ノ家ニアッタ 中々入念ニ六出来テ居タガモノニナリソウニモナカッタ。  
帰途第一ノ試験ニ立寄り森サンニ挨拶シ飛行場問題ヲ聞ク。民間発祥ノ地ダカラ予  
算ガ取レサエスレバヤルトノコト。之レデハスデニ確定的ノモノト見ラレタ  
第一ノサル友部ニテ破損 鈴木ノアブロ不時着大破シ第一ノ陳ノミアブロニテ無事帰ル  
帰途作業ニヨリビールノ馳走ニナリ金弍十円ダケ受取り帰ル ッカレタ 早ク寝ル

▲▼217ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月27日(土)

天気 晴

終日在所 飛行協会ノ防空演習参加金受領 決極(ママ)工場ハクラブヨリ二十円  
帝防ヨリ十円貰フ 自分ノ二十円ハ電気屋へ拂フ

▲▼218ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月28日(日)

天気晴

奈良原、梅沢、中田、等來 梅沢君持參ノビールトウナギデ晝食ヲ共ニス 羽太氏ヨリ電話アリスグ上京 第二期分百円受取り前期分ト式百円ノ受領証ヲ出ス 旅費ニツキ何ニモ云ワナイノデ請求モシナカッタ スグ帰宅 計算ヲナシ黒沢ニ手紙ヲ書ク 廿五円程不足ニナル 明日五十円ダケ奈良原氏ニ事傳 アトハ自分終ル頃持參スルコトトス 夜奈良原氏宅ニ行ク 帰ツタラ上野ノ相馬ノ弟ト云フノガ來テ式円電車賃渡ス

▲▼219ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月29日(月)

天気晴

鈴木局ト帝防ヘヤル 局ダメ マダイツトモ分ラナイラシイ 帝防ダメ。  
夜清平來

▲▼220ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月30日(火)

天気晴

鈴木出社セズグ上京 帝防ニ行ク 五時過ギ帰ル 五十円受取ル  
内田ヨリ残金全部ヲ取り其他カキ集メテ、電燈会社ト保俵(ママ)署(支拂) 銀行明  
日午前中ニ延期シテ貰フ  
練習生久保田チブスラシク夕方井上病院へ入院ス

▲▼221ページ▲▼ 昭和10(1935)年7月31日(水)

天気晴

安岡、清平上ノ原へ出發ス  
猪又ヲ呼ビ七十円借り銀行へ百三十五円入金ス。鈴木ヨリ二十五円海ノ金ヲ取り五  
円ヅ、分配ス  
帝防電話ニテ七日迄ニ最(ママ)非入金アル様鈴木ヨリ話ス 中台其他全部コトワル  
三式ニテキロ當リ費用ノ算出ヲナス  
日本飛行機塗料ト佐野へ小切手ト約束發送ス

▲▼222ページ▲▼ 8月

- 一 グライダー注文取ル事
- 二 來年度以後ニ対スル方針確立

▲▼223ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月1日(木)

天気 晴

今日ハ宅ノ方デ定期航空予算ヲ作ルツモリノ處南洋飛行ノ方ヲ終ルコトニシ完成サセ  
ル 夕方ニス 眼ガツカレテチロ、シタ  
タクシー出資ニツキ都筑氏ニ手紙出ス  
今朝五時十五分起床 小鳥ニエヲ與ヘ今日カラ恵美子トラジオ体操ヲ初メル 終ッテ  
新聞朝食

▲▼224ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月2日(金)

天気 晴

南洋定期計畫書完成ス  
午後上仲ノ郷土訪問飛行ニツキ來 色々ニ話シアリシモ安岡帰ッテカラ決メル様答ヘテ  
千葉ニ行ク コレヨリ先キ今日デハクラブノ唯一ノ練習生久保田先日來病氣中 一昨  
日入院シタガチブスト決定 今日午後二時半頃ツヒニ死ス 六時ニ火葬場ヘ送ルトノコ  
トニ五時半ノ自動車ニテ行ク 丁度出棺スル處デアッタ 初メテ父母ニ會フ  
今井ニ會フ 昨夜帰ッテ來タトノコト 上ノ原ノ様子ヲ聞ク 奈良原、清平、安岡、徳  
次今日帰ルトノコト  
夜十二時頃清平ト徳次帰ル。ソレカラヨク眠レナカッタ

▲▼225ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月3日(土)

天気 晴夕方雨

今日ハ昨夜ヨク眠レナカッタノデ仕事出來ナカッタ  
都市対向ノ野球放送ヲ聞ク

▲▼226ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月4日(日)

天気 晴

奈良原氏來ルトノコトデアッタガツヒニ來ナカッタ  
今日ハマトマッタコトハ出來ナカッタ  
齋藤國松ノ郷土訪問飛行ニツキ内田関口ト三人ヲ呼び初メカラノコトヲヨク聞キ今後

ノ対策ヲ講ジ滿州ノ母アテ手紙ヲクワシク書ク 明日飛行便デ出スコトトス

◆▼227ページ◆▼ 昭和10(1935)年8月5日(月)

天気 曇リ

上京 局ニ行ク 明日検査ノ打合セ 斎藤飛行ノ件 森、川北両氏ト打合セル 自分ヨリ母へ手紙ヲ出シ回答アリタル上出発願ヒ出ルカラ其上ニ許可シテ貰フコトトナル 途中及到着後他ニ迷惑ヲ及ボサザルコトヲ自分ガ保証スレバ許可スルトノコト 其旨手紙ニ書キ加エル。東日ニ行キ羽太氏ニ會フ 上ノ原行ノ打合セヲナシ写真ノ現像ヲタノミ 帝防ニ行ク 五時頃清水氏井門氏帰ル 井門君ニお盆ニツキ十日迄ニ金融ヲ最(ママ)非タノム旨依頼シテ帰ル。五時帰宅 上岡來 一三ノ件円万(ママ)ニ話シ藤原ニ貸スコト諒解ス 三嘴カラ委任状ハ來テ居タガ見セラレナカッタ。三嘴ヨリ第三者ニ渡シタ覺書ナルモノヲ見タ 立會人モ大勢アッタ。一サワギ見モノト見テ心ノ準備ハ出來タ 川辺君ヨリ竹中今井ノ處シラセトノコト 連絡ヲ取ルカラ飛行ノ日取り知ラセト返電ス

◆▼228ページ◆▼ 昭和10(1935)年8月6日(火)

天気 晴曇小雨

高見安次氏小供三人連レ自轉車ニテ朝八時頃來 今夜泊ル 川辺君ヨリ飯塚十四日飛行 十日空輸ノ爲メトノコト 八日出発サセルコトヲ返電ス 辻本氏來場 クラブアンリオ内部 三嘴ニ三フロート(藤原延用)内部検査終ル

◆▼229ページ◆▼ 昭和10(1935)年8月7日(水)

天気 晴

局奨励金受取り分配手配シテ三時頃ヨリ上京 東日ニヨリ打合セヲナス 明日十一時ニテ正木羽太両氏出張トノコト 高橋英二君ヲ訪問 小型發動機ノ件相談ス 高木氏モ陸軍自動車班ニ話シタ處研究費位出ルトノコトニヤツテ見様トノコト 來ル日曜日ニ津田沼へ來ルトノコトデアッタ 浅草ニ行キ羽太氏ニ借りタ。バスデ電氣館ヲ見テ上野ニテ土産ニ甘イモノヲ少シ買ヒタ 食後十一時三十分ニ乗車 コンデ居タ

◆▼230ページ◆▼ 昭和10(1935)年8月8日(木)

天気 晴

明ルクナルトスグ湯檜曾着 本家ニ行ツタガ満員ニテ應接室デ朝食ヲ取り湯デ身体ヲ洗ヒ六時自動車ニテ登山 十時三十八分グライダーノ天幕ニツク 誰レモ來テ居ナカッタガ八時十分頃來 相談ノ上竹中九州ノ川辺ヘヤルコトニ決メ信太郎氏今日一所ニ帰ラセルコトトス 練習ヲ見晝食後一時ヨリ下山 山口道行ク 丁度渡辺君ガ來タ處デアッタノデ其自動車デ下山サセ渡辺君ト山小屋ヲ見ニ行ク 本日黄班ハ七回ツ、練習シタ由 赤班ハワイヤヲ切テ居タノデ二三回シカ出來ナカッタ 昨夜眠レナカッタノデ本部ノ寢台ヘ早ク眠ル 山ロスデニ秋冷エオボエドコトナク秋氣分ガシタ

▲▼231ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月9日(金)

天気 晴後曇リ

羽太正木ドチラモ來ラレナイトノコトデアッタノデ飛行ヲ十一時デ打切り天幕内デ自分デ一場ノ挨拶ヲナシグライダーキヤンプノ万歳ヲ三稱(ママ)シテ解散 一時ヨリソレ、下山ス グライダーモ分解シタモノカラ運搬サセ元愛國ノ黄色ノ分ハ破損箇所ヲ自分ト肥田木デ修理シ組立テ青年團ヘ寄贈シテ下山 山口デ自動車來ラズ三時過ギ漸クバス來 皆帰ル トラックハ一台ツ、來テアトハ四時過ギデアッタ 水上驛ニ降シ六時過ギ本家へ帰ツタガ昨日云ツテ居イタニ部屋ナクオチツケナイ小サナ部屋ヘオシコメラレル。夕食モ貧弱デアッタガ話シガ、ハヅム 玉突ヲ見タリシテオソクナリ十二時半床ニ入ル

▲▼232ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月10日(土)

天気 曇雨

六時起床 部屋ガ小サイノデスワル處モナク少シ散歩シ後チ應接室デ本ナド見ル 八時朝食 十時貨車ガ來ルトノコトニ自分ハ九時十四分發ニテ一足先キニ帰京 一時半東日ニ行キ正木氏ニ報告 羽太氏待ツタガ來ラズ 三時過ギニナツタノデ帝防ヘ行ク 井門不在 奈良原氏先刻話シヲ聞イテ帰ツタトノコト 奈良原氏宅ニ行ク 昨日金ガ出來ル間極ワニ出金者ガ抜引サレタトカ金ハ更ニアテガアッテ出タカラ十二日ニハ何ントカスルトノコトデアッタ由 少々タヨリナイガ帰宅 武中昨日出發シタ由

▲▼233ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月11日(日)

天気 雨

今日ハラジオ体操ヲ休ム

スベテ今日支拂フ様話シテアツタノデ借金取りニ困ル

市川ニグライダー注文モ奈良原氏ダケ來テツヒニ來ラズ明日トノコト之レデ今日ハ完全ニ一銭モ這ラナクナル

工場ハフロードノ爲メニ仕事ヲス 明日内部検査ノ爲メ

信太郎三十八度余リ熱ガ出タガ大シタコトハナサソウデアッタ

午後二時頃木村秀政氏千葉ノ歸リダトテ立寄ル

▲▼234ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月12日(月)

天気 曇晴

鈴木上京サセル 夜ニ入ルモ帰ラズ 結局金出來ナイラシイ

市川在郷軍人会ヨリ椎名氏郡司氏外一名來場 百円内金受取り注文書ヲ貰フ。女工ニ分配ス

將來ノ方針ニツキ出資者アリタル場合如何ニ拡張シ如何ナル方面ニ仕事ヲ進メルカニツキ研究ス

▲▼235ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月13日(火)

天気 曇リ

午後庭掃除ヲサセル

午後一時頃井門君ヨリ電話アリ 出來ナイトノコト ギヤフンデアッタガ如何トモナラズ支拂全部延期 作業電話シタガ妻君一人デモノニナラズ

▲▼236ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月14日(水)

天気 晴

鈴木出勤オソク気ヲモム 川辺ノ件デ上京ヲ急イダガ間ニ合ワズ局へ電話スル 久保田飛行士免状今日トテモ間ニ合ワズ其旨返電ス 夜安岡飛行無事終了ノ返アリ

奈良原氏來 自分市川ノ椎名氏へ行き協会ノ委任状ト残金三十円受取ル スグ帰宅 奈良原氏二五円渡ス

夜九時頃三河屋材木店來 三四日中ニ高山ノ金來タラ渡スコト工賃位渡スコトヲ約ス 協会ノ飛行場奨励金電話ヲカケル 昨日送金シタトノコト

▲▼237ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月15日(木)

天気 曇リ雨

夜業 一時プロット完成ス 発動機朝カラ廻シテツヒニ始動セズ夜十二時頃漸ク廻ル  
徹夜シタガ調子出ス  
松坂帰郷 ツヒデニ三嘴ニ來ル様手紙ヲ事傳ル 水上駅ノ小供ニ名來場 場内ヲ見セ  
テ茶ヲ出シ帰ス 帝防ヘ電話スル 奈良原氏モ今日ハ行カナカッタ由 外タレモ來ナイト  
ノコト  
埴山點呼ノ爲メ帰郷

▲▼238ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月16日(金)

天気 雨

阿野機苦難ノ末大坂着 練兵場ニ降りテ禁足ヲ命ゼラル

終日雨 夕方少シ晴レ模様トナル

其爲メ検査官來場ナシ

鈴木上京 局斎藤飛行許可ノ件依頼ニヤル 協会ヨリ飛行場奨励金ノ千葉送金通知  
書ヲ貰フ 帝防明日二十円ダケ呉レルトノコト

▲▼239ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月17日(土)

天気 曇リ少晴レル

今日モ検査官來場セズ 駒林氏ト電話ニテ話シス 火曜日來ルトノコト ツヒデニ辻本  
氏不在ナレドモ記録ニヨリアンリオ曲技ノ使用ニ得ルヤ否ヤヲ聞ク 多分宜シカラント  
ノコトデアッタ

高山ヨリ菅井及飛驒毎日ノ社員來 飛行機式台ニテ行クコトニナル 菅井トノ契約五  
百円 パラシユートモヤリ菅井ノ費用モ出ストノコト トモ出來ソウニナイガ切符賣レ  
殘金ハ杜ト菅井トニ等分スト云フコト ソレデ菅井ニ費用ヲ出ス予定トノコトデアッタ  
契約書ニ立会人又ハ証人ノ意味デ記名シテホシイトノコトニ書イテヤル

内田父來 内田父ヨリ金受取ッタ電報着込出発サセテハコマルトノコトデアッタ 承知ス  
但シ先方デ金支拂タコトガ確定デアルニモカ、割ラズ父ノ手ニ金ノ這入ラナイ時ハ如何  
ニスルカ、ソレ迄自分ハ責任ヲ持タナイコトヲ云ツテ居ク

加藤二郎夕方羽田へ出発ス 明朝豊橋へ飛行ノ予定

▲▼240ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月18日(日)

天気 晴

朝十一時頃マデハ仕(ママ)極カンサンデアッタ

十一時頃カラ清水ノ一行奈良原氏グライダーノ練習生等來場 加藤二郎十時頃汐

ノヨク引カナイ内ニ帰場 低空デキモヲ冷ヤサセタ。着陸後池本ニ見サセマゲネットヲ付替サセスイッチヲ取り替午後三時七分前出發ス 四時五分前東日須田氏ヨリ電話アリ 根岸ノ競馬場ニサルガ一台ヒツクリ返テ居ルトノコト 加藤ニシテハ時間ガ合ワナイカラ、違フト思ツテ居タラ根岸デナク穴守トノコト通知アリ 山口君ヲ出張サセル。加藤カラモ電話アリ 自動車デ持チ帰ル様話ス 夜十二時自動車着 予想以上ニ大破シテ居タ グライダー練習ヲ行フ

▲▼241ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月19日(月)

天気晴

朝猿田氏九時頃來 一三試飛行ヲ終ル 藤原來

▲▼242ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月20日(火)

天気晴

今日カラアツクナツタ

八時坂本検査官來 八時十分猿田氏ヨリ電話 午前中行ケヌトノコト 坂本氏午後差支アリトノコトニテ一三水上検査出來ズ次回トナル アンリオローン内部検査ダケ終ル

一三水上運轉ハ終ル

今夜初メテコホロギノ鳴クノヲ聞イタ モウ秋ダ

▲▼243ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月21日(水)

天気晴

八時ヨリ上京 局ニ行ク アンリオノ標式(ママ)ヲ貰ヒ井上氏ト拂下ノ打合セラナシ次回試験ノ日取り大体九月末ト聞キ一三水上検査次回定期日トナル

飛行協会ニ行キ井上氏ニ會ヒ正憲ノ件及長山キヨ子、江戸川飛行場ノイヅレモ補助金ノ件ヲ依ス

東日ニ行ク 清水君ト研究所ヘ山崎君ヲ訪問 ソアラ一十二米余ニツツギニ決定シテ圖面ヲ作ツテ貰フコトトス 帰リテ羽太君ニ會フ グライダーノ殘金出ストノコトニ、百五十円受取り内五十円羽太氏ヘ 百円受取ル

安田氏東日ヘ來 ゴム紐一本注文ヲ受ケル

明日鹿島ニテ浦和ノ少年滑走團ノ飛行ガアルノデ羽太氏ニ同道スルコトヲ約シ買物ヲシテ帰ル

帝防ニヨリ清水氏ニ會フ

藤原昨夜帰神セル由 竹中今日帰津ス

▲▼244ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月22日(木)

天気 晴

高見氏八時頃來 先日ノ話シダメトノコト 初メカラダメナシダロウ 九時ノ自動車ニテ幕張ニ行き千葉ニテ汽車ニ乗り替エル 羽太氏ト同車ス 車中昨日置イテ來タ五十円返シタガ渡辺氏帰京後湯檜曾ノ清算シタラ少シ不足ニナルダロウカラ其分トシテ取ツテ居カレタシト渡シテ居ク。笹川正午着 晝食後笹川駅長ノ案内デニ三人同行 利根ヲ渡リ向ヘノ自動車デ砂丘ニ行ク 二級ノ練習ニハ申分ナイト思ツタ 形ノ如ク発會式アリ 終ツテ笹川ニ歸リ土膳旅館ニテ羽太及浦和ノ少年滑走團理事高村氏ト三人夕食ヲ共ニス 羽太氏支拂ヲナス ヨツテ歸リノ汽車ヲ高村氏支拂フ お陰デ自分ハアマリ使ワズニスム。千葉ニテ下車 電車ニテ歸ル 津田沼タクシーへ五円内拂フス 小供ノ自轉車光野氏ヨリツク

▲▼245ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月23日(金)

天気 快晴

五時半起床 頭重カッタガ中山弘一氏訪問ノ爲メ上京 八時白木屋前ノ八洲ホテルニテ會フ 久シ振リデアッタ ナツカシカッタ 十時頃色々話シタリ聞イタリス 結局軍需工業ナラ金ヲ出スカラ軍部ノ仕事ヲヤレトノコトデアッタ 金山ノ方ハ大変ヨイソウダガヨスギテ組合員ヤラタカリ屋ガヨクバルノデゴタ、シ其爲メノ上京トノコトデアッタ。正午帰宅 明日拂下ノ準備ヲシ鈴木伊ヲ出張サセルコトトス 鈴木菊ヨリ高山行サル借入ノ大体承認ヲ得

▲▼246ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月24日(土)

天気 快晴

鈴木所沢へ拂下ニ出張

今朝ハイクラ眠テモ眠ク八時前起床 終日前頭部ヲオサエラレル様ナ眠氣ガシタ。二三日前カラ眠リ病ガ大分流行シ東京デハ今日迄百名ニナリ千葉ニモ二名出來タトノコト熱サモ熱カッタ

▲▼247ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月25日(日)

天気 晴

今日モグラライダー練習 午前中奈良原清水氏來 終り頃片岡右翼スパー折損ヤ、大破ス

ゴタ、シテカナリウルサイ 日曜モ休メナイ

▲▼248ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月26日(月)

天気 晴

鈴木菊ヨリサル借り入レ交渉安岡ヨリナス 一時間二十五円デヨケレバ貸ストノコトニトワル様云ヒツケル。サル整備通常ノ通り取ルコトニシ鈴木伊ヨリ話シサス

▲▼249ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月27日(火)

天気 晴シユウ雨

明日ノ検査ノ打合セ電話デナス

夕方高山ヨリ式百円電爲替來

アンリオ日没迄ヤツタガ少シ仕事ノコル

阿野氏ノ南方コース飛行ノ講演アリ 飛行館へ行クトガ出來ナカッタ 奈良原安岡行。

東京ニテ鈴木菊ト話シ合ヒ結局五円デモ十円デモヨイトノコトニナツタ由 其カワリサ

ル分解今迄ハ自分ノ處デヤルト云ツテ居タノヲ工場デヤツテ呉レト云ヒダシタ

今井仁九州へ出發ス

▲▼250ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月28日(水)

天気 晴シユウ雨

颱風ハ九州南部ヨリ四国中央ヲ通過シツ、アリ 風速ハ二十米突内外 気圧七百三十

ミリ 本秋最初ノ颱風

坂本井上両氏來 一三トアンリオ通過ス

奈良原氏來

高山ヨリ式百円到着 アンリオノタイヤ買ヒニヤル

夜旅順齋藤ヨリ八〇〇エン内田分オツタトノコト アト千円送ルトノ電アリ

▲▼251ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月29日(木)

天気 晴

上京 局へ二三水上、アンリオノ登録申請ヲナス  
磯部グライダー奨励金願書不備ノ件、斎藤飛行ノ件等ニツキ川北氏ト懇談 更ニ予  
算書ヲ出スコト 自分ニ万一ノ場合ノ責任ヲ持ツコト等ノ話シアリ 晝頃加藤直助氏  
ト同道丸ノ内ニ行ク 自分ハ東日ニヨル 帝防ヘ電話シタガ奈良原氏ノ外來ラズ タ方  
帰ル

颱風本州ヲ縦断シテ房総デ太平洋ニ出ル 波ハ道ノ下迄來タ 夜風静カニナル  
夜菅井來

▲▼252ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月30日(金)

天気 晴シユウ雨

鈴木アンリオ堪航証貫ヒニヤル  
南波氏ヨリ電話アリ 今夜會フ約束ヲナス。ヨッテ小林氏ヘ祝金ノコトヲ聞キニヤルト明  
日取引ガアル様ナ話シナノデ自分デ行ク 明日千葉デ取引ノ上登記スルトノコトデア  
ッタノデアク迄事業上迷惑ヲカケナイ事ヲ明記シテ貫フコト ソレガ出來ナケレバコチ  
ラへ賣ツテ貫フコトヲクレ、依頼シ尚名儀(ママ)人デアル鈴木忠兵衛氏ニモ一應話シテ  
置イテ呉レトノコトデ行キクワシク依頼シテ居ク  
斎藤上岡関口ヲ呼ビ飛行ニツキ局ノ意見ヲ話シ覺后(ママ)ヲウナガス。八百円到着  
内十円斎藤困ルトノコトニ渡ス  
夜南波氏訪問 今日ノ状況モ話ス 明日取引不能ノ場合ハ区トシテハ口約解消シテコ  
チラへ譲ルトノコトニツキ買取り方ヲ依頼ス 十時頃迄雑談シテ、中山氏ヲ訪問 アレカ  
ラズット居ラレ明日帰ル由 交渉ハウマク行カナカツタ由

▲▼253ページ▲▼ 昭和10(1935)年8月31日(土)

天気 曇リ雨

上仲昨夜岐阜へ出発シタガ今日雨ノ爲メ中止ス  
昨日内田父ヨリ金送ツテ呉レトノ電報アリシモ送金不可能ニツキ來ル様手紙デ出ス  
鈴木上京 局ト警視廳へ行ッタガドチラモダメデ帰ツテ來タ ヤハリ夜來ル 上京スレバ  
早ク終テモ一日休ミノ心算リラシイ  
氣ニシタ今日ノ取引ハヤハリ四五日延期シテ呉レトノコトデアッタ

▲▼255ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月1日(日)

天気 雨

終日雨 飛行不可能 安岡出発見合ス

▲▼256ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月2日(月)

天気 曇リ

五時起床 六時タクシーニテ船橋迄行 エミ子途中迄徳次同乗サセル 途中野呂君ニ會フ 所沢へ行クトノコトニ同乗サセル  
拂下ハ僅カナモノデ早ク終リ午後分配 引取りモ済マセル  
帰途児玉静治氏ヲ久シ振リデ訪問 割合ニ元氣デアッタ 一時間程居テ帰ル

▲▼257ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月3日(火)

天気 曇リ小雨

腹ガ痛ムノデ終日床ニツク オカユト薬デヨクナル  
奈良原氏來 東日ノ書類事傳ル  
今日モ明日モ飛行不可能ラシ

猪又ヨリ上岡ガベンツヲ賣ツタト聞キ佐藤ヲ呼ビシカリツケ上岡ヲ呼ビナジル 返ツテカレコレ反バクシタガ協会へ反(ママ)納スベキモノヲ賣ツタコトニツイテハ自分で處置ヲツケルト云ツテ居タガ不都合ナヤツダ

▲▼258ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月4日(水)

天気 曇リ

終日在所

▲▼259ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月5日(木)

天気 曇リ

上京 局ニ川北氏ト會ヒ齋藤飛行ノ予算ニツキ詳細聞カレテ説明シ許可ノ件ヲ依頼シ、清水君ニ會ツタノデグライダーノ願書ヲ出ス  
協会ニ行キ飯田ノ領収書提出 小野氏ニ正憲ノ件依頼シテ警視廳へ江戸川ノ願書ヲ出シテ行ツタガ不備デダメ 再ビ局ニ行キ森サンニ齋藤ノ件依頼シテ、課長工藝學校へ行ク自動車ニ同乗シテ海岸ノ件遠藤ノヤリ方ヲ話ス。局ノ方針ハ課長トシテハ公ニハナセナイガ土地ハ全部買収スル計畫トノコトデアッタ 尚出張修理ノ件ニツキ一寸話シテ分レル

安岡埴山ニ機羽田迄行ク

グライダー以外ノ全員デ飛行機ノ降ル土堤ヲ作ラセル 三分ノ一位シカ出來ナカッタ

◆260ページ◆ 昭和10(1935)年9月6日(金)

天気 曇晴

安岡機一時四十分羽田発 五時岐阜着 埴山羽田二引返ス

今日モ一日土運ビラヤラセタガ六分通り位迄シカ出来ナカッタガ明日カラ人夫ヲタノムコトニシテ工場員ハヤメサセルコトトス

山崎君ヨリ電話アリ 明日會フ約束ヲナス

上岡ニ対シ二百円デ買ヒ取り發動機入用ノ時迄借ル事、第二案ハ藤原ノ機体整備シテ出来タラ返スコト ドチラデモイトノコトニ藤原ニ紹介スルコトトス

◆261ページ◆ 昭和10(1935)年9月7日(土)

天気 晴

安岡上仲サル高山着 埴山アンリオ三條着

上京 局二行キ川北氏ヨリ大体許可ニ決シタカ管理課長ガ不在ニテ確定セズ 月曜日願書ヲ書直シテ持参スルコトトス

技術課長ト懇談 飛行場ノ件ホツテ居イテヨイトノ事ニドウヨイカ分ラナイガ言葉ヲ信賴ス 出張修理ノ件ヤハリヤツテヤルヨリ外アルマイルトノコト ソシテ、ダレカ一人デモ出張サセルコトニスル外ナイラシイ 然シ鈴木第一ニ対シテハ將來ヲ問題ニシテ居ラナイラシイ 何ニカ考ヘガアルラシイ 之レモ信賴シテ居クダケノコト

都筑氏訪問 一時間半バカリ話ス 内国航空会社ハ大賛成デ心當ガアルカラ話シテ見ルトノコトデアッタ。目下ハ金山ヲヤツテ居ルトノコトニ早速児玉サンヲ紹介スルコトニ話シテ居ク

東日ニヨル 羽太氏大坂ヨリ帰來

山崎清水君ト飛行館デ夕食ヲ共ニス 山崎君ヨリソアラア翼ノ圖面ヲ貰フ

◆262ページ◆ 昭和10(1935)年9月8日(日)

天気 晴

床次通信大臣午前六時死亡

上天気 山ノ練(マ)中 四丑六七名來場 午前中汐ガマツタケ上ゲル迄練習ス 奈良原氏來場 篠崎ノ聯合分会長來場 奈良原氏帰ッタアト少シ話ス 地代モ全々一ヶ月拂ツタダケノ由

グライダー格納庫見積リ六十五円 安イモノデアアル

鈴木正憲母來場 退院自宅ニ居ル由

▲▼263ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月9日(月)

天気 晴

高山飛行無事終了ノ入電アリ

上京 局川北氏ニ訪滿飛行願書提出 井上氏ノ方へ広島着陸地ノ願書提出ス 一三  
奨励金ノ願書モ出ス 東日ニヨル 皆不在 清水君ト協会ニ行ク 井上氏ニ會ヒソアラ  
奨励金七百円出シテ貰フコトニ交渉  
警視廳へ江戸川ノ願書ヲ出シテ帰ル  
東京高工ヨリノ見學生二名ト夕食ヲ共ニス

▲▼264ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月10日(火)

天気 風雨

高山へ金ノ件聞合セタガ返ナシ アンリオ中芝齒輪破損送レトノコトニ奈良原氏ニ依頼  
シテ新橋駅ニテ客車便ニテ発送ス  
鈴木局警視廳帝防、羽布ワイヤー買物ニ上京  
飯田ノ金三百円到着

▲▼265ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月11日(水)

天気 曇リ少雨

工場方針ヲグライダー完成ニソ、グコトトシ十七日検査受ケル予定終ツテ他ニ進ムコト  
トス

ソアラノ材料調べヲ行フ

午後八土堤ト庭ノ雑草取りニツヒヤス

内田來津セル由齋藤ヨリ聞ク 來ル様ニ事傳ヲヤル

昨日ノ風デ修理仕立ノ飛行機降ス道ガ四五尺取ラレタ 仕事師作業中ニツキスグ直ス  
草ヲ植エル

サルアンリオニ機共名古屋ニ着イタ由入電アリ

▲▼266ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月12日(木)

天気 曇リ

奈良原氏來場 共ニ上京 途中買物ヲシテ、聯合会ビルニ大島興業会社ニ行キ東京大  
島間定期計畫書タノマレタノヲ渡シ地圖モ貸シテ居ク 重役ラシイ老人ト事務員ラシ

イ若イ者ト二人居タガ、第一印象ハヨクナカッタ  
東日ニ寄ル 色々話シガアツタガ奈良原氏ヤ清水君ガ居タノデ止メテ飛行館地下室ニ  
行ク 議案ラシイモノガナイノデ木暮君ガ來タダケデアツタ 競技会ヲ日日ニヤラセテ  
ハト自分デ発言シテ交渉ノ依頼受ケル

▲▼267ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月13日(金)

天気 晴後曇小雨

川辺君ノアンリオ修理ノ件ニツキ局カラ川辺君ニ出頭シロトノコトデアツタガ居ラヌノ  
デ自分上京ス 願書不備ノ點デアツタ 自分ノ處ヘモ修理ニ木工一名派遣方ヲ云ツテ  
來タガトテモ一人ヤ二人デ修理出來ルモノデハナイ コトワルコトニス。ソレニシテモ川辺  
ノサルドウナツテ居ルノカ高橋ニ聞イテ見タク洲崎ニ電話シタガ分ラナカッタ  
羽太氏ニ會フ モス製作費七千円迄予算アルガ來年度ノ計畫デアルガ今一台外國品  
買ツタ上決定スルトノコトデアツタ。獨逸カラノグライダー士ハ陸軍デ呼ンダモノデアツ  
タノヲ聯盟デ呼ンダコトニスルコトニ成功 明日確定スル由。ソアラ製作費立替ノ件  
話シ、返事ハ得ラレナカッタ 最モ一〇年カ九二ドチラカ來月整理スルコトニナルノデソ  
レガキマレバ、其方デ融通ハツク

▲▼268ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月14日(土)

天気 曇リ

▲▼269ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月15日(日)

天気 曇リ

奈良原氏來 グライダー練習 一台ニテ行フ

夜清平來

川辺君ヨリSOSアスソラニテ會ヒタシトノ電報アリ

安岡ヨリ明朝早ク出發スルトノコト

▲▼270ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月16日(月)

天気 曇リ

午後ヨリ上京 午前中安岡埴山帰ラズ

局ニ行ク 検査ノ打合せト藤原ノ試験ノ件デアツタガ飛行場長會議デ航空官ハタレモ

居ラズ 今日カラ三日間續クトノコトニ引上ゲル

之レカラ先キ洲崎へ寄ル 高橋ニ會フ 川辺君カラヤハリ今夕五時ソラデ會ヒタイトノ電報ガアツタ由

東日ニヨル 福知氏ニ會フ 航空本部カラ例ノグライダーノ件デ電話アリ出懸テ行ツタ 羽太氏ヨリ安岡君ノゴム紐ノ金受取ル 九十七円。九十円ヲゴム紐ノ半金ニ入レ七円ダケ受取ル。

ソラニテ川辺君ニ會フ 要領ハアンリオト安岡ヲ借リテ山口縣ヲ濟シタイコト 高橋ノサルデ長崎以下ヲヤリタイコトデアツタ アンリオト安岡不止得承知シテ條件ハ安岡ト相談スルコト。高橋君來タノデ中ニ入り八十円前金貳百五十円爲替 時間五十円イサ早ガ終ツテカラ支拂フ條件ニテキマル  
丸木へ五十円内拂 会報百冊ダケ受取ル

▲▼271ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月17日(火)

天気 晴後雨

昨夜三嘴ガ來タ 朝打合せ 鈴木伊ヲ立會セ上岡ト二人ヲ■ベ結局三嘴ヨリ三百円返ス ソレヲ自分ガ立替テヤルコトニシ貳百円ハ齋藤ノ分ヲ支拂テヤル 以前ノ格納庫料五十円ヲ四十円ニマケテ呉レトノコトニアト六十円ヲ近日下ル奨励金デ支拂フコト ベンツ賣ツタ金ハ三嘴ガ負担スルコト 但シ之レモ自分ノ方デ立替テヤルコト、ベンツヲ上岡ノ機體整備スル時返シテヤルコト

安岡埴山昨夜羽田泊リ 晝頃帰ル 片岡來 色々話シヲ聞ク 當分屋外ヲサセルコトトス

奈良原氏來

▲▼272ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月18日(水)

天気 曇リ

山口縣飛行ニツキ川辺ト安岡ト話サセ結局一ヶ所貳百五十円ニテ二ヶ所キメル 自分トシテハ無事ニ飛行機ガ歸ツテ操縦士ノ手當ガヤツテ呉レバヨイトノ方針デアツタガ金ガ這入ルモノナラアエテ辞退ハセヌ  
鈴木伊無断休

▲▼273ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月19日(木)

天気 晴

久シ振リノ好晴 氣持チヨカッタ

小林氏ト市川郷軍ノグライダー試飛行 辻本氏來 クラブ甲四発内部検査木目田氏第一ヲ済マセテ來タノデオソク來ル 五時終了  
奈良原、清水、市川郷軍ヨリ四名 稲毛ヨリ弍名、新聞記者一名トゴタ、急(ママ)ガシカッタ

利根川氏ノ新フオードデセコンダリーヲ巻上ゲテ試ミタガドラムノ取付ケ不良ニテポールト一本ダメニシタノデ中止ス

藤原明日試験ノ準備ニ來 安岡ヨリ要領ヲ話ス

川辺君ノ爲メニアンリオ汐留駅へ発送ス

◆▼274ページ◆▼ 昭和10(1935)年9月20日(金)

天気 曇リ

今日ハ又曇リトナッタ

藤原ノ試験ガアルノデ朝カラ準備サセル 九時半頃山田氏斎藤氏來 先ヅ飛行前ノ質問ガアツタガ全然ゼロ 飛行試験中止ト辻ナツタガ種々想(ママ)談ノ決(ママ)果実施スルコトトナッタ 汐ハアマリ上ゲズ鈴木ノ前辻押シテ出發 小舟ヲ借りテ黒米君ニ手傳セ自分コイデ洲立辻出ル 八字飛行終ツテ着水ハウマク行ツタ 五百米ヨリノ定着ニ幕張ノ洲立ト間違エテシカモ高度ヲアヤマリ着水前ニ急旋回シテ風ニ向ケタノデ右フロートヲ先キニツキ横棒ヲマケ轉覆ス。山風デドン、沖ニ流サレ漸ク幕張沖デ動カナクナル辻引キ舟ニテ錨ヲ入レテ今日ハ居ク 之レデ數年來自分ガ骨ヲ折ツタコトモ全然無駄骨ニ終ル。物質的ナ損害デ多イガ、彼レニ免状ノ取レナイ事ハ、佐々木氏ヤ局ノ人達ニ対シ面目ガ立タナイ

奈良原氏來

夕方戸野氏來 困ルトノコトニ明日カラデモ一人ダケデ喰ヒツナギニ來テモヨイト云ツテ居ク。其間一等ノ試験ヲ受ケサセテ呉レンカトノコト コイツモ馬鹿カシヲ

◆▼275ページ◆▼ 昭和10(1935)年9月21日(土)

天気 雨

雨が降ルノデ恵外一名計器ダケ取ハヅシニヤル。水深ク作業出來ズト帰ル。明朝ノ最汗(ママ)潮時ニヤルコトニ手配シテ上京 局ニテ鈴木ニ會ヒ奨励金ノ内差當リノ支拂ヒヲ渡シテ帰津サセル 帰津後今朝來タ幕張ノ舟主田岡某へ三円札ヲサセルコトトス。斎藤ニ五十円渡サセ今夜満州へ出發サセル。ソラエ呼ビヨセ今日辻ノ経過、今後ノ予定ヲヨク話シテヤル

局ニテ川辺今日出發出來ナイト弍十円貸ス

東日ニ行ク 三時ヨリ日本最初ノグライダー免状授與式ヲ上ゲル 出席會員二十二

名 信太郎徳次モ参加ス 五時過ぎ終ル 羽太氏ヨリ江戸川格納庫ニ対シ半額七十円ヲ補助スルトノコトデアッタ 尚陸軍デプライマリー五台程注文アルカモ知レヌトノコトデアッタ

午後飛行館ニ例会出席 伊藤喜、徳永氏、渡辺、依笠、山崎、奈良原、外ニ黒沢、今井、清水出席  
九時四十分頃帰宅入浴

▲▼276ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月22日(日)

天気 曇リ雨

五時起床 工場員ヲ動員シテ海ニ行ク 飛行機ノ處六丁度人ノ丈ダケアッテ仕事出來ズ 局ノ高度計ダケ取ハツシテ引上ゲル。幕張ノ受負師ヲタノミ十五円デヤルコトニマカセル。夕方迄ヤツテ居タガツヒニ上ガラナカッタ

▲▼277ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月23日(月)

天気 雨

鈴木ヲ局へ高度計返シ甲四ノ標式貫ヒエンジン部ノ買物 卅日ノ飛行許可申請ニ警視廳、協会へグライダーノ金今月中ニ出ス様依頼ニヤル

今日モ引上作業終ラズ 幕張ノ洲立ノ前迄引上ゲタダケデアッタ 颯風ガダン、接近シツ、アリ今夜ハ警戒ヲ要スルノデ心配ス ラジオハ終夜三回放送サレタ

山口三田尻ノ安岡へ颯風ニ注意スル様打電ス

金送金ナク不安

奈良原氏來 十円渡ス 平松氏來 改造アプロノ件ニツキリンクス手ニ入ルヤ井上氏へ電話ニテ依頼ス

▲▼278ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月24日(火)

天気 風雨

颯風ハ宮崎縣ニ上陸停帯(ママ)中 瀬戸内海房総沖ニ別低気圧発生 其爲メ猛列(ママ)ナ雨トナリ北ノ風又強シ 終業後久々田方面へ帰ルモノハタクシーヲ頼ンデヤル  
一三式天候不良ニテ今日モ上ラズ

藤原ヨリ手モ足モ出マセントノ手紙來タダケ 少シ常識ガナサスギル様ダ

▲▼279ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月25日(水)

天気 晴時々雨

新事ム室ヲ作りツ、アルモ昨日ノ雨デ又土ガ一パイタマツタノデ今日八岸ノ家ヲ一日タノミ自分モ手傳ツテ防土作業ヲ作り晝前盆栽ノ植替三四鉢ヤル  
午後散髪

夕方鳥飼氏來 例ニヨリマグネット二三個トパイプヲ持ツテ帰ル 夕食ヲ共ニス  
今日工場ヨリ数名行キフロートダケ取ハツシテ帰ル 翼ハメチヤ、ニナツテ居ル由 今  
日モ機体上ラズ

▲▼280ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月26日(木)

天気 晴

久シ振りニ晴レル 颱風ノアトハ利根川ノ大水トナリ上越、信越東北各線不通トナル  
今日コン引上ルトテ意気込ンデ行ツタガ夕方帰宅スルト尾部ダケシカ上ツテ居ナカッタ  
ヤハリ汐ガ高クテ作業ガ出來ナカッタトノコト  
片岡ト上京 錦糸町デ分レフォードノ部品、古モノヲ買ヒ工藤写真店ニ寄ル 大分金  
ガ出來タカ店ガ立派ニナツタ 写真ノ取枿ヲタノミ、局ニ行ク 明後日ノ拂下三十円  
位用意スレバヨイトノコトデアッタ 東日ニ羽太君ヲ訪問 一三式ノコトヲ聞ク 東日ト  
瓦斯電トニ台ニナル 一〇年モヤルコトニナルラシイ

▲▼281ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月27日(金)

天気 晴

本格ノ秋日和トナル  
本日漸ク一三式引上ゲヲ終ル 胴体ダケデ足モ翼モナイアワレナ姿デアッタ スグ発  
動機ヲ水ニツケル 藤原へ右ノ趣キト引上ゲノ困難デアッタコト 受負師二十四円支拂  
ツタ領収書ヲ同封シテ尚免状取レナカッタ残念ナコトヲ申送ル  
明日三田尻無事終リタル由

▲▼282ページ▲▼ 昭和10(1935)年9月28日(土)

天気 晴後薄曇リ

六時ヨリ所沢ニ行ク 九時着 拂下手續キ十一時前ニ全部終了 運送店ニ引渡シテス  
グ引返ス 十二時高田ノ馬場着。日大中第一へ直行 徳次ノ件ニテ受持教師ト会フ  
現在デハ上級學校ハ六ヶ敷シ 余程勉強サセネバナラナイ。尚経ノ方ナラ大低(ママ)入  
學出來ルトノコトデアッタ

信太郎ニシテモ徳次ニシテモ余程考エテヤラネバナラナイ 朝食モタベテ居ナイノデ、両

国駅ノ食堂へ行クト丁度友野氏ニ會フ 木更津へ組合ノ遊ビ旅行ダトノコトデアッタ

◆▼2833ページ◆▼ 昭和10(1935)年9月29日(日)

天気 薄曇リ

山ノ連中ガ大分來テ、グライダーハ賑フ

今日ハ六百ノグライダー全部写真ニ写ス

奈良原氏來

吉田重雄君昨夜來 惠美子ニ腕時計ヲ持ツテ來テ呉レタ 氣ノ毒デアッタ

夜信太郎ト碁ヲヤリ後家ノ設計ヲナス

クラブ久シ振リニ新入會者アリ

◆▼284ページ◆▼ 昭和10(1935)年9月30日(月)

天気 晴

昨夜八丈島沖ノ颱風ハ洋上ニソレテ今日ハヨイ天気ニナッタ

クラブヨリ四十円取り銀行ダケ入レテアトノ支拂ハ一切七日頃迄延期シテ上京 局ニ行ク。リンクスヲアブロニツケルコトニツキ聞合セタリ齋藤ノ許可ノ件ニツキ尚誓約書ヲ入レルコトヲ聞イタリス 森サンニ會ツタノデ聞クト昨日片岡ガ話シタコトハ全々ウソデアッタ 丁度朝日ノ中野君ガ來タノデ聞クト昨日カラ人夫トシテ使フコトニシタトノコトデアッタノデ半分ダケハホントーラシカッタ

東日ニヨリ、ヒット君ハ明日午後三時二十五分東京駅着トノコトデアッタ 協会へ慰靈祭ニ行ク。七時頃帰宅

◆▼2855ページ◆▼ 10月

収支予算ヲ編成スルコト

製作部ノ擴充ヲハカルコト

◆▼2869ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月1日(火)

天気 晴

朝川辺、安岡、二手紙ヲ書ク 九時半ヨリ上京 局ニ齋藤ノ誓約書ヲ持參。早川氏ニ小林晴夫ノ試験ノコトヲ依頼ス。協会ニ行キグライダーノ写真ヲ提出 特ニ五日迄ニ金ヲ間ニ合セテ貰フ様ニタノム。會計ガ居ナカッタノデ後チ東日ニヨリ電話シテ會計ニタノム

承認シテ呉レタ。奈良原氏東日へ來 共ニ帰ル 帝防イヨ、江戸川ノ草カリヲ初メル由  
夕方帰ルト大戸ガ半分開ケ放シ、發動機室ノ窓モベテナカッタ 定點モ眞赤デアッタ  
ヒルトハ昨夜下関ニ泊シタノデ明朝七時十分着ノ予定

◆▼287ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月2日(水)

天気 曇リ小雨

ヒルト着京

五時半ヨリ上京 信太郎徳治、今井同行 東京駅ニ獨逸グライダー界ノナンバーワン、  
ヒルト氏ヲ出迎エル 精養軒ニテ奈良原氏外三四名トコーヒーヲノミ時間ヲ消シテ汐溜  
ノ丸通ニ行キ川辺ノ運賃廿二円五十錢受取ル(自動車賃) 佐藤ニヨリ買物ヲナシ局ニ  
立寄り井上氏ニ報知ノ交渉シテ貰ヒ正午帰宅  
工場員ノ規律乱レ居リ注意ヲ與ヘル  
安岡昨日帰りタル由 今日川辺君ヨリアンリオ使用ノ件ニツキ手紙來タガヨク分ラナ  
イ

◆▼288ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月3日(木)

天気 曇後晴

六時半出テ霞ヶ浦へ下見ニ行ク 今日八十人ばかりニナル。晝迄ニ終ル 井上氏ヨリ報知  
ノリンクス譲リ受ケキマッタトノコトデアッタ 二時二十分ニテ東京迄行キ東日ニヨル  
ソアラノ製作金立替ノ件聞イタガマダ話シナイトノコトデアッタ 十年式ハ羽田ノ分  
トノコト 二十二日迄ニ來ル由 平松氏へ速達ニテリンクス手ニ入ッタコトヲ申送ル  
帰宅後食事 協会ノ金今日モ取レナカッタ由

◆▼289ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月4日(金)

天気 晴

鈴木横須賀へ入札ニヤル クラブアンリオ其他着陸ノ爲メ市川へ行ク  
朝安岡ニ會フ 様子ヲ聞ク アンリオ十五日迄ニ六ヶ敷ソウダ。ハタシテ午後川辺ヨリ  
十三日宇部キメタト入電アリ 夕方安岡帰場後相談ノ上十三日迄ニツカネバ間ニ合  
ワヌ サルアスケンサスミジタイ送ル、止ムナクバ運賃チヤクハライニテモヨシト打電ス  
グライダーニ台ノ金這入ル 工場員ニ四百円 其他ノ拂ニ二百円ニチゞメル  
平松氏來 アプロ改造型式千五百円、デ百五十円平松氏ニ禮ヲスルコト 片岡小供ヲ大  
坂へ預ル爲メトテ式十円貸ス

◆▼2900ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月5日(土)

天気 晴

鈴木ニグライダー競技大会ノ規定ガマダ出来テナカッタノデ大至急ニカ、セ九時半ノ自動車ニテ上京 洲崎ヘ行ク 高橋來テ居ラズ 清水ト同車シテ通信省ニ行ク 清水ニグライダー規定ヲ渡ス 局ニテ課長ヨリ軽飛行機ノ奨励金ヲヤルカラ願書ヲ出セトノコト 年度内ナラ維持奨励金、來年度ナラ試作奨励金ヲ與レルトノコトデアッタノデ南波氏ニモ話シ試作ヲ貰フコトス。平松氏ト同道報知ニ行キ早川氏ト會ヒ中村局長ニ会见 リンクス百田ニキメスグ、現金デ拂ヒ平松氏ト共ニ羽田ニ行ク。スグ津田沼ヘ引取リノ手續キヲ取り自分ハ東日ニ行ク 羽太氏不在 帰リニ三河ヨリ五十円拂ヒアト注文ヲナシ、佐藤ニヨリカニタイ注文シテ帰ル  
清平來テ居タ

◆▼291ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月6日(日)

天気 晴

午後一時エチオピア、アトアハ伊軍ニ占領セラルトノニュースアリ  
朝夕早クグライダー練習ナシソレデモ大分來タ  
奈良原氏清平、同友人ト晝食ヲ共ニス  
夕方今日買ツタ南天トシヤクヤクヲ植エル  
高橋ト連絡ヲ取ル 明日検査確實ニ通ルトノコトニ川辺ヘサル八日オクレルオンリオスグカエセト打電ス 夜シヨウチアス出ストノ返信アリ

◆▼292ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月7日(月)

天気 晴

鎮君ガ満州支那ヲ飛ンデ今日羽田ニ來ルト云フノデドウセ歡迎者モ少ナカロウト思ヒ花束ヲ用意シテ行ツテヤル 其前局ニ一寸寄ル 鉄板ノテスト出来テ居テ少シ悪イ點モアッタガ使ツテヨイトノコトデアッタ。三時半無事到着 ソレデモ花束ガ四ツ五ツアッタ人ハ少ナカッタ 殆ント京城日報ノモノダケノ様ニ思ワレタ  
シプシーモス右上翼破損シテ居タノデ朝日ノ山本氏ニスケッチ方々修理方依頼ス  
片岡マダ大坂ニ行カズ 小供ノコトデゴタ、シテ居ルソウダ 夜ヒルトノ講演ヲ聞イテ帰ル

◆▼293ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月8日(火)

天気 晴

午前中在所 平松氏來 第一回ノ八百円ノ内スデニ弍百円受取済ミ アトノ六百円  
本日受領 内五十円同氏へ自動車代十五円支拂フ  
洲崎ニヨル コレカラサルノ検査ヲヤツテ貰フ處デアッタ 局ニ行キ検査日ヲ十一日トタ  
ノミ川北氏ニ外務省へ電話ヲカケテ貰フ マダ三四日カ、ルラシイ 井上氏ニ弍式ヲ特  
別ニタノミ東日ニ行ク 福知氏羽太氏居ル  
五時ヨリ東京會館ニ行ク 通信大臣、獨逸大使モ出席 ヒルト氏ノ挨拶ハ中々頭ノヨサ  
ヲ思ワセルモノガアッタ 徳川閣下モ見エテ居タノデ閣下ト近藤少佐ニ見学ニ特別取ア  
ツカヒ依頼ス。尚將來ノ製作ヲタノム  
今日ハ頭ガ重カッタ 夜帰りニ古千錠ト云フノヲ買ツテ見タ 高イ菓ダ

▲▼294ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月9日(水)

天気 晴

終日在所ス

▲▼295ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月10日(木)

天気 晴

八時頃石田南波両氏來 アンリオノ延期検査 甲四ノ特別検査 鈴木サルノ内部検  
査 同甲四試飛行ニ前ガ重ク直ス中ニ汐ガ來テ中止トナル  
アンリオ駅へ到着ス(川辺君ヨリ帰ル)  
午後三時ヨリ上京 東日ニ一寸ヨル 福知氏十四日ニ遊ビニ行クトノコトデアッタ 五  
時古今亭ノ日本飛行クラブノ秋季總會ニ行ク 会スルモノ八名 内遠藤ガ今春ノ問題  
以來初メテ出席シタノハ意外デアッタ。役員ノ改撰ヲ終リ十一時散会ス

▲▼296ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月11日(金)

天気 曇リ雨

朝起キニクカッタノミナラズ終日眠カッタ 午後二時間程眠ル  
アンリオ運賃百八十二円九十錢デ銀行カラニナル 差シ當リアト困ルコトニナッタ。今  
日保儉(ママ)署モ延バシテ居ク 最モ鈴木休ンデ來ナカッタ爲メデアッタ  
今日江戸川へ格納庫ノ金持ツテ行ク約束ノモ中止ス

▲▼297ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月12日(土)

天気 曇時々晴

早ク奈良原氏來 同道シテ大貫氏ニ行キ八十円格納庫内金渡ス 飛行場ヲ見草刈ヲ  
タノミ共ニ椎名氏訪問 草刈ヲ明日タノシダガ明日明後日ハ検閲デダメトノコトデ、  
明日イクラカ出シテモヤツテ貰ツタ方ガヨイト相談シテ明朝奈良原氏ニ行ツテ貰フコト  
トシテ帰ル

中田來 アンリオ貸シテ呉レトノコトデアツタガコトワル 鈴木ノアンリオ買ツタ由  
夜十時頃電話ニテ清水君ヨリ明日ヒルト行クトノコト 自動車ヤレルカトノコトナリシ  
モ一度モ試験シテナイカラダメダト云ツテ居ク

◆▼2988ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月13日(日)

天気 薄曇晴

奈良原氏早朝ヨリ來場 ヒルト來場ノ準備大サワギヲシタガ結局二時半迄ガ一杯ニナ  
ツテカラ來場 御世辞ヨク自分ガ飛行機ヲ初メル頃スデニ僕ノ名ヲ聞イテ知ツテ居タ  
トノコトデアツタ。自動車ノ巻キ取りモ汝ノ爲メ出來ズ オマケニ東日ト宅ノ自動車ガ  
埋ツテ水ツケニナルサワギニ大サワギヲシ七時頃ヤット羽太氏等帰ルコトガ出來タ

◆▼2999ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月14日(月)

天気 晴曇

今村ヤハリ段取り悪クサツパリダメダ 大口ニ変様カシラ  
今日ヨリ大工二名來 グライダーヲヤラセル  
十時半ヨリ江戸川ニ行ク自動車ナク歩ク  
晝食後警視廳へ電話シテ助川警部ニ來テ貰フコトトス 四時頃來 格納庫モ建テカケ  
テ居ルシ今日一日デ今迄ノ倍程カッタアツタノデ漸クグライダーダケト云フコトデ許  
可ヲ受ケルコトトナル 帰宅。満州カラ許可ニツキ又電報ガ來テ居タ。

◆▼3000ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月15日(火)

天気 曇リ

角ノ試験ニ金ナク困難ヲ感ズ 江戸川モアト金ヲヤラナイト明後日カラノ練習ニ格納  
庫ガ出來ナイ様デモ困ルガ這入ル道ナク東日ノ様子ヲ見テ補助金ヲ貰フガ最モキレイ  
ナ方法トシテ八十年式ヲ早く輸送サセテ内金ヲ貰フ方法ダガ之レハドウシテモアト数日  
ヲ要スル 兎ニ角行ツテ見ル 先ヅ警視廳ノ江戸川許可申請ノ不備ナ點ヲ訂正シテ東  
日ニ行ク 福知氏居ル 今夜大坂へ行ク由 結局十年式ヲ明日空輸シテ貰フコトニキマ  
ル 羽太氏明日頃ヨリ上田へ行ク由 内金ハ二十日過ギル 三時半帰ル。局ニモヨリ齋

藤ノ許可急イデ貰フコトトス

▲▼301ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月16日(水)

天気 雨

早朝角田氏來 後チ森航空官來 雨降タリ止ンダリデ午後角ト小林二人場内ダケ  
終了ス。東日機一時半着 大田和氏ト梅本君同乗。梅本君二片岡ノ冬服渡ス  
昨夜打電シテ居イタ篠君來 グライダー一機注文取り百五十円受取ル 内二十円篠  
ヘヤル 金主ハ橋本豊藏トカ云フ人デアッタ  
夜佐藤ト三番碁ヲヤリニ番負ケル

▲▼302ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月17日(木)

天気 雨

予報ハツレテ今日ハ大雨トナル 森航空官モ見エタガ中止 明朝七時発野飛外飛行サセ  
ルコトトナル  
平松氏ノ改造アプロ重心點ヲ定ム  
今日モホルモンノ注射ニ行ケズ明日ニス 醫者ニタノシタマ、デ待ツテ居ルダロウ  
仁三郎ハ此二三日釣ガ面白クナツテソレデモ毎日二三寸ノキスニ三匹ヅ、釣ツテ來タ  
ガ今日ハ五六寸モアルセイゴヲ釣ツテ大嬉(ママ)ビデアッタ  
安岡中田ノ爲メ四日市へ出發ス

▲▼303ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月18日(金)

天気 晴

森航空官六時十分來場サレタガモヤ出テ出發出來ズ 午後ノ汐迄アマリ長イノデ千  
葉ノ大巖寺へ鵜ノ森ヲ見物ニ行ク 帰ツテ晝食後待ツタガ今度ハ汐ガ汗(ママ)カズ飛行  
不能 明朝出テ洲崎へ帰スコトニ決定シテ三時半帰京セラル  
鈴木伊上京 局、交信社、佐藤ニヨラセル  
事務室ノ内部出來上ル ドアヲ作ラセネバナラス。  
奈良原氏ヨリ許可証持ツテ來イトノコトニ徳治ニ持參サセル  
夕方ヨリ卒業生名札ヲ書ク 九時書キ終ル

▲▼304ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月19日(土)

天気 晴曇

五時四十五分起床 七時前航空官來 天氣ヨク七時三十分角 次ギニ小林 次ギニ帝國、第一ノ五機計七機約三分毎ニ發

角ガ大分マヨッタラシク二時間半カ、ッタダケデ皆無事着 帰還ハ汐ノ爲メ洲崎へ帰ル 三時半頃電話アリ無事帰還ノ報アリ 竹中萩原洲崎へ出張

江戸川ハ午後明日ノ準備ノ爲メ肥田木ヲヤル アトエ九号破損シタカラ十号ヲスグ送ッテ呉レトノコト 明朝七時自動車來ル様手配シテ分解ス

◆▼305ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月20日(日)

天氣 快晴

近來メヅラシイ快晴 早朝グライダー十号江戸川へ送ル

小學校ニ運動会ガアリ皆出デ久シブリデュックリシタ日曜日デアッタ。ボンサイヲ數鉢 植替エラナス

木更津ヨリビラ撒キ飛行ノ申込ミデ來場 同乗飛行モヤリタイトノコトデアッタガ同 乗飛行ハ許可ガナクテハ出來ナイコトヲヨク話ス。出來レバ一人五円 タ、シ十人以上ノ 場合ハ二割引ノコト ビラハ一時間五十円ノ割ハ前金ノコト

小栗常太郎來 川辺君ノ居所トローン八十ヲアンリオニ使用シタコトノ承認ヲ名刺ニ書 イテヤル

◆▼306ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月21日(月)

天氣 快晴

齋藤ノ広島着陸延期願書ヲ局へ出ス 許可ノ件川北氏ヨリ外務省ニ話シ至急電報ヲ 打ツテ貰フ 東日羽太氏ニ江戸川格納庫ノ補助願書ヲ提出 百円位出ス様ニ仕様トノ コトデアッタ

夕方山崎氏ト會フ 青写真コレカラ焼カセルトノコトニ代金拂ツテ呉レトノコト今日ハア イニク百五十錢ヨリ殘金ナク止ムナク東日ニ電話シテ羽太氏ヨリ十円借りル 清水君 持ツテ來テ呉レル。胴体圖ヲ受取り九時帰宅

◆▼307ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月22日(火)

天氣 快晴

朝ホルモンノ注射ニ行キ齋藤ノ宅へ千円送ル様打電ス アトヨリ局ヨリ許可ノ通知アリ 早速其旨打電ス 廿四日大安ニツキ羽田ニ空輸 ヨケレバ其マ、大坂へヤルコトス

平松氏來

木目田井上氏來 八七機体並ニ鈴木サル發内部検査終了ス

夜五百円ダケ來 アトスグ送ルトノコト

◆▼308ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月23日(水)

天気晴

齋藤ノ準備ニ多忙 朝金明日ノツモリノ處夕方五百円來 明朝九時迄ニ受取レルコトトナル 先キノ五百円午後受取ル 齋藤買物ヤ質受ケ二百式十円渡シタノデアトノ支拂ヒ半額ツヽニシテ本人ニ五百五十八円余ヲ貸(ママ)ニ入レテ渡ス 以上スベテ計算書ヲ明細ニツクリ領収書モ添エテ本人ニ渡スコトニ夜ツクツテ居ク  
奈良原氏來 帝防へ行クトノコトニ三円渡ス

◆▼309ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月24日(木)

天気晴

六時起床 今日ハサスガニ齋藤モ早く起キテ來タ

スベテヤツケニ羽田ニ向フ 途中電車内デ許可証ノコトヲ思ヒ出シタノデ局へ寄ルトハタシテマダ出テ居ナカッタ 行ツテカラ局長ヤ文書課ノ判ヲ貰ツテ羽田ニ行ク 十一時ニナツタ 自分ガツクト丁度飛行機ガ頭ノ上へ來タ 着陸モマツカッタ 尾櫛ノゴムヲ切ツタノデ日本飛行學校デ直シテ貰ヒ五円札ヲスル ○時四十分發 一時十五分箱根通過ノ報ヲ聞イテ東日ニ行キ羽太氏ニ一〇年見積書ヲ提出 承認ヲ得。局ニ行キ齋藤ノ着報ヲ待ツ 五時漸ク入電アリ 大坂着イタガ格納庫ニ當リ。ペラト右下翼ヲ破損シタ由。スグ帰宅 下坂スルツモリノ處丁度大坂ヨリ電話デ。ペラダケ送ツテ呉レトノコトデアッタ由 スグコチヲヨリ電話シテ関口ヲ呼び聞ク 大坂ニテ同情シテ下翼取替飛バシテ呉レルコトニ。ペラハ朝日カ國粹デ借リル様申送ル 明バン發デ大坂へ行ツテヤルコトトス

◆▼310ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月25日(金)

天気晴

無理算段デ漸ク今日ノ会合費ト旅費出來ル 今夜ハ清水氏ノ方カラ四人來テ江戸川着工ノ報告アリ 二人ハ請負者ラシカッタガ酒席デ何ンダカゴタヽ話シテ聞キグルシカッタ。安満閣下ガ見エナカッタノハ残念デアッタ 御客ノ荒蒔中將ダケ來タ ソレデモ今八十四人ニナツタ 盛会デアッタ 終ツテ九時半ノ汽車ニ乗ル 大分コンデ居タ

◆▼311ページ◆▼ 昭和10(1935)年10月26日(土)

天気晴

七時半着 スグ飛行場ニ行ク。飛行場事務所ニ山田サンガ來テ居タ 玉宮サンハ直シテ飛ンデヨイトノコト 山田氏ヨリ関口ニ操縦サセルコトヲ條件トシテ飛行繼續ノ許可ヲ得ル

撫順へハ廿九日出発予定ノ打電ヲナシ晝食後帰宅。夜中鵜飼來 十時頃帰ル  
今日ハ少シモツカレナカッタノハホルモンノ御陰ヲシイ

▲▼312ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月27日(日)

天気 曇雨

昨夜大雨アリ今日ハ天候不良 午前中新世界ニ行キ動物園ヲ見物シ晝食後大毎へ行ク タレモ居ラナイトノコト 玄関デ相羽君ニ會フ スグ分レテ飛行場ニ行ク 翼ノ切張り中デアッタ 一度帰宅シテ兄ノ和服ヲ借り、南地ノ本みやけニ行ク 丁度六時キツカリ。会スルモノ十三名 ウマイ牛肉デ氣持ヨクノメタ。談航空輸送ニ及ビ坂東氏ハ大型水上ヲ 小生ハ小型陸上ヲ主張シモノ分レトナル 次ギノ懸案トシテ。來春ハ箱根アタリデトノコトニキマル

▲▼313ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月28日(月)

天気 晴

検査ヲスマス爲メ飛行場ニ行ク 出來上ツテ居タ 十一時頃検査飛行モ終ツタノデオト才勘定ヲシ損害ヤ修繕費ノ支拂ヒヲ終リ盾津へ同行ス 明朝出発トノコトヲ航空官ニ挨拶サセテ競技会ヲ見ル グライダーノ飛行機曳行ヲ初メテ見タ ウマク行ツタ 帰途新世ニヨリ牛肉ヲ馳走シ二人ヲ電車迄送ツテ帰ル 斎藤ヨリ帰りノ旅費二十円取ル

▲▼314ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月29日(火)

天気 晴

五時半起床 六時木津川飛行場着 丁度郵便機ガツイタ七時準備終了 二人ヲ連レテ局へ行ク 玉宮氏モ來テ居テ天氣ハ全部上等 モヤノ晴レルノヲマチ七時五十四分出發ス。佐渡島ニヨリ中山氏ニヨッタガマダ來テ居ラレナカッタ 本店ノ當主ニ會ヒ少時話シテ帰宅 ツバメニ乗ルコトトシテ仕度シ晝食後出ル 一時半ダト思ツテ居タ處一時ニ出テシマッタトノコトニ大毎ニ行キ大蔵ニ會フ 丁度九大ノ佐藤氏志鶴君モ來 和田君モ今朝帰ツタトノコト 三時頃前ノ一三ノ操縦線ノ話シガ出テ取カエタトノコトニ古イノヲ貰ヒニ格納庫へ行キ帰ツテ大蔵ノ宅ニ行キ夕食ノ馳走ニナル 終ル頃近處ヨリ大火アリ大サワギス キエタ頃辭ス 十時ノ汽車ニ乗ル

▲▼315ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月30日(水)

天気晴

午前八時半東京駅着 スグ局ニ行キ経過報告ヲナス 課長ガヤツテ來タ 外ノ人ハマダ  
帰ツテ來ナカッタ 東日ニヨリ、佐藤ニヨリ大毎ノ四ミリ操縦線半分ダケ負担シテ貰フ  
コトニキメル。スグ帰宅シヨウト思ツタガナントナク氣ガ進マズ浅草ニ行キ活動ヲ一ツ見  
テ夕方六時頃帰宅 ナンダカ悪イコトデモシタ様ニ氣ノトガメルコト

▲▼316ページ▲▼ 昭和10(1935)年10月31日(木)

天気晴

午前中カレコレインソガシク十一時ヨリ出ル 東日ニ行ク マダ傳言來テ居ラヌ爲メ羽太  
氏ヨリ聞合セノ傳言ヲ出シテ貰フ 九大ノ佐藤博士來 三時過ギ三人同道局ニ行ク  
自分ハ川北氏へ齋藤新義州着ノ報告ヲシテ用件ヲ終ル。永田重治君ニ會フ 一期生ノ  
十五箇年ノ會合ノ爲メニ來タトノコトデ河内、小川君等モ來テ居タ。三四日頃津田沼  
へ來テ久原氏へ工場出資ノ話シヲ相談シタイトノコトデアッタ 佐藤氏モ三四日頃來ル  
由 南波氏トモ永ク話ス 五時先キニ辭シテ帰宅。清平來テ居タ  
信太郎ノ學校へグライダー外數品ヲ貸ス

▲▼317ページ▲▼ 11月

今月來月ノ作業最努力ヲ要ス

▲▼318ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月1日(金)

天気晴

十一時迄二日日へ行ク予定ガダン、延ビテ十二時宅ヲ出ルコトニナッタ 今朝ハカナリ  
雑用ガ急(ママ)ガシカッタ  
社ニ行ツテ見ルト誰レモ居ラズ 羽太氏ハ箱根へ行ツタトノ書キ置キガアッタ 傳言帳ヲ  
見ルト大坂カラ五百円渡セト來テ居タ シバラク清水君デモ預ツテ居ナカト待ツタガ  
來ラズスグ引返ス 米ノ金ガ氣ニナッタノデ作業会社ニヨリ請求シテヤツト十円受取り  
歸ル

▲▼319ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月2日(土)

天気 晴

奈良原氏來場 鳥飼氏モ例ニヨリ又大分持ツテ帰ツタ。エヤープッシヤーノポンプ安イノガアルトノコトニ行ツテ見ルコトヲ約ス  
今日ハ鈴木ヲ日ハヤル 五百円貰ツテ帰ル 佐藤ハ四十円支拂ヒ工場員ハ大体三百円アト止ムヲ得ザルモノノ内更ニ急ヲ用(ママ)スルモノ式百円支拂ヒニアテルト少シモ残ラナクナツタ

▲▼320ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月3日(日)

天気 晴

九大佐藤氏來場スルカモ知レナイノデ外出ヲ止メソアラ一胴体ノ現圖ヲ引ク  
東日ヨリ十年式ノペラ大坂へ送ツテ呉レトノコトニ休ミニカアイソーナノデ自分デ荷造シテ至急便ニテ発送ス 檜材トベニヤ板引取ル  
市川ハ大分來タソウダ 今日ハグライダーヲコワサナカッタ由

▲▼321ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月4日(月)

天気 曇リ小雨

今日モ佐藤氏永田君來ルカト待ツタガ來ラズ  
終日ソアラ一現圖引キ

鈴木千葉ノ保俚(ママ)署へ金持參サセツヒデニ正憲ノ様子ヲ見ニヤル 大熊醫師ニ手術ノ件ヲ聞合セル。肺ガ悪イノデ出來ナイトノコトデアッタ。正憲モ母モ寢テ居タ由 明日店ノ仕入ノ金ヲ拂ワネバナライノデ式十五円カ三十円貸シテ呉レトノコトデアッタ由 返済ハ大熊カラ四十円取ル 金ガアルカヲトノコトデアッタガ 帰來 大熊ニ聞カセルト十五円ヨリナイトノコト ソレモ眼鏡ヲ一端呉レト云ツタノヲ廿五円デア買フコトニナツタトノコト 内十円渡シテアル由 其外ニ何ニモ買ワナイトノコトデアッタ ドウモ困ツタモノダ

▲▼322ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月5日(火)

天気 曇リ晴レタリ降ツタリ

奈良原氏來場 昨夜下ノ関ヨリ主催者ナリトテ十日ニ大會ヲヤルノデア安岡最(ママ)非借リタイトノコトデアッタ スグ相談シタガ結局八七八安岡ヨリ外ニ乗ルモノガナイノデ最(ママ)非帰ル様打電ス 鈴木上京 帝防へヨラセル 警視廳へモ九日ノ綱引許可申請ニヤル。

夕方依笠氏中島ヲ連テA会員ニ入会サセルコトニ來ル

夜更二川辺君ヨリ昨夜主催者切腹生死不明種々事情ヨリ今度ダケ安岡最(ママ)非貸シテ呉レトノ電アリ 時間ガセマツテ居タノデ止ムナク貸スコトノ返ス スグ黒沢ヲ呼びニヤリ八七拡張取ラセル準備ノ打合セラナス。作業明朝ガソリン間ニ合ワザル由

◆▼323ページ◆▼ 昭和10(1935)年11月6日(水)

天気 雨曇リ

朝散髪ヲナス

黒沢局へ八七拡張ノ件ニテ行ク 明日早川氏來テ呉レル由  
木工部モ本日ヨリ夜業

◆▼324ページ◆▼ 昭和10(1935)年11月7日(木)

天気 晴

昨夜カラ氣持チヨク晴レル

奈良原氏來 黒沢八七拡張終リ局警視廳江戸川飛行場へ行ク 奈良原氏來 黒沢君ト共ニ江戸川ニ行ク

午後山崎氏來場 ソアラノ圖面改造ノ部分ニツキ想(ママ)談 四時失禮シテ上京 帝防ニ行ク。木曜会スデニ開(ママ)散後デアッタノデ楓井君ニ電話デ要領ダケ話ス。技術課長ヨリ今日帝防ノ内容ニツキ聞合セアリ 其回答ニ明日行カネバナライノデ清水氏ヨリヨク聞ク

東日ニヨリ陸軍デグライダー製作注文ノ件羽太氏ヨリ聞ク マダ知ラナカッタガ注文ニツイテ話シハアッタ由

明日大蔵飛來 十日十時出發ノ予定 見送り飛行三機引受ケル  
九時半帰宅

◆▼325ページ◆▼ 昭和10(1935)年11月8日(金)

天気 晴

五時起床 五時五十分ノ電車デ成田ニ行ク 今年ニナツテ初メテノ御参リデアル 永イコト氣ニカヽツテ居タガ漸ク大蔵ノ南洋飛行ノ爲メ今日ハタセタ 大蔵ノ成功ヲ祈ツテ御札ヲ買ヒスグ帰ル 八時半朝食後工場ノ用件ヲ命ジ江戸川ニヨリ上京 航空局ニ行ク 丁度十二時ニナル 課長ヨリ帝防ノ状況ヲ聞カレ実状ハ云エナイノデ當ラズサワラズノ返事ヲシテ居ク 結局局長ハ出席シナイコトニナル。タレカ航空官ヲト、タノンデ帝防ニヨリ以上ヲ報告シテ晝食ノ馳走ニナリ協会ニ行キ北尾君ニ記者クラブノ招待状ヲ依頼シ小野少将ニ會ヒ、ソアラ奨励金ノ件ヲタノム 局、課長ニ輕飛行機試作奨励

弁申請書出ス 取ハカラウトノコト 警視廳ニヨリ四時過ギ助川氏ト清水氏同道江戸川ニ行ク スデニウスクラクナツテ居タガ許可ニナル タクシーニテ助川氏ヲ送り日二ヨル 大蔵今日飛來 御守リヲ渡シテスグ帰ル

◆◆326ページ◆◆ 昭和10(1935)年11月9日(土)

天気晴

鈴木サルテストヲ鈴木ノモノニ命ジ江戸川ニ行ク 無事起工式ヲ終ル 少シ時間オクレテ四時頃終ル 來客ハ皆代理バカリデアツタガ府長、市長モアツタ  
八七、アンリオハ四時頃羽田へ行ク  
五時半頃帰宅ス

明朝六時半宅ヲ出スコトニキメ自動車ヲタノミ奈良原氏トハ市川駅デ会フコトス

◆◆327ページ◆◆ 昭和10(1935)年11月10日(日)

天気晴

五時半起床 タクシーデ船橋迄埴山、家内オバーサン同道 市川ヨリ奈良原氏乗車  
秋葉原ヨリ羽田迄タクシー 途中品川京浜電車へ家内トオバーサンヲ降シ八時十分格納庫着 三十分程デ準備完クナリ大蔵トハ一寸言葉ヲカワシタダケデ、急(ママ)ガシンウダカラ、ソバニモヨリナカッタ 九時ヨリ式ガアリ通信大臣望月圭介氏ノ挨拶等アリテ十時丁度ニ出發ス 黒沢八七埴山アンリオニテ見送飛行 其他十数台飛ブ 八七ノ帰着後ガソリン補充ニ満載スルダケ貫ヒ晝食後格納庫へ納メ十一時五十分大坂着報ヲ聞イテ帰宅 夕刊デ太刀洗無事着ヲ見ル  
出發前後涙ガ出テ困ツタ

◆◆328ページ◆◆ 昭和10(1935)年11月11日(月)

天気晴

作業会社ニタノマレ八時半頃ヨリ行ク 競賣事件デアツタガ無事延期ガ出來テ自分ノ用事ハナクナツタ 晝食ヲ馳走ニナリ帰宅  
明日拂下鈴木出張サセルコトニス 鈴木菊ヨリ五十円受取りアト不足ヲ猪又ヨリ出サセル 自動車モ猪又ヨリタノム  
十時太刀洗発 三時半台北着五時間四十分ヲ要シタル由 台湾近クニテ少シ雨ニ會ヒ遅レタトノコト

◆◆329ページ◆◆ 昭和10(1935)年11月12日(火)

天気 晴

少シ曇ル

辻本坂本両氏來 トイフェル、及野呂十年式機体 八七イス。パノ内部終ル 甲四、鈴木ノサルハガソリンポンプ其他ニ少シ故障アリ 地上運轉ヲ終リ飛行試験ダケ残ル 南波氏ヨリ電話アリ明日中ニ直シ明後日同氏來テ呉レル由  
今日ヨリ組立ノ方モ、グライダー金具取付ノ爲メ夜業サセル

▲▼3330ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月13日(水)

天気 晴

平松氏葬儀ニ上京

東日ニヨリ箱根飛行ノ打合せヲナス

▲▼3331ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月14日(木)

天気 晴

南波氏來場 鈴木サル、クラブ甲四、完成 グライダー内部検査ニ台終ル。三時頃ヨリ上京 買物ヲシテ東日ニヨル 米沢飛行十七日ニ場所ヲ見ニ行ツテ呉レトノコト 費用百五十円デ全部マカナツテ呉レトノコトニハ少シ驚イタガ何気ナク引受ケル  
木曜会ニ出席 來年度飛行競技会ノ準備委員ノ撰定方針ヲ定メ散会

▲▼3332ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月15日(金)

天気 曇小雨

局ニヨリ鈴木サル日誌ノ検印ヲ貰ヒ所沢ニ行ク 辻大尉ニ面會シタガ昨日三型ヲ破損其修理ノコトデゴタ、シテ居ルトノコト 一型六立川ニ送ツタ由デ何ニモ見ラレズ。局ノ出張所ニヨル 鏝本氏ノ世話デ修理中ノ三型ヲ見早(ママ)斐技師ニ会ツテグルナウヲ見セテ貰ヒ色々説明ヲ聞ク  
六時半帰宅

▲▼3333ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月16日(土)

天気 晴曇リ

終日在所ノ相當インガシカッタ

明日ノヒルト工場全員見學サセルコトニシ乗合自動車一台タクシー三台ヲ頼ムコトトス約四十名ニナル。バス十五円 タクシー一台八円

塗料屋ノ佐野來 グライダーノ塗料ニカンタノム  
菅井來 アンリオデ廿四日ヤリタイトノコト コトワル  
国吉使來 二十日迄ニイクラカ持ツテ行クコトトス 羽田ヘトイフェルト十号送ル 肥田  
木、竹中出張 タ方着 夜組立ル由 羽田泊リ  
大蔵機本日台湾ノ天候不良ニテ出発延期

▲▼334ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月17日(日)

天気 雨

終日雨 皆天ヲ見テウラメシ顔デアツタガツヒニ中止 オカゲデ費用ハ助カッタ  
理想的ナプライマリー機ノ設計ヲナス  
大蔵ノ出発モ中止 ルソン島附近ノ颱風動カズ

▲▼335ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月18日(月)

天気 曇リ晴

梅沢氏ト会見ノ爲メ上京 出カケル時丁度奈良原氏來 東京駅迄同行ス。十時丁度  
幸ビル内ノ事務所ニ行ク マダ來ラズ 電話アリ一寸待ツテ貰ヒタイトノコト 二十分  
程シテ來 ザット説明ヲ聞ク 普及ノ方法ニツキ苦心シテ居ルラシカッタ 私案ヲ一寸  
述ベル。提携ノ方法ニツキ双方ニテ考ヘルコトトシテ分レル。スグ局ニ行キ技術課長ニ會ヒ  
局ノ方針ヲ聞ク ヤハリ免状モ取ラセルトノコトデアッタ。東日ニヨリ箱根ノ打合せシテ  
帰ル 夜安岡米沢ノ飛行場見ニ出張サセル。鈴木菊ヨリ百五十円入 電話電燈ノ外主  
ナルモノニ、十円位ヅ、分ケル

▲▼336ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月19日(火)

天気 雨

上原氏へ梅沢氏ノ件所沢へ見學ノ禮状ヲ出ス  
ソアラ中央バクベットの材料書キ出ス  
東日ロンゼロン引取ル。スグ削ラセル  
安岡米沢ニ到着セズ 数回東日ヨリ電話アリコチラデハ出タコトニ間違ヒナイノデ調べ  
様モナカッタガ、彼レノ行キソウナ處ヲ電話デ調べサセル

▲▼337ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月20日(水)

天気 曇リ

大蔵マニラ出發セシモ台湾付近ノ颱風マダ去ラズ引返ス  
局ニ行キグライダーノ標式ヲ貫ヒ、飛行場設置願書ヲ見テ貫ヒ尚添付スベキモノアリ  
持チ帰ル

長山君ヲセイロカ病院ニ見舞ヒ協会申請ニ必要ナル醫師ノ診断書ト予算書ヲ貰フ様話  
シテ協会ニ行ク。ソアラノ圖面ヲ出シ長山ノ件モ小野少将ニ依頼シテ、平松氏訪問  
金ノ件ヲ榊相談 結局月末内部検査後ノ金ヲ頼ンデ警視廳ニヨリ先日ノ許可証ヲ貰  
ヒ東日ニテ箱根行き及米沢行きノ打合セヲナス 今日安岡米沢ニ着イタ由

▲▼338ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月21日(木)

天気 晴

終日在所

▲▼339ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月22日(金)

天気 曇リ

早朝カラ終日イソガシカッタ 六時前起床 皆ヲ起シニヤツテ自動車ヲサイソクシヤツ  
ト七時出發サセル

大蔵マニラ發ノ報アリ上京ス 台北着

東日ニテ打合セヲナス 羽太君明日ヨリ箱根へ行く由 福知氏大坂ヨリ來場

セイロカ病院へ長山ヲ見舞 昨日手術 大分弱ツテ居タ 飛行館地下室ニ行ク。正憲ノ  
件デ筑紫武門氏ニ會フ 晝會ノ印刷物ヲ作ツタカラ工場ヲ事務所トシテホシイトノコ  
トデアツタ。正憲ノ爲メ今朝千葉ノ方面委員來 金ヲ借ニ來ル 五円渡ス。梅沢氏ニモ  
會フ 明日中村ト云フ人が上京スル由 其上營業上ノ事ヲキメル由 小生ノ方ノ希望  
一台ニツキイクラツリヲヤルコトヲ申述ベテ居ク

皇国少年飛行協会ノ人ニ會フ 奈良原氏ニ聞イテ貰フ

例会ハ上原、依笠、渡辺、山崎、清平、奈良原清水外三名自分

箱根へシヨクコード忘レタ由 客車便ニテ小田原へ送ラセル

▲▼340ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月23日(土)

天気 曇リ

安岡米沢へアンリオニテ九時發 太田原ニテ雨ニ會ヒ待機 一時四十分太田原發 三  
時四十分米沢着

大蔵九時半台北發 一時半ナワニ不時着

鈴木ヲ正憲へ今日モ五円持タセテヤル 母子入院ノ事ヲ取ハカラワセル

午後上京 東日ニ行ク ナワニ着陸シタトノコトニスグ帰ル  
篠君來 グライダー引渡シヲナス。ゴムノ内金トシテ四十円預ル

▲▼341ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月24日(日)

天気 曇リ後雨

大蔵台北発ノ報ニ晝食後上京シタラナワニ着陸シタトノコト  
安岡太田原迄帰ツテ來タガ雨ノ爲明朝帰ル由

▲▼342ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月25日(月)

天気 雨

終日雨 安岡機帰レズ

大蔵大坂迄帰ル

鈴木正憲寄附ニ対シ菊雄デレ見向キモシナカッタ由 少々不都合デアル。第一作業  
タノミニヤル 承認シタ由 作業ヨリ五十円ダケ入

明日鈴木伊所沢へ拂下出張サセルコトトス

大蔵機午前中羽田着ノ予定

作業ヨリ五十円入金アリ

▲▼343ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月26日(火)

天気 快晴

大蔵機十時大坂着 十一時廿二分羽田上空ニ飛來 四十分着陸 自分八時半出テ  
十時飛行場ニ行ク 十年來ノムネノツカエガ降りタ様デアル旨福知氏ニ御禮ヲ述ベル  
シカシ帰リノ記録ガ出來ナカッタノハ残念デアッタ

安岡太田原ヨリ帰リカムギヤー破損不時着 今日モ帰レズ

羽田ノ帰り飯沼ノ自動車ニ乗ラセテ貰フ 銀座裏ノ中島ニテ馳走ニナル 其席デアジア  
女子部ヲ女ノグライダークラブニ改造 讀賣ガヤルトノコトデアッタ

鈴木伊所沢拂下ニ出張サセル

▲▼344ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月27日(水)

天気 晴

野武士会ノ大蔵歓迎会ニ上京 途中市川ニヨル 丁度出懸ケラレタ處デ市川駅ニテ會  
フ 協会へ長山ノ願書ヲ提出 井上氏ニソアラート長山ノ件依頼シテ地下室ニ行ク 御

客六蔵、布施、羽太三氏。主人側へ奈良原、渡辺、北尾、相羽、信田、乗池自分終ッテ東日ニヨリ、局ニヨリ帰場 夜ニ入ル  
七時頃信太郎、竹中其他箱根ヨリ帰ル

▲▼345ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月28日(木)

天気 曇リ

安岡東日へ行ク 式百五十円借りル

奈良原氏來場

▲▼346ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月29日(金)

天気 曇リ

鈴木買物ト局へ一三奨励金ノコトヲ聞キニヤル 早ク帰ル様ニ云ッテヤッタノガ五時過ギタノデ女工ノ夜業ハフィットナル 一三ノ書類行違不明トノコト

佐々木泰助來 グライダールノ見積リヲナス 四百二十円ノコード百円 然ルニ後電話ニテ明日羽田デ貫ヒタイカラ右ニ、百円加エタ見積リ書ニシテ呉レトノコトニ機体五百円コード百二十円ト書ク

變ナ大防子ガ來タト思ッたら川辺ノ處へイツカ稻荷サンヲマツラセタ人デアッタ。イナリノ神体ヲ持ッテ帰り鳥居ヲ焼クトノコトニ止メルコトモ出來ナイガ承認スル訳ニモ行カズ自由ニサセル

▲▼347ページ▲▼ 昭和10(1935)年11月30日(土)

天気 晴

十一時デ仕事ヲ打キリ貸切り自動車(千葉市街)デ工場員安本ヲ残シタ外全部羽田ニ連レテ行ク ヒルトノ妙技ヲ見ル 一流ノ操縦士デサエ皆感心シテ居タ 実ニ見事デアッタ。六時帰宅ス

所沢ヨリ留都中拂下發動機來 運賃十一円トノコト 不在ノ爲メ分ラナカッタ上ニ金モ置イテナカッタノデ持ッテ帰ッタ由

▲▼349ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月1日(日)

天気 曇リ

夜雨降ル

日曜ナレドモ作業ス 鈴木午前中出ル 正憲同情畫會ノ手紙筑紫氏カラ來タノヲ發

送サセル

埴山ヨリ雨ノ爲メ延期ノ入電アリ 釜石ヨリ入電ナシ

▲▼3550ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月2日(月)

天気 晴後雨

昨夜大雨雷鳴アリ

今日ハ終日南風アタタカデアッタ

上京 日日ニヨリ山崎氏ノ預ケタソアラノ圖面ト計算書ヲ受取り協会ニ持参 ツイテニ長山ノ書類ヲ聞ク マダツカヌトノコトニ東京府廳ヲ電話スル 今日送ルトノコト。ソレデハ理事會ノ間ニ合ワヌノデ小野少将ニ何ントカ辨方ヲ以テ年内出シテ貰フコトヲ頼テ居ク。片岡文三郎ニ會フ 妻君問題ニテ相談ヲ受ケル 妻子共ニ引取ルガ常法デアアルコトヲノベテ考慮サセル。朝日ヤメサセラレタ由 局ニ行テ検査ノ打合せ 長山ノコトト片岡ノコトヲ頼ムツモリノ處森サン不在ニテ東日ニ行キヒルトノ大坂ニ於ケル講習者安岡今井竹中ノ旅費七十五円受取ル

▲▼3551ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月3日(火)

天気 晴

埴山ヨリ五十円來ル 四十円彼レノ宅へ 今日モ風デ延期ノ由 スミ次第スグ帰レト打電ス。安岡へ打電 今日終リ帰ルトノコト

奈良原氏來場 朝信太郎ニ、十円持参サセル 行違ヒトナル

昨夜ニセキト色々ナ考へ事デツヒニロクニ眠レナカッタ 其割リニ今日ハ眠クナカッタ

▲▼3552ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月4日(水)

天気 快晴

上天気デアタタカカッタ

八七帝防ノ分黒沢富山へ行ク爲メ今朝江戸川迄空輸ス オイルタンクノ中ニ水ガバケツニ一杯モハイッテ居タトノコト 種々調査ノ末ラジエターノ水ガポンプノシヤフトヲソウテオイルタンクニ這入ッタモノト考ヘラレタ

内田釜石ヨリ帰ル 安岡明日帰ル予定

夕方佐々木來 グライダーノ申金トアブロノ内金三百円受取ル

▲▼3553ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月5日(木)

天気 曇リ

作業ノ富山飛行ニ黒沢居ラズ 昨日ヨツテ同社ニ行キ口論シタル由 夜奥山黒沢來  
仲裁セシモ不調トナル。

安岡帰ラズ 竹中大坂へ出発サセル 明日ノ練習見ルモノナシ 安岡ニ打電セシモ返ナ  
シ

佐々木ノ金デ諸拂ヒセシモホトンド予期通りナラズ

▲▼354ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月6日(金)

天気 晴

洲崎ニテ篠ノグライダー受験ノ爲メ肥田木ト自分ト出張 午前中ニ検査終リ二時半  
頃南波氏來 肥田木ニ回飛行シテ終了 前ノ引金改造ノコト シートフチヲ付ケルコ  
ト フートバーヲ長クスルコト等ニテ今一度見ル由

終ツテ局ニ行キ登録申請ヲ預ケ、河北新報ノ標式モ貰ヒ、管理課へ行ツタガ富田氏居  
ラズ。他ノ人ニタノシテ萱場製作所ニ行キ、脚ニツキ相談 ツクルトスレバ一月末デナイ  
ト出來ナイトノコトデアツタ

イソイデ帰宅。今井帰ツテ居タ 明朝ノ練習ヲ見テ大坂へ行ク様ニサセル

▲▼355ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月7日(土)

天気 晴

今日ハヒルトノ有功章授與式 夜ハ講演ガアツタガ旅費サエナク行ケナカッタ

今朝安岡漸ク帰場 夜埴山帰ル

今井大坂へ出発サセル 安岡ハ中止

河北新報へ譲ツタグライダー標式記入終ル

▲▼356ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月8日(日)

天気 晴

夜中ノ雨止ンデ天気次第ニヨクナル 夜月ヨシ

八七安岡二十分試飛行中プラグ三四箇悪クナル

イスバノ三〇〇調査シタラ式台共ダメ 猪又ニ處分シテ借リタ五十円返ス

山崎君鳥飼氏來 六時頃帰ル

作業ヨリ洋服屋來 今度八寸法ダケデ終ラナイ様タノム 十五日頃仮縫ニ來ル由

明日ノ検査ニ間ニ合セルベク十六号プライマリー整備イソグ 十一時半迄夜業 自分モ  
手傳フ

▲▼357ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月9日(月)

天気晴

八七完成(作業) 仙台河北ノグライダー完成一台 東日十年式内部 大毎大坂送り十年式ノ翼内部終ル

鈴木一三奨励金ト東高グライダーノ内金取りニ上京サセル  
奈良原氏來場 夕方帰ル

▲▼358ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月10日(火)

天気晴

鈴木一三奨励金取りニヤル ヤット受領 岡田(羽布)ノ代其他  
夕方ヨリ鳥飼氏訪問 吹付用器トマグネトーチヤージノ器械計八十五円ニ話キメ  
年内引取ルコトトス 夕食ノ馳走ニナル。マグネト―修理初メタラ仲間ニ入レテ呉レトノ  
コトデアッタ 後チ大勝館ニターザンノ新冒ケンヲ見ル

▲▼359ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月11日(水)

天気晴

鈴木今日モ上京 漸ク買物ヲナス 東京高工百三十円受取ル  
駅ノ塗料引取ル 東日翼作業進メル

▲▼360ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月12日(木)

天気晴

晝頃ヨリ上京 局行き 南波氏ニ會フ 篠ノグライダー堪航証出ルコトニナル。一カノ  
定置場津田沼ニ変更スルコトトス。所沢拂下ノ希望ヲ出ス  
東日ニ行き都築氏ノ來ルノヲ待ツタガツヒニ來ラズ  
清平來 十円渡ス。五時神保町ノイロハニ行ク マダ一人モ來テ居ラナカッタ クラブノ  
忘年会。ボツ、來テ計十一人位ニナル 來年ノ競技会ノ実行委員ヲ定メデ宴ニ入ル  
十一時漸ク散会 十二時帰宅

▲▼361ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月13日(金)

天気晴

横須賀引取りニ恵ト猪又行ク 三式程度ヨカッタ  
奈良原氏來

竹中今井大坂ヨリ帰ル 竹中飛行機曳航 今井自動車、聯盟へ礼状ヲ出ス

▲▼362ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月14日(土)

天気晴

所沢拂下ニ恵出張。局其他買物ニ鈴木上京  
スパー現圖ヲ引ク  
ストーブ煙突作りノ爲メ武力屋來

▲▼363ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月15日(日)

天気晴

竹中、信太郎江戸川行

明日所沢引取りノ自動車ノ手配猪又ニサセル

平松氏ヨリ二百円受取ル 明日霞ヶ浦ノ拂下代金トノウ

本日ハ久シ振リデ夜業ヲ休マセル

今日ハ非常ニツカレラ覺エ床ニ入ッテカラモ方々痛ンダリ顔ガ熱カッタ

▲▼364ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月16日(月)

天気晴

足森ノ二等試験ノ爲六時船橋へアンリオ空輸

晝前船橋ニ自分モ行キ三時頃一寸帰タル

鳥飼氏來 圧縮空気機ト充電機ノ金イツニナルカトノコトニ廿七八日頃ト云ッテ居ク

霞ヶ浦拂下代金百七十円オーバーノポケットニ入レテ居イタノデ二度目船橋へ行ッタ

時氣ガツクト無クナッテ居タ 調ベルトポケットニ穴ガ明イテ居タノデ無クシタモノト

思ッテ居タ處裾ノ方ニ落ッテ居タノハ嬉シカッタ

猪又ヨリ七十円借リル。合板、檜代引取ル

夜東日羽太氏ヨリ電話アリ 來ル十九日ガ徳川サンガ代々木デ飛ンデ二十五年ニナル

ノデ坐談会ヲヤルカラ徳永氏ト白戸君奈良原氏ノ都ヲ聞イテ呉レトノコトデアッタ

▲▼365ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月17日(火)

天気曇雨

昨夜ハ一時半頃迄眠レシカッタ 今朝六時半起床 一番ノ自動車デ千葉へ徳永氏白戸君ノ都合ヲ聞キニ行ク 白戸ハ二軒ヨッタノデオソクナリ十時帰宅 奈良原氏來場 二三用件ヲハタシ晝食後上京 局へ行キ八七ノ書類間違ヒヲ訂正シ、霞ヶ浦ノ拂下代金ヲ納メ、飛行協会ニ行ク 篠分受領書ヲ出シ長山ノ分受領書ヲ貰ヒ本人へ送ッテ居ク 東日ニ行ク 徳川氏出席スルコトガ五時頃キマッタノデ千葉方面ニ出席者自分ガ受持ッテ帰宅ス  
今朝拂下自動車ヲ見ル 大変ヨカッタ

◆▼366ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月18日(水)

天気 晴

カラリト晴レタ上天気 朝徳永氏訪問 今夜ノ出席ヲタノミ、帰ッテ散髪ニ行ク。其内ニ辻本氏アブロトソアラノ検査ニ來場 準備悪ルクソアラノ部品検査ダケニ終ル晝食後上京 東日ニ行ク 奈良原氏モ來 四時半頃日野氏ヲ向エニ自動車デ行ク 出カケタトノコト

六時星ヶ岡茶寮へ行ク スデニ皆サン見エ日野氏ダケ自分ヨリアトニ來ラレタ。出席者井上幾太郎大將 徳川好敏中將 日野熊蔵中佐 金子養蔵少將 熊永純雄大佐 横田成年博士 奈良原男 田中館愛橋博士ト自分 外ニ東日ヨリ重役二名 福知羽太大蔵以上ニテ徳川日野両氏飛行廿五周年記念ノ会開カル 田中館先生外ニ約束ガアルノデ先キニ當時ノ思出ト將來ノ飛行ニツキテ御話シアリ 御帰りニナル アトハ時々談笑スル様ナ思出話モアリ時間ノ過ギルノモ忘レラレタ様子デ十時散会 アッセン役ノ近藤兼利少佐モ出ラレ、グライダー民間ニ注文ノ意志アル由聞ク

◆▼367ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月19日(木)

天気 晴

終日在所 奈良原氏來  
今日ハ午前午後ニ回練習ガアッタ  
ソアラノモドウモ年内間ニ会ヒソウモナイ  
羽太氏ヨリ電話デ三島ノプライマリー一注文アリ

◆▼368ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月20日(金)

天気 晴

丁度十時大蔵來 應接ニテ茶話会ヲ開ク 鈴木菊、安岡、第一ヨリ三溝、奈良原、クラブ員鈴木ノ卒業生等集ル 終ッテ別室ニテ昔ノ單獨祝ノ豚鍋ニテ会食 一時大蔵帰

ル 昨日協会金マダ送金ナク二三日遅レル由  
作業ノ八七奨励金風水害デナク通常ノモノトナリ三百円ヨリ出ナイ由 今日加藤氏  
二局へ交渉ニ行ツテ貰フコトニ手配シタガツヒニ行カナカッタ由

▲▼369ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月21日(土)

天気 晴夜雨

明日今村ノ児供ノ御七夜ニナルノデ十五円ノ金ヲヤルノニ苦心シタ  
航空局へ加藤氏ニ行ツタガ辻本氏居ナクテ分ラナイト帰ツテ來タ ダメナ人ダ  
信太郎今日カラ休ミトナル  
東日ヨリ発動機來ル

▲▼370ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月22日(日)

天気 晴

幕張迄ノ間ニハダカノ男ガ死ンデ居タ由  
奈良原氏來 後江戸川へ行カレル 今井徳治江戸川へ行ツタガ今日ハ一人モ來ナクテ帰  
ツテ來タ

東高學生ノグライダータ方洲崎へ運ブ 明日発会式ヲヤル由。  
東日機作業遅レイソグ  
野呂君二百円持参 アト出來ソウモナイトノコトニ又收入百円ヲ減ズ  
國吉來 十円内入 年内アト二十円以上ヤル約束ス

▲▼371ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月23日(月)

天気 晴

局検査ノ打合せト八七奨励金ノ件 協会篠ノ金受取りニ上京サセル  
八七ツヒニ駄目 篠ノ金入ル  
夜十二時迄夜業 大体完成見込ミツク  
須田氏來 夜安岡居ラナイノデ埴山同乗鈴木館へヤル  
今醫者ニ來テ貰ツテエナルモン一本注射ス

▲▼372ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月24日(火)

天気 晴

昨夜十二時迄ヤッタノデ今日ハツカレガヒドカッタ 十一時ヨリ上京ノ電車ガ特ニ氣持

チ悪ルカッタ。東日二行ク 上ノ原ノ連中デ別ニクラブヲ作ラセル方針トノコト サシ當リ廿九日ヨリ正月五日迄洲崎デ自動車曳行ノ練習ヲヤルトノコト 会費金六円也。グライダー一台間ニ合セル約束ス。協会二行キ一カノ分送金方ヲタノミ洲崎ニヨル 信太郎ノ飛ブノヲ初メテ見タ。信太郎ト竹中ニ五円ツ、ヤツテ帰宅。ヒドク気分ガ悪イノデ早ク床ニ入り又起キル。十一時頃一通リ終リ発動機ダケオソクナル 須田氏夕方帰ル  
祝金ト正憲ノ方鈴木伊ヤル

▲▼373ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月25日(水)

天気 晴後曇リ

今日ハドヂバカリ 作業遅レル 夜十二時半尚仕事残ル 今村佐藤殊ニ悪ルシ  
藤原猿田計算書作り出サセル  
東日ヨリ梅本君來 夕方発動機運轉 暗クナル 初メカーブレーターノ吸気口ポンプ、フタシテアツタノヲ其マ、廻ス 空気不足ノ爲メ過熱シピストン、キシム 油ヲサシテプラツグヨゴレタリ六時過ギ漸ク調子ヨク廻ル

▲▼374ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月26日(木)

天気 曇リ

七時半起床 マダ誰レモ出ナイデ呼びニヤル  
雨が降ナケレバヨイガト心配シタガ、ウマイ工合ニ降ラナカッタ  
大田和君來 羽太氏モ見エル 機関ハ梅本君、局ハ坂本氏斎藤氏來 予定通り終ル  
奈良原氏モ見エル  
羽太氏二三島ノ内金トソアラ協会の金立替方ヲ相談ス 明日上京 會フコトトス  
今日ハヤット重荷ノ降リタ心持チ クツロイテ晩シヤクヲ一本 ニユースヲ聞キナガライツシカ眠ル  
二本目エナルモン本日

▲▼375ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月27日(金)

天気 曇リ

局二行キ八七奨励金受領 東日ニ寄り大坂送り十年式翼金受取ル。羽太氏外格納庫員迄シヤツヲ銀坐ノ三越ヨリ送ル  
飛行館二行ク 筑紫氏來テ居タ 正憲ノ将来ニツキドウシテヤツタラヨカロウトノコトデアツタガ、トテモマダンナ考ヘハシテ居レナイノデ春ニナツタラ本人ノ様子ヲ見タ上デ

キメルコトトス 岡田氏來 手形書替エ 金三十日迄ニ極力ヤルガ大口ハダメトコトワツテ居ク  
本日ノ例会木村氏ト山崎氏ダケシカ來ナカッタ 木村氏ニハシヤツ上下三越デ用意シテ居イタノヲ上ゲル 山崎氏ニ、百円贈ル  
杉村ニヨリ春カラ注文シテ居タ沢柳氏ト松下ヘノ結婚祝ノ銀製模型ヲ送ツテ貰フ様金ヲ支拂フ  
清平ト銀坐カラ日本橋迄歩イテ帰ル

◆▼376ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月28日(土)

天気 雨

終日イヤナ雨デアッタ 鈴木千葉へ協会ノ金貰ヒニヤル 保俵ト國吉ヲ拂ヒ稅務署ニコトワリニヨラセル  
鳥飼氏來 皆トゞケテ來ナカッタノデ六十円ダケ渡ス アト十円呉レトテ計七十円ニナル。奈良原氏クラブヨリ五十円、渡ス。鈴木タ方作業ヘヤル  
イヨ、金ガ足りナクナツテ來タノデ心細イ 瓦斯電ノ一三見積リヲナス 乘池ヨリ電話ニテ明日午後四時迎ヘニ行クカラトノコトニ東日デ待ツコトトス  
夜九時半迄年賀状ヲ書ク書ク

◆▼377ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月29日(日)

天気 快晴曇リ

一三式見積書ヲ用意シ四時ノ約束デ四時五分東日ニツク 羽太氏洲崎ヨリ帰ラズ。  
五時頃榊氏乘池君來 六時頃一足先キニ榊氏ト井上氏ノ待ツ大森ノ支那料理悟空林ニ行ク 羽太氏オンクツヒニ九時頃來 其間古イ民間ノ話シヲスル。羽太氏ハアク迄三式ヲ整備スル様進メルノデ話シマトマラズ 勿論内金モ取レナクナルノデ明日ニ話シノコスコトニ努力シ十二時御茶ノ水駅迄オクラレテ羽太氏ト分レ帰宅  
巳ノ大工マダ仕事シテ居タ

◆▼378ページ◆▼ 昭和10(1935)年12月30日(月)

天気 快晴

晝前乘池君ニ電話シテ一三式ニ極メル様尽力ヲタノミ同時ニ内金ノコトモ依頼シ上京奈良原氏同道 ツヒデデ鈴木モ連レテ東日ノ金貰ヒ次第持ツテ帰ラセルコトニス 洲崎ニ學生ト上ノ原ノ連中ノ自動車曳行ノ練習振りヲ見テ東日ニ行ク 羽太氏今日ハ羽田ニ行ツテ居ラズ 和田氏ニ会フ 四時半頃羽太氏帰り六時頃漸ク金受取ル

鈴木ニ交信社ト第百銀行ニ式十円ツ、支拂ワセテ作業ニヨツテ帰ラセル。乗池榊氏來結局三式ト一二式交換スルコトトナリ改メテ三式ノ見積リヲスルコトトナル。ヨツテ内金取レズ。九時半帰宅 作業鈴木マダ帰ラズ作業ニ電話シテ呼ブ 僅カ二十円呉レタダケトノコト スグ待ツテ居ル連中ニ五十円ツ、分ケ與ヘル

▲▼379ページ▲▼ 昭和10(1935)年12月31日(火)

天気 曇リ

九時頃ニナツテモ鈴木來ラズ 船橋ノ平松氏へ行ク 四百五十円ノ處四百円受取ル。作業ニヨル 加藤氏ニ会ツタガコレカラ東京へ金作りニ行キ三時以内ニ電話ヲカケルトノコトデ帰宅 四百円ヲヤツト皆二分配スル タレモカレモモットホシイト云ヒ出シテタ方ヤツト終ル

佐藤夜作業へ行き五十円受取ル 内十円ヲ布施ニ五円ツ、梅川ト矢野ニ渡サセル  
正憲へ五十円持ツテ行ク筈ノヲ三十円ニシテ居ク コレデ小供ニモシヤツモ下駄一足買  
ワナイ正月ニナツタ 來春カラウント玩(ママ)張ラナクテハナラナイ  
除夜ノ鐘ヲ聞イテ眠ル

▲▼405ページ▲▼ 手控

姓名 伊藤音次郎

住所 千葉県千葉郡津田沼町鷺沼1440

勤務先 伊藤飛行機製作所 同上

自宅電話 新津田沼十九番

事故通知先 自宅即チ工場

カラー寸法 14”1/2

家族誕生日

名前	誕生日	摘要
きち	明治30.3.10	
信太郎	大正6.12.9	午前10.30分
徳次	々9.8.4	々6
恵美子	々11.10.21	々5.30
仁三郎	々13.8.25	午後2.
和子	昭和7.7.10	午後2.

